

令和元年度  
中野区ごみ排出実態調査  
報告書

令和2(2020)年3月

中 野 区

## 目次

第 1 章 調査全体の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の種類	1
第 2 章 区民アンケート調査	2
1 調査概要	2
2 回答者の属性	3
3 調査結果	7
第 3 章 事業所アンケート調査	55
1 調査概要	55
2 回答事業所の属性	56
3 調査結果	58
第 4 章 ごみ組成分析調査	82
1 調査概要	82
2 燃やすごみの調査結果	85
3 陶器・ガラス・金属ごみの調査結果	91
4 事業系ごみの組成	96
5 過去の調査結果との比較	98
第 5 章 排出原単位調査	100
1 調査の概要	100
2 調査結果	101
第 6 章 考察	103
1 家庭ごみと事業系ごみの推計	103
2 排出実態調査から得られた知見	108

---

# 第 1 章 調査全体の概要

---

## 1 調査の目的

中野区では、平成 28 年 3 月に中野区一般廃棄物処理基本計画を改定した。第 3 次となる基本計画は、平成 28 年度から平成 37（令和 7）年度を計画期間とし、概ね 5 年後、または社会情勢等の変化を踏まえ、必要に応じて改定することとなっている。

本調査は、区民・事業者へのアンケート調査、ごみ組成分析調査、及び排出原単位調査により、区民・事業者のごみ減量・リサイクルへの取組実態や意識・意向、家庭ごみの組成、区民 1 人 1 日当たりの排出量等を把握し、一般廃棄物処理基本計画を改定するための基礎資料とすることを目的とするものである。

## 2 調査の種類

上記の目的のため、以下の調査を実施した。

### (1) 家庭ごみアンケート調査

無作為に抽出した 20 歳以上の区民 1,500 人を対象に、郵送によりアンケート調査を実施した。

### (2) 事業所ごみアンケート調査

区に事業系ごみ区収集の届け出を行っている事業所の中から無作為に抽出した 1,000 事業所を対象に、郵送によりアンケート調査を実施した。

### (3) ごみ組成調査

ごみ集積所に排出された燃やすごみと陶器・ガラス・金属ごみの組成割合を調査した。

### (4) 排出原単位調査

区民 1 人 1 日当たりの燃やすごみの排出量（排出原単位）を調査した。

---

## 第 2 章 区民アンケート調査

---

### 1 調査概要

#### (1) 調査目的

本調査は、3R に関わる区民の意識・行動の現状を把握するとともに、区が実施している各種施策の認知度、今後の方向性等の意識・意向を把握することにより、一般廃棄物処理基本計画を改定するための基礎資料を得ることを目的とする。

#### (2) 調査対象

住民基本台帳から無作為に抽出した 20 歳以上の区民、1,500 人（1,500 世帯）を対象とした。

#### (3) 調査方法

調査票の送付・回収は郵送により行った。未回答者への督促は行っていない。

#### (4) 調査期間

令和元年 9 月 10 日～9 月 30 日

#### (5) 回収状況

発送数は 1,500 通、宛先不明等で 2 通が返送されたため有効発送数は 1,498 通である。有効回答数は 619 通で、回答率は 41.3%である。

#### (6) 集計結果の留意事項

回答者の属性別の集計表は、上段が回答者数、下段が構成比を示している。なお、構成比の合計値は四捨五入の関係で 100%にならない項目がある。

## 2 回答者の属性

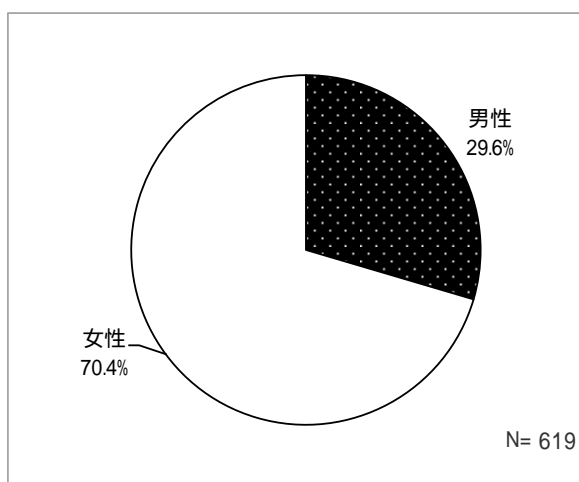
回答者の属性は以下のとおりである。

### (1) 性別

女性が 70.4%、男性が 29.6%であった。

図表 2-1 回答者の性別

選択肢	回答数	割合
男性	183	29.6%
女性	436	70.4%
合計	619	100.0%

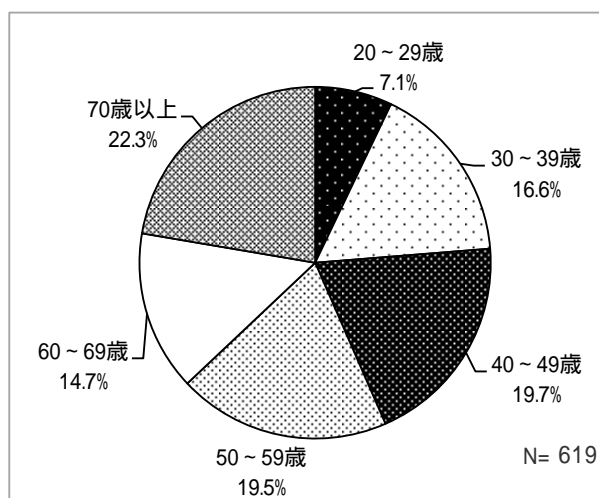


### (2) 年齢

70代以上が最も多く 22.3%、次いで 40代が 19.7%、50代が 19.5%などとなっている。

図表 2-2 回答者の年齢

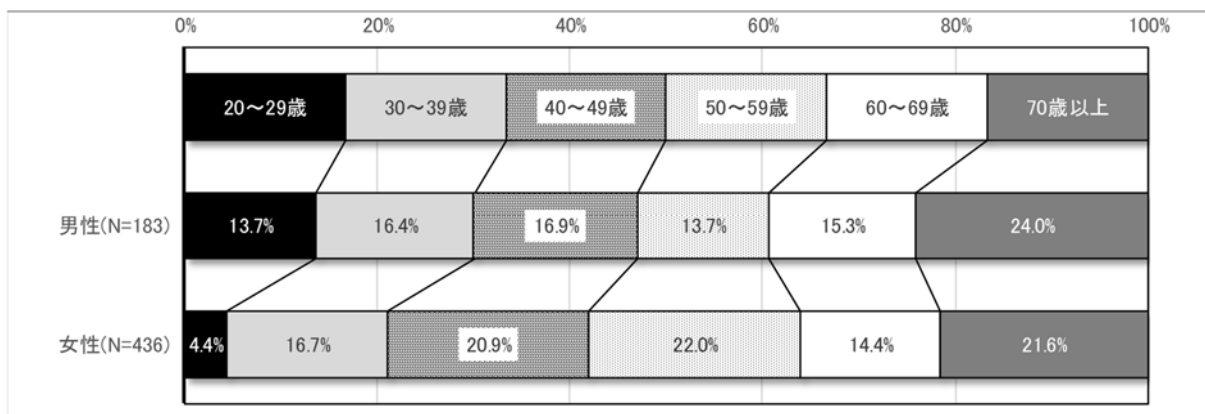
選択肢	回答数	割合
20～29歳	44	7.1%
30～39歳	103	16.6%
40～49歳	122	19.7%
50～59歳	121	19.5%
60～69歳	91	14.7%
70歳以上	138	22.3%
合計	619	100.0%



なお、性別の回答者の年齢を図表 2-3 に示す。男性は 20 代の比率が 13.7%と女性の 4.4%を大きく上回っている。一方、女性は 40 代、50 代の比率が男性よりも高い。

図表 2-3 回答者の年齢（男女別クロス集計）

		合計	回答者の年齢					
			20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
全体		619 (100%)	44 (7.1%)	103 (16.6%)	122 (19.7%)	121 (19.5%)	91 (14.7%)	138 (22.3%)
性別	男性	183 (100%)	25 (13.7%)	30 (16.4%)	31 (16.9%)	25 (13.7%)	28 (15.3%)	44 (24.0%)
	女性	436 (100%)	19 (4.4%)	73 (16.7%)	91 (20.9%)	96 (22.0%)	63 (14.4%)	94 (21.6%)

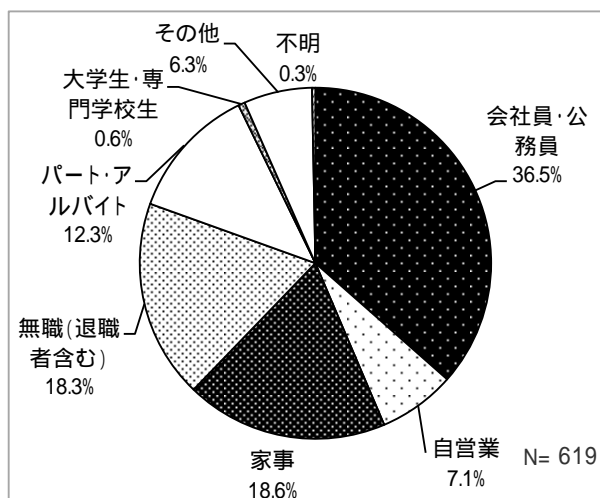


### (3) 職業

会社員・公務員が最も多く 36.5%、次いで家事が 18.6%、無職(退職者を含む)が 18.3% などとなっている。

図表 2-4 回答者の職業

選択肢	回答数	割合
会社員・公務員	226	36.5%
自営業	44	7.1%
家事	115	18.6%
無職(退職者含む)	113	18.3%
パート・アルバイト	76	12.3%
大学生・専門学校生	4	0.6%
その他	39	6.3%
不明	2	0.3%
合計	619	100.0%

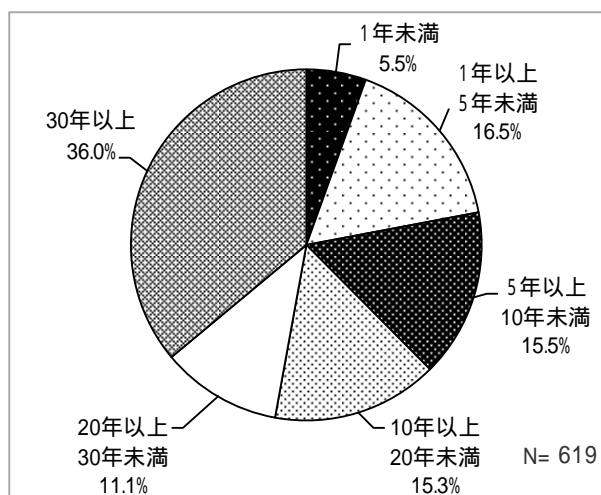


(4) 居住年数

30年以上が最も多く 36.0%、次いで5年未満が 16.5%、10年未満が 15.5%などとなっている。

図表 2-5 回答者の居住年数

選択肢	回答数	割合
1年未満	34	5.5%
1年以上 5年未満	102	16.5%
5年以上 10年未満	96	15.5%
10年以上20年未満	95	15.3%
20年以上30年未満	69	11.1%
30年以上	223	36.0%
合計	619	100.0%

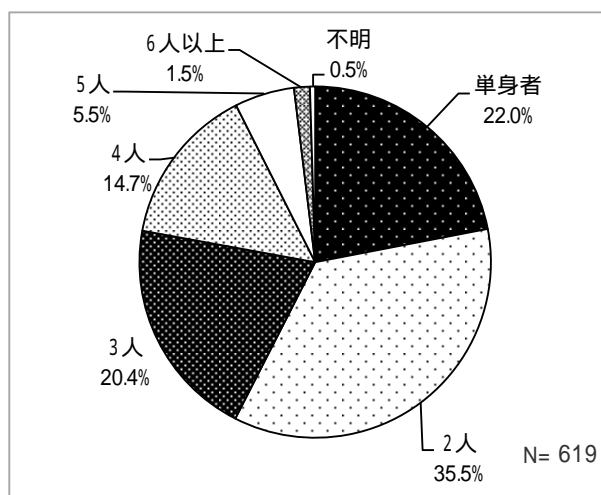


(5) 世帯人数

2人世帯が最も多く 35.5%、次いで単身世帯が 22.0%、3人世帯が 20.4%などとなっている。

図表 2-6 回答者の世帯人数

選択肢	回答数	割合
単身者	136	22.0%
2人	220	35.5%
3人	126	20.4%
4人	91	14.7%
5人	34	5.5%
6人以上	9	1.5%
不明	3	0.5%
合計	619	100.0%

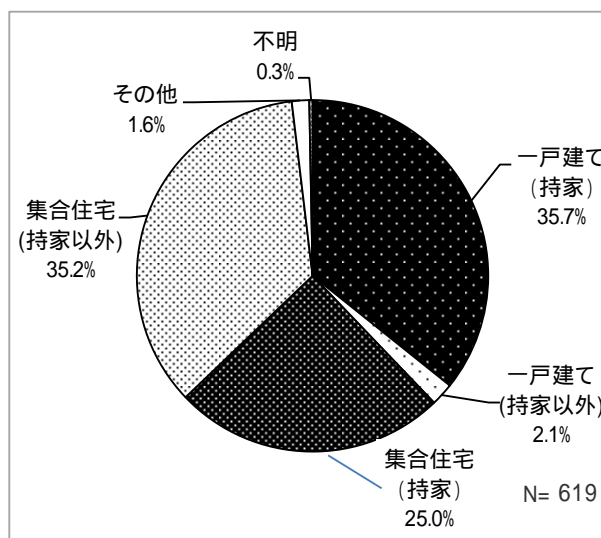


(6) 住居形態

一戸建て（持家）が最も多く 35.7%、次いで集合住宅（持家以外）が 35.2%、集合住宅（持家）が 25.0%などとなっている。

図表 2-7 回答者の住居形態

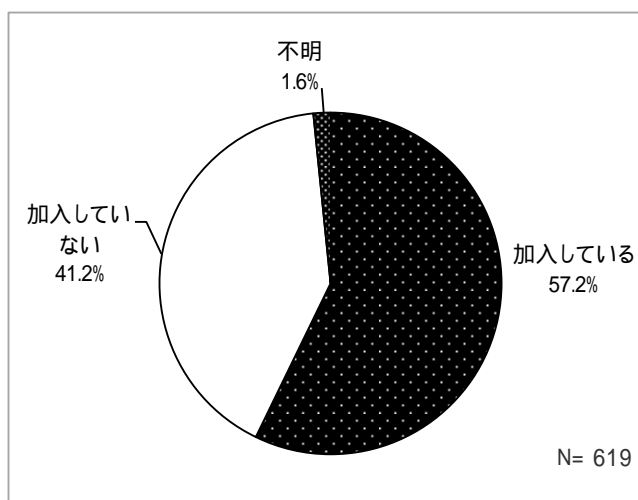
選択肢	回答数	割合
一戸建て(持家)	221	35.7%
一戸建て(持家以外)	13	2.1%
集合住宅(持家)	155	25.0%
集合住宅(持家以外)	218	35.2%
その他	10	1.6%
不明	2	0.3%
合計	619	100.0%



(7) 町会・自治会への加入

町会・自治会に加入しているとの回答は 57.2%、加入していないとの回答は 41.2%であった。

選択肢	回答数	割合
加入している	354	57.2%
加入していない	255	41.2%
不明	10	1.6%
合計	619	100.0%





### 3 調査結果

#### (1) 普段の暮らしや関心事について

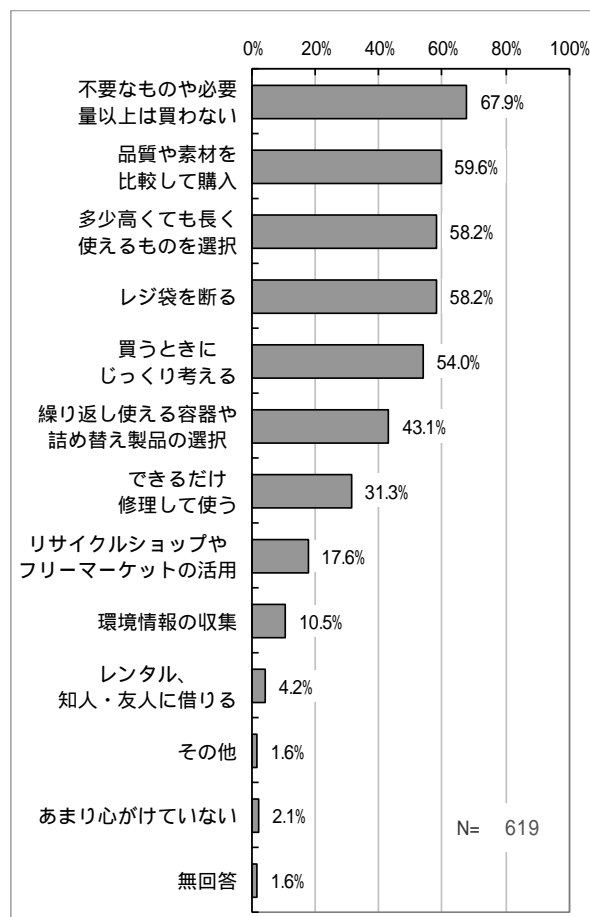
##### 日常のごみ減量行動について

問 2(1) 次のうち、あなたが普段心がけていることはどんなことですか。(複数回答)

「不要なものや必要量以上は買わない」については6割以上、「品質や素材を比較して購入」や「長く使えるものを選択」、「レジ袋を断る」、「買うときにじっくり考える」という行動は5割以上が実施していると回答している。

図表 2-8 普段心がけているごみ減量行動

項目	回答数	割合
安売りしていても、必要なもの以外は買わない、または、必要な量以上は買わないようにしている	420	67.9%
値段だけでなく、商品をじっくりと見て、品質や素材などを比較して買うようにしている	369	59.6%
多少高くても、お気に入りの品や長く使えるものを選ぶようにしている	360	58.2%
できるだけレジ袋を断り、マイバッグを使うようにしている	360	58.2%
使う回数が少なそうな物は、買うかどうかをじっくり考える	334	54.0%
できるだけ繰り返し使える容器や詰め替え可能な商品を選ぶようにしている	267	43.1%
壊れてもすぐに買い替えることはせず、できるだけ修理するようになっている	194	31.3%
リサイクル店、フリーマーケット(ウェブサイトを含む)を上手に使うようになっている	109	17.6%
環境の取り組みについての情報をいろいろと集めるようになっている	65	10.5%
できるだけレンタルサービスを活用したり、友人・知人に借りたりするようになっている	26	4.2%
その他	10	1.6%
上記のことについてはあまり心がけていない	13	2.1%
無回答	10	1.6%
全体回答者数	619	



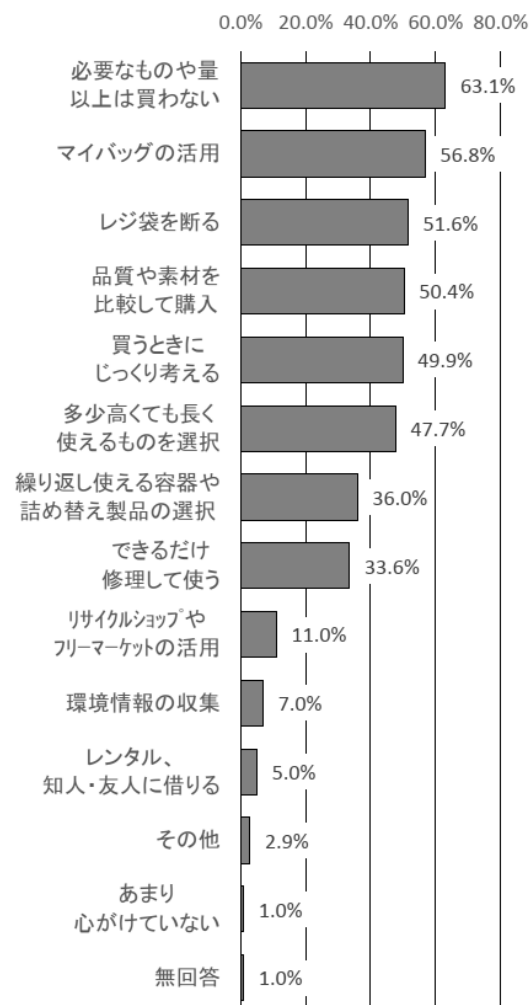
#### 【その他】の内容

- プラスチックは再利用できるものを選ぶ
  - 賞味期限が過ぎた商品も食べている
  - 人に譲る
- など

本区が前回の一般廃棄物処理基本計画改定時に実施した区民アンケート調査(平成26年度)と比較しても、上位回答率の行動は同様の傾向となっている。なお、「リサイクルショップやフリーマーケットの活用」は平成26年度調査では11.0%であったものが今回の調査では17.6%と、6.6ポイントほど増加している。インターネットを活用したフリマアプリの普及などが背景にあるものと考えられる。

図表 2-9 普段心がけているごみ減量行動(前回アンケート調査)

選択肢	票数	割合
バーゲンやセールで安くても、必要なもの以外、必要な量以上は買わないようにしている	263	63.1%
できるだけマイバッグを使うようにしている	237	56.8%
買い物の量が少ないときは、できるだけレジ袋を断るようにしている	215	51.6%
値段だけでなく、商品をじっくりと見て、品質や素材などを比較して買うようにしている	210	50.4%
あまり使わない商品の場合は、すぐ買わずじっくり考える	208	49.9%
多少高くてもお気に入りの品や長く使えるものを選ぶようにしている	199	47.7%
できるだけ繰り返し使える容器や詰め替え容器入りの商品を選ぶようにしている	150	36.0%
壊れてもすぐ買い替えることはせず、できるだけ修理するようにしている	140	33.6%
リサイクルショップやフリーマーケットを上手に使うようにしている	46	11.0%
環境の取り組みについての情報をいろいろと集めるようにしている	29	7.0%
できるだけレンタルを上手に使ったり、友人・知人に借りるようにしている	21	5.0%
その他	12	2.9%
上記のことについてはあまり心がけていない	4	1.0%
無回答	4	1.0%
全体	417	100.0%



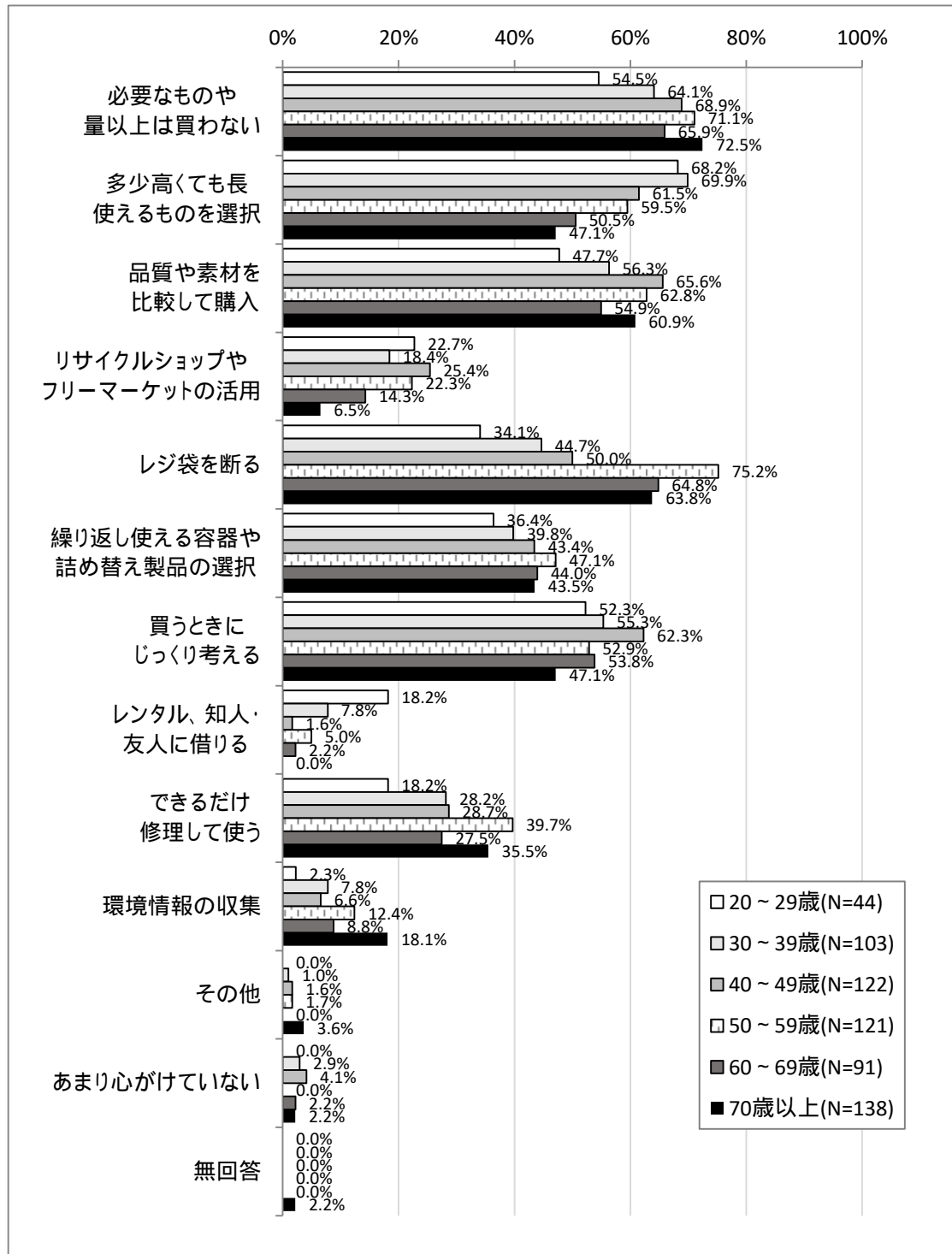
図表 2-10 は、今回調査における属性別のクロス集計結果である。

- 「レジ袋を断る」行動は、性別では女性の64.2%が実施と回答しているのに対し、男性は43.7%にとどまっている。世帯人数別に見ると、単身者の実施と回答する割合が低く、43.4%である。
- 年齢別に見ると、「レジ袋を断る」は20代、30代が低くなっている。一方、「リサイクルショップやフリーマーケットの活用」は、20代、40代が高くなっている。(グラフ：図表 2-11) などの特徴が見られる。

図表 2-10 普段心がけているごみ減量行動（属性別クロス集計）

	合計	問2(1) 日常のごみ減量行動について														
		必要なものや量は買わない	多少高くても長く使えるものを選択	品質や素材を比較して購入	リサイクルショップやフリーマーケットの活用	レジ袋を断る	繰り返し使える容器や詰め替え製品の選択	買うときにじっくり考える	レンタル、知人・友人に借りる	できるだけ修理して使う	環境情報の収集	その他	あまり心がけていない	無回答		
全体	619 (100%)	420 (67.9%)	360 (58.2%)	369 (59.6%)	109 (17.6%)	360 (58.2%)	267 (43.1%)	334 (54.0%)	26 (4.2%)	194 (31.3%)	65 (10.5%)	10 (1.6%)	13 (2.1%)	3 (0.5%)		
性別	男性	183 (100%)	130 (71.0%)	103 (56.3%)	96 (52.5%)	32 (17.5%)	80 (43.7%)	67 (36.6%)	87 (47.5%)	12 (6.6%)	54 (29.5%)	19 (10.4%)	4 (2.2%)	8 (4.4%)	0 (0.0%)	
	女性	436 (100%)	290 (66.5%)	257 (58.9%)	273 (62.6%)	77 (17.7%)	280 (64.2%)	200 (45.9%)	247 (56.7%)	14 (3.2%)	140 (32.1%)	46 (10.6%)	6 (1.4%)	5 (1.1%)	3 (0.7%)	
年齢	20～29歳	44 (100%)	24 (54.5%)	30 (68.2%)	21 (47.7%)	10 (22.7%)	15 (34.1%)	16 (36.4%)	23 (52.3%)	8 (18.2%)	8 (18.2%)	1 (2.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	30～39歳	103 (100%)	66 (64.1%)	72 (69.9%)	58 (56.3%)	19 (18.4%)	46 (44.7%)	41 (39.8%)	57 (55.3%)	8 (7.8%)	29 (28.2%)	8 (7.8%)	1 (1.0%)	3 (2.9%)	0 (0.0%)	
	40～49歳	122 (100%)	84 (68.9%)	75 (61.5%)	80 (65.6%)	31 (25.4%)	61 (50.0%)	53 (43.4%)	76 (62.3%)	2 (1.6%)	35 (28.7%)	8 (6.6%)	2 (1.6%)	5 (4.1%)	0 (0.0%)	
	50～59歳	121 (100%)	86 (71.1%)	72 (59.5%)	76 (62.8%)	27 (22.3%)	91 (75.2%)	57 (47.1%)	64 (52.9%)	6 (5.0%)	48 (39.7%)	15 (12.4%)	2 (1.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	60～69歳	91 (100%)	60 (65.9%)	46 (50.5%)	50 (54.9%)	13 (14.3%)	59 (64.8%)	40 (44.0%)	49 (53.8%)	2 (2.2%)	25 (27.5%)	8 (8.8%)	0 (0.0%)	2 (2.2%)	0 (0.0%)	
	70歳以上	138 (100%)	100 (72.5%)	65 (47.1%)	84 (60.9%)	9 (6.5%)	88 (63.8%)	60 (43.5%)	65 (47.1%)	0 (0.0%)	49 (35.5%)	25 (18.1%)	5 (3.6%)	3 (2.2%)	3 (2.2%)	
	職業	会社員・公務員	226 (100%)	149 (65.9%)	152 (67.3%)	134 (59.3%)	44 (19.5%)	107 (47.3%)	89 (39.4%)	127 (56.2%)	16 (7.1%)	57 (25.2%)	15 (6.6%)	0 (0.0%)	3 (1.3%)	0 (0.0%)
自営業		44 (100%)	27 (61.4%)	25 (56.8%)	16 (36.4%)	10 (22.7%)	26 (59.1%)	14 (31.8%)	19 (43.2%)	4 (9.1%)	13 (29.5%)	4 (9.1%)	0 (0.0%)	2 (4.5%)	1 (2.3%)	
家事		115 (100%)	73 (63.5%)	66 (57.4%)	76 (66.1%)	21 (18.3%)	77 (67.0%)	55 (47.8%)	63 (54.8%)	2 (1.7%)	42 (36.5%)	9 (7.8%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	
無職(退職者含む)		113 (100%)	85 (75.2%)	54 (47.8%)	69 (61.1%)	11 (9.7%)	66 (58.4%)	51 (45.1%)	61 (54.0%)	2 (1.8%)	36 (31.9%)	20 (17.7%)	4 (3.5%)	4 (3.5%)	1 (0.9%)	
パート・アルバイト		76 (100%)	54 (71.1%)	35 (46.1%)	44 (57.9%)	19 (25.0%)	54 (71.1%)	42 (55.3%)	40 (52.6%)	2 (2.6%)	25 (32.9%)	9 (11.8%)	4 (5.3%)	2 (2.6%)	0 (0.0%)	
大学生・専門学校生		4 (100%)	2 (50.0%)	3 (75.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
その他		39 (100%)	28 (71.8%)	24 (61.5%)	26 (66.7%)	3 (7.7%)	27 (69.2%)	14 (35.9%)	21 (53.8%)	0 (0.0%)	17 (43.6%)	7 (17.9%)	1 (2.6%)	1 (2.6%)	0 (0.0%)	
居住年数		1年未満	34 (100%)	20 (58.8%)	23 (67.6%)	19 (55.9%)	4 (11.8%)	12 (35.3%)	13 (38.2%)	13 (38.2%)	3 (8.8%)	6 (17.6%)	2 (5.9%)	0 (0.0%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)
		5年未満	102 (100%)	65 (63.7%)	70 (68.6%)	60 (58.8%)	23 (22.5%)	47 (46.1%)	40 (39.2%)	62 (60.8%)	6 (5.9%)	24 (23.5%)	5 (4.9%)	1 (1.0%)	2 (2.0%)	0 (0.0%)
	10年未満	96 (100%)	69 (71.9%)	61 (63.5%)	63 (65.6%)	22 (22.9%)	53 (55.2%)	41 (42.7%)	56 (58.3%)	8 (8.3%)	26 (27.1%)	7 (7.3%)	0 (0.0%)	2 (2.1%)	1 (1.0%)	
	20年未満	95 (100%)	64 (67.4%)	56 (58.9%)	62 (65.3%)	25 (26.3%)	53 (55.8%)	32 (33.7%)	52 (54.7%)	4 (4.2%)	30 (31.6%)	8 (8.4%)	3 (3.2%)	1 (1.1%)	0 (0.0%)	
	30年未満	69 (100%)	50 (72.5%)	34 (49.3%)	40 (58.0%)	13 (18.8%)	46 (66.7%)	40 (58.0%)	42 (60.9%)	2 (2.9%)	26 (37.7%)	4 (5.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	30年以上	223 (100%)	152 (68.2%)	116 (52.0%)	125 (56.1%)	22 (9.9%)	149 (66.8%)	101 (45.3%)	109 (48.9%)	3 (1.3%)	82 (36.8%)	39 (17.5%)	6 (2.7%)	7 (3.1%)	2 (0.9%)	
	その他	136 (100%)	95 (69.9%)	75 (55.1%)	68 (50.0%)	20 (14.7%)	59 (43.4%)	53 (39.0%)	68 (50.0%)	7 (5.1%)	39 (28.7%)	5 (3.7%)	0 (0.0%)	7 (5.1%)	1 (0.7%)	
世帯人数	2人	220 (100%)	146 (66.4%)	128 (58.2%)	143 (65.0%)	36 (16.4%)	144 (65.5%)	94 (42.7%)	115 (52.3%)	9 (4.1%)	65 (29.5%)	27 (12.3%)	5 (2.3%)	2 (0.9%)	1 (0.5%)	
	3人	126 (100%)	93 (73.8%)	79 (62.7%)	73 (57.9%)	19 (15.1%)	71 (56.3%)	60 (47.6%)	78 (61.9%)	2 (1.6%)	41 (32.5%)	16 (12.7%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	
	4人	91 (100%)	54 (59.3%)	52 (57.1%)	55 (60.4%)	21 (23.1%)	56 (61.5%)	37 (40.7%)	46 (50.5%)	4 (4.4%)	30 (33.0%)	9 (9.9%)	2 (2.2%)	2 (2.2%)	0 (0.0%)	
	5人	34 (100%)	23 (67.6%)	18 (52.9%)	23 (67.6%)	9 (26.5%)	23 (67.6%)	14 (41.2%)	20 (58.8%)	2 (5.9%)	13 (38.2%)	6 (17.6%)	1 (2.9%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)	
	6人以上	9 (100%)	7 (77.8%)	6 (66.7%)	5 (55.6%)	3 (33.3%)	5 (55.6%)	5 (77.8%)	7 (55.6%)	1 (11.1%)	5 (55.6%)	2 (22.2%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	その他	221 (100%)	145 (65.6%)	127 (57.5%)	143 (64.7%)	38 (17.2%)	150 (67.9%)	116 (52.5%)	125 (56.6%)	8 (3.6%)	83 (37.6%)	29 (13.1%)	4 (1.8%)	3 (1.4%)	1 (0.5%)	
	その他	13 (100%)	9 (69.2%)	9 (69.2%)	12 (92.3%)	0 (0.0%)	10 (76.9%)	4 (30.8%)	6 (46.2%)	1 (7.7%)	4 (30.8%)	2 (15.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
住居形態	集合住宅(持家)	155 (100%)	115 (74.2%)	94 (60.6%)	96 (61.9%)	24 (15.5%)	88 (56.8%)	65 (41.9%)	84 (54.2%)	5 (3.2%)	52 (33.5%)	20 (12.9%)	3 (1.9%)	2 (1.3%)	1 (0.6%)	
	集合住宅(持家以外)	218 (100%)	145 (66.5%)	125 (57.3%)	116 (53.2%)	47 (21.6%)	105 (48.2%)	75 (34.4%)	117 (53.7%)	12 (5.5%)	49 (22.5%)	12 (5.5%)	2 (0.9%)	7 (3.2%)	0 (0.0%)	
	その他	10 (100%)	5 (50.0%)	4 (40.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	5 (50.0%)	6 (60.0%)	2 (20.0%)	0 (0.0%)	5 (50.0%)	2 (20.0%)	1 (10.0%)	1 (10.0%)	1 (10.0%)	
	その他	354 (100%)	235 (66.4%)	199 (56.2%)	217 (61.3%)	53 (15.0%)	230 (65.0%)	166 (46.9%)	191 (54.0%)	6 (1.7%)	124 (35.0%)	48 (13.6%)	7 (2.0%)	7 (2.0%)	2 (0.6%)	
	その他	255 (100%)	179 (70.2%)	156 (61.2%)	147 (57.6%)	55 (21.6%)	125 (49.0%)	97 (38.0%)	139 (54.5%)	20 (7.8%)	65 (25.5%)	17 (6.7%)	2 (0.8%)	6 (2.4%)	0 (0.0%)	
町会等への加入	加入している	354 (100%)	235 (66.4%)	199 (56.2%)	217 (61.3%)	53 (15.0%)	230 (65.0%)	166 (46.9%)	191 (54.0%)	6 (1.7%)	124 (35.0%)	48 (13.6%)	7 (2.0%)	7 (2.0%)	2 (0.6%)	
	加入していない	255 (100%)	179 (70.2%)	156 (61.2%)	147 (57.6%)	55 (21.6%)	125 (49.0%)	97 (38.0%)	139 (54.5%)	20 (7.8%)	65 (25.5%)	17 (6.7%)	2 (0.8%)	6 (2.4%)	0 (0.0%)	

図表 2-11 普段心がけているごみ減量行動（年齢別）



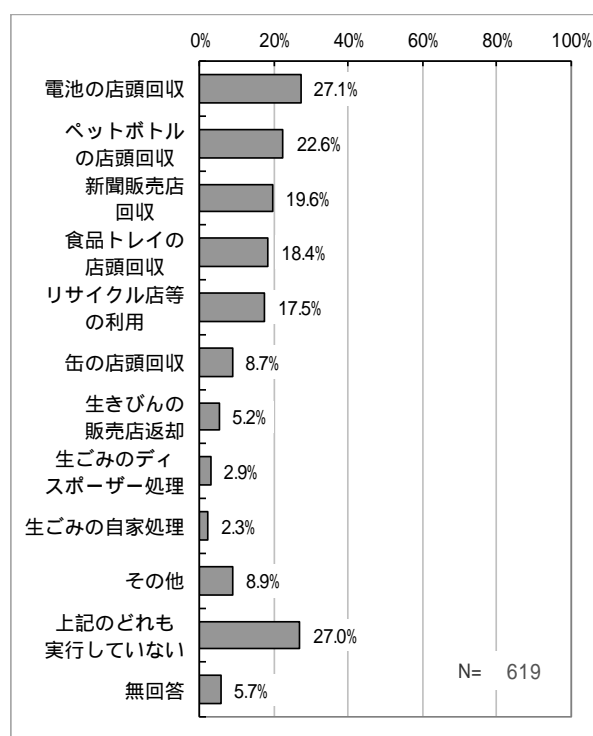
不用物の処分方法（区回収・集団回収以外）

問 2(2) ご家庭で不用になったものの処分について、区の回収や町会・自治会等の古紙回収以外の方法で処分することはありますか。（複数回答）

「電池の店頭回収」は 27.1%が実施していると回答しており最も多い。次いで、「ペットボトルの店頭回収」22.6%、「新聞販売店回収」19.6%などとなっている。

図表 2-12 不用物の処分方法（区回収・集団回収以外）

項目	回答数	割合
電池は家電量販店等の店頭回収に出している	168	27.1%
ペットボトルはスーパーなどの店頭回収に出している	140	22.6%
読み終えた新聞は新聞販売店の回収に出している	121	19.6%
食品トレイはスーパーなどの店頭回収に出している	114	18.4%
リサイクル店やフリーマーケット(ウェブサイトを含む)を利用している	108	17.5%
飲料缶はスーパーなどの店頭回収に出している	54	8.7%
ビールびんや一升びんは販売店に返している	32	5.2%
生ごみは自宅にあるディスポーザーで処理をしている	18	2.9%
生ごみは自宅で生ごみ処理機を使って減量したり、コンポスト(たい肥)化をしたりしている	14	2.3%
その他	55	8.9%
上記のどれも実行していない	167	27.0%
無回答	35	5.7%
全体回答者数	619	



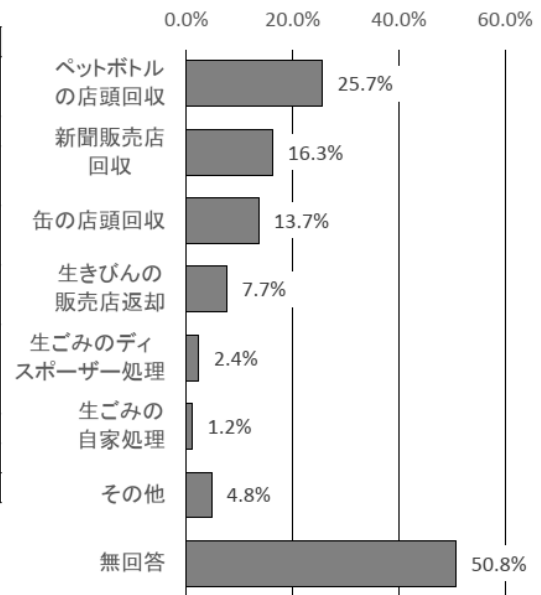
【その他】の内容

- プリンターのインクカートリッジは家電量販店の店頭にもっていつている
  - 牛乳パックを店頭回収に出す
  - ご自由にお持ち帰りくださいという札を出して家の前に出す
  - 靴や服は販売店に返している（回収可能なもののみ）
  - 不用品は友人、会社で譲る
- など

参考として、平成 26 年度のアンケート調査結果を図表 2-13 に示す。今回の方が項目数が増えているため単純な比較は出来ないが、ほぼ同様の傾向を示している。

図表 2-13 不用物の処分方法（前回アンケート調査）

選択肢	票数	割合
ペットボトルは店頭回収に出している	107	25.7%
新聞は新聞販売店に出している	68	16.3%
飲料缶についてはスーパーなどの店頭回収に出している	57	13.7%
ビールびんや一升びんは販売店に返している	32	7.7%
自宅にあるディスポージャーで処理をしている	10	2.4%
生ごみは自宅で生ごみ処理機を使って処理したり、コンポスト化を行っている。	5	1.2%
その他	20	4.8%
無回答	212	50.8%
全体	417	100.0%



図表 2-14 は、今回調査における属性別のクロス集計結果である。

- 新聞販売店回収の利用は、年代が高くなるほど高くなっている。若い世代の新聞の購読率の低さが関係しているものと思われる。また、居住形態別では一戸建て（持家）居住世帯の 29.0%は、新聞販売店回収を利用していると回答している。
- 「ペットボトルの店頭回収」の実施は、年齢別に見ると 50 代が 38.0%と突出して高い。
- 「生ごみのディスポージャー処理」は、集合住宅（持家）居住世帯の 10.3%が実施していると回答している。
- 「上記のどれも実行していない」という回答の割合は、年齢別では 20 代、世帯人数別では単身者が高くなっている。  
などの傾向が見られる。

図表 2-14 不用物の処分方法（属性別クロス集計）

	合計	問2(2) 不用物の処分方法（区回収・集団回収以外）											無回答		
		新聞販売店回収	生きびんの販売店返却	缶の店頭回収	ペットボトルの店頭回収	食品トレイの店頭回収	生ごみの自家処理	生ごみのディスポーザー処理	リサイクル店等の利用	電池の店頭回収	その他	上記のどれも実行していない			
全体	619 (100%)	121 (19.5%)	32 (5.2%)	54 (8.7%)	140 (22.6%)	114 (18.4%)	14 (2.3%)	18 (2.9%)	108 (17.4%)	168 (27.1%)	55 (8.9%)	167 (27.0%)	35 (5.7%)		
性別	男性	183 (100%)	23 (12.6%)	9 (4.9%)	12 (6.6%)	25 (13.7%)	18 (9.8%)	0 (0.0%)	7 (3.8%)	25 (13.7%)	36 (19.7%)	11 (6.0%)	67 (36.6%)	15 (8.2%)	
	女性	436 (100%)	98 (22.5%)	23 (5.3%)	42 (9.6%)	115 (26.4%)	96 (22.0%)	14 (3.2%)	11 (2.5%)	83 (19.0%)	132 (30.3%)	44 (10.1%)	100 (22.9%)	20 (4.6%)	
年齢	20～29歳	44 (100%)	1 (2.3%)	1 (2.3%)	2 (4.5%)	5 (11.4%)	3 (6.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	13 (29.5%)	3 (6.8%)	0 (0.0%)	24 (54.5%)	1 (2.3%)	
	30～39歳	103 (100%)	6 (5.8%)	8 (7.8%)	6 (5.8%)	18 (17.5%)	16 (15.5%)	0 (0.0%)	1 (1.0%)	29 (28.2%)	24 (23.3%)	5 (4.9%)	36 (35.0%)	7 (6.8%)	
	40～49歳	122 (100%)	14 (11.5%)	1 (0.8%)	10 (8.2%)	20 (16.4%)	13 (10.7%)	2 (1.6%)	10 (8.2%)	34 (27.9%)	37 (30.3%)	8 (6.6%)	30 (24.6%)	5 (4.1%)	
	50～59歳	121 (100%)	29 (24.0%)	12 (9.9%)	10 (8.3%)	46 (38.0%)	37 (30.6%)	4 (3.3%)	3 (2.5%)	21 (17.4%)	41 (33.9%)	12 (9.9%)	22 (18.2%)	4 (3.3%)	
	60～69歳	91 (100%)	25 (27.5%)	3 (3.3%)	7 (7.7%)	21 (23.1%)	18 (19.8%)	1 (1.1%)	3 (3.3%)	5 (5.5%)	22 (24.2%)	7 (7.7%)	30 (33.0%)	2 (2.2%)	
	70歳以上	138 (100%)	46 (33.3%)	7 (5.1%)	19 (13.8%)	30 (21.7%)	27 (19.6%)	7 (5.1%)	1 (0.7%)	6 (4.3%)	41 (29.7%)	23 (16.7%)	25 (18.1%)	16 (11.6%)	
	職業	会社員・公務員	226 (100%)	22 (9.7%)	7 (3.1%)	11 (4.9%)	38 (16.8%)	29 (12.8%)	3 (1.3%)	10 (4.4%)	53 (23.5%)	55 (24.3%)	11 (4.9%)	70 (31.0%)	11 (4.9%)
自営業		44 (100%)	12 (27.3%)	8 (18.2%)	5 (11.4%)	8 (18.2%)	7 (15.9%)	1 (2.3%)	1 (2.3%)	8 (18.2%)	10 (22.7%)	3 (6.8%)	10 (22.7%)	4 (9.1%)	
家事		115 (100%)	32 (27.8%)	5 (4.3%)	12 (10.4%)	34 (29.6%)	27 (23.5%)	5 (4.3%)	3 (2.6%)	19 (16.5%)	39 (33.9%)	11 (9.6%)	21 (18.3%)	10 (8.7%)	
無職(退職者含む)		113 (100%)	28 (24.8%)	6 (5.3%)	18 (15.9%)	28 (24.8%)	21 (18.6%)	3 (2.7%)	3 (2.7%)	10 (8.8%)	29 (25.7%)	16 (14.2%)	32 (28.3%)	7 (6.2%)	
パート・アルバイト		76 (100%)	16 (21.1%)	3 (3.9%)	4 (5.3%)	25 (32.9%)	20 (26.3%)	1 (1.3%)	0 (0.0%)	14 (18.4%)	22 (28.9%)	6 (7.9%)	23 (30.3%)	1 (1.3%)	
大学生・専門学校生		4 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	
その他		39 (100%)	11 (28.2%)	3 (7.7%)	2 (5.1%)	5 (12.8%)	10 (25.6%)	1 (2.6%)	1 (2.6%)	3 (7.7%)	13 (33.3%)	8 (20.5%)	9 (23.1%)	1 (2.6%)	
居住年数		1年未満	34 (100%)	2 (5.9%)	0 (0.0%)	4 (11.8%)	7 (20.6%)	4 (11.8%)	1 (2.9%)	1 (2.9%)	6 (17.6%)	5 (14.7%)	1 (2.9%)	12 (35.3%)	3 (8.8%)
		5年未満	102 (100%)	2 (2.0%)	4 (3.9%)	2 (2.0%)	11 (10.8%)	12 (11.8%)	0 (0.0%)	5 (4.9%)	24 (23.5%)	15 (14.7%)	4 (3.9%)	46 (45.1%)	4 (3.9%)
		10年未満	96 (100%)	11 (11.5%)	4 (4.2%)	11 (11.5%)	22 (22.9%)	16 (16.7%)	4 (4.2%)	4 (4.2%)	30 (31.3%)	30 (31.3%)	8 (8.3%)	29 (30.2%)	4 (4.2%)
	20年未満	95 (100%)	14 (14.7%)	3 (3.2%)	7 (7.4%)	22 (23.2%)	18 (18.9%)	0 (0.0%)	5 (5.3%)	22 (23.2%)	29 (30.5%)	10 (10.5%)	27 (28.4%)	3 (3.2%)	
	30年未満	69 (100%)	22 (31.9%)	7 (10.1%)	7 (10.1%)	25 (36.2%)	17 (24.6%)	1 (1.4%)	2 (2.9%)	9 (13.0%)	19 (27.5%)	7 (10.1%)	14 (20.3%)	1 (1.4%)	
	30年以上	223 (100%)	70 (31.4%)	14 (6.3%)	23 (10.3%)	53 (23.8%)	47 (21.1%)	8 (3.6%)	1 (0.4%)	17 (7.6%)	70 (31.4%)	25 (11.2%)	39 (17.5%)	20 (9.0%)	
世帯人数	単身者	136 (100%)	12 (8.8%)	3 (2.2%)	9 (6.6%)	18 (13.2%)	16 (11.8%)	4 (2.9%)	6 (4.4%)	18 (13.2%)	22 (16.2%)	13 (9.6%)	52 (38.2%)	9 (6.6%)	
	2人	220 (100%)	52 (23.6%)	11 (5.0%)	15 (6.8%)	42 (19.1%)	37 (16.8%)	6 (2.7%)	5 (2.3%)	39 (17.7%)	53 (24.1%)	21 (9.5%)	64 (29.1%)	13 (5.9%)	
	3人	126 (100%)	29 (23.0%)	6 (4.8%)	10 (7.9%)	33 (26.2%)	27 (21.4%)	2 (1.6%)	4 (3.2%)	19 (15.1%)	37 (29.4%)	12 (9.5%)	28 (22.2%)	8 (6.3%)	
	4人	91 (100%)	13 (14.3%)	7 (7.7%)	9 (9.9%)	29 (31.9%)	18 (19.8%)	1 (1.1%)	3 (3.3%)	19 (20.9%)	39 (42.9%)	7 (7.7%)	18 (19.8%)	2 (2.2%)	
	5人	34 (100%)	9 (26.5%)	2 (5.9%)	7 (20.6%)	15 (44.1%)	12 (35.3%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)	8 (23.5%)	12 (35.3%)	2 (5.9%)	4 (11.8%)	3 (8.8%)	
	6人以上	9 (100%)	4 (44.4%)	3 (33.3%)	4 (44.4%)	3 (33.3%)	3 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (44.4%)	3 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	
	住居形態	一戸建て(持家)	221 (100%)	64 (29.0%)	18 (8.1%)	24 (10.9%)	65 (29.4%)	56 (25.3%)	6 (2.7%)	1 (0.5%)	33 (14.9%)	79 (35.7%)	20 (9.0%)	49 (22.2%)	13 (5.9%)
一戸建て(持家以外)		13 (100%)	2 (15.4%)	0 (0.0%)	2 (15.4%)	3 (23.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (7.7%)	6 (46.2%)	1 (7.7%)	2 (15.4%)	1 (7.7%)	
集合住宅(持家)		155 (100%)	33 (21.3%)	7 (4.5%)	11 (7.1%)	32 (20.6%)	24 (15.5%)	5 (3.2%)	16 (10.3%)	23 (14.8%)	32 (20.6%)	22 (14.2%)	32 (20.6%)	10 (6.5%)	
集合住宅(持家以外)		218 (100%)	19 (8.7%)	5 (2.3%)	15 (6.9%)	38 (17.4%)	29 (13.3%)	3 (1.4%)	1 (0.5%)	50 (22.9%)	47 (21.6%)	11 (5.0%)	83 (38.1%)	8 (3.7%)	
その他		10 (100%)	1 (10.0%)	2 (20.0%)	2 (20.0%)	2 (20.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	3 (30.0%)	1 (10.0%)	1 (10.0%)	3 (30.0%)	
町会等への加入	加入している	354 (100%)	93 (26.3%)	26 (7.3%)	35 (9.9%)	94 (26.6%)	78 (22.0%)	10 (2.8%)	7 (2.0%)	49 (13.8%)	116 (32.8%)	31 (8.8%)	78 (22.0%)	19 (5.4%)	
	加入していない	255 (100%)	27 (10.6%)	6 (2.4%)	18 (7.1%)	42 (16.5%)	34 (13.3%)	4 (1.6%)	10 (3.9%)	58 (22.7%)	48 (18.8%)	22 (8.6%)	88 (34.5%)	13 (5.1%)	

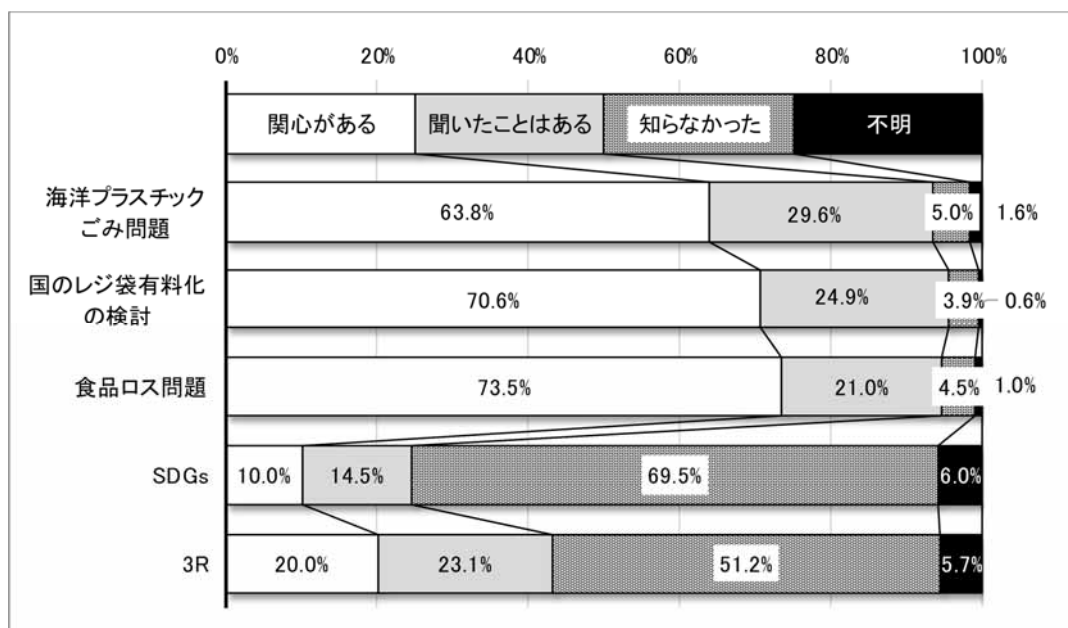
ごみ関連用語の認知度・関心度

問 2(3) 以下のごみ問題に関連する用語や動向について、あなたの認識に最も近いものをお選びください。

「海洋プラスチックごみ問題」「国のレジ袋有料化の検討」「食品ロス問題」については、6割以上が「関心がある」と回答している。一方、「SDGs」については69.5%、「3R」については23.1%が「知らなかった」と回答している。

図表 2-15 ごみ関連用語の認知度・関心度

	関心がある	聞いたことはある	知らなかった	不明	合計
海洋プラスチックごみ問題	395 (63.8%)	183 (29.6%)	31 (5.0%)	10 (1.6%)	619 (100%)
国のレジ袋有料化の検討	437 (70.6%)	154 (24.9%)	24 (3.9%)	4 (0.6%)	619 (100%)
食品ロス問題	455 (73.5%)	130 (21.0%)	28 (4.5%)	6 (1.0%)	619 (100%)
SDGs	62 (10.0%)	90 (14.5%)	430 (69.5%)	37 (6.0%)	619 (100%)
3R	124 (20.0%)	143 (23.1%)	317 (51.2%)	35 (5.7%)	619 (100%)

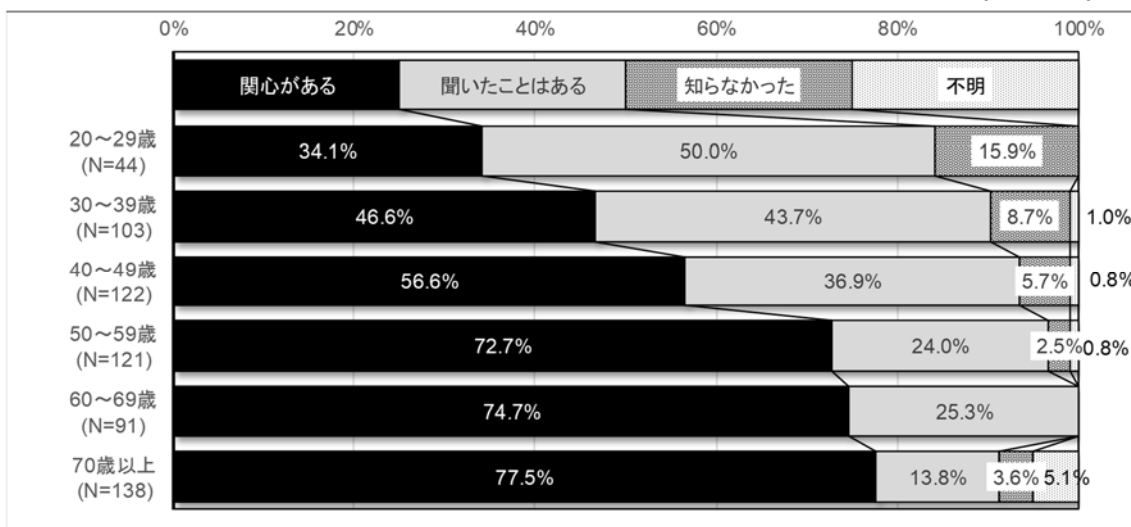


属性別のクロス集計結果を見ると、年齢別に顕著な傾向が見られる。

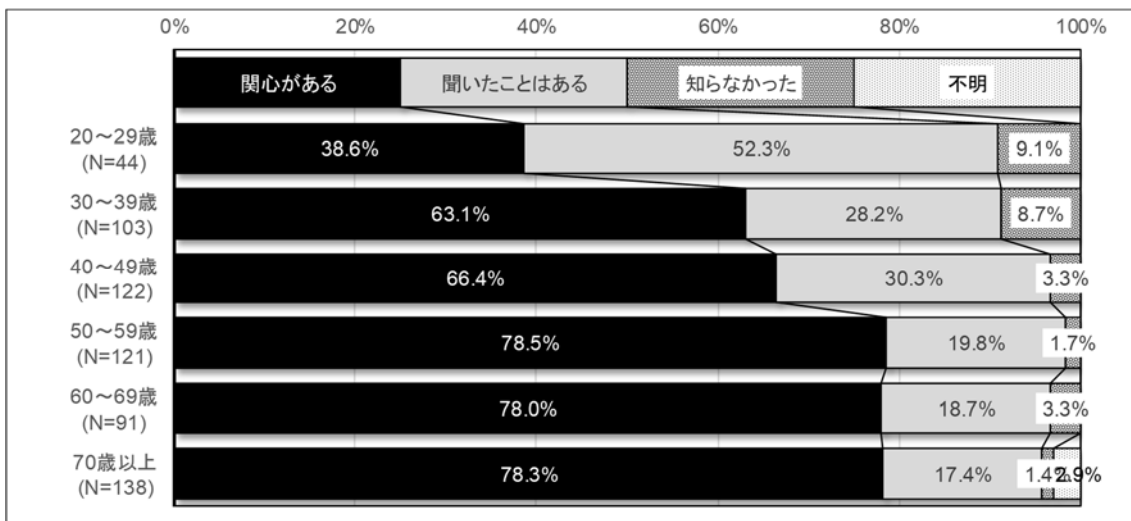
- 「海洋プラスチックごみ問題」「国のレジ袋有料化の検討」「食品ロス問題」は、年代が高くなるほど関心度が高くなる傾向にある。(図表 2-16、図表 2-17、図表 2-18)
- 「SDGs」「3R」については、年代別の大きい差異は見られないが、20代のみ、「3R」の関心度・認知度が高い。これは、小中学校での環境教育の充実等が影響しているものと考えられる。(図表 2-19、図表 2-20)



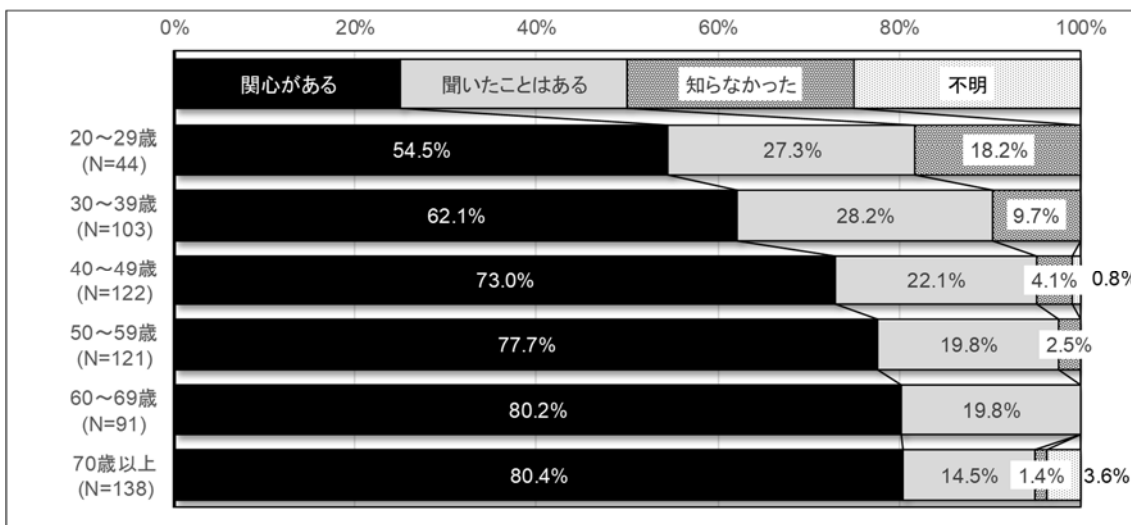
図表 2-16 ごみ関連用語の認知度・関心度「海洋プラスチックごみ問題」(年齢別)



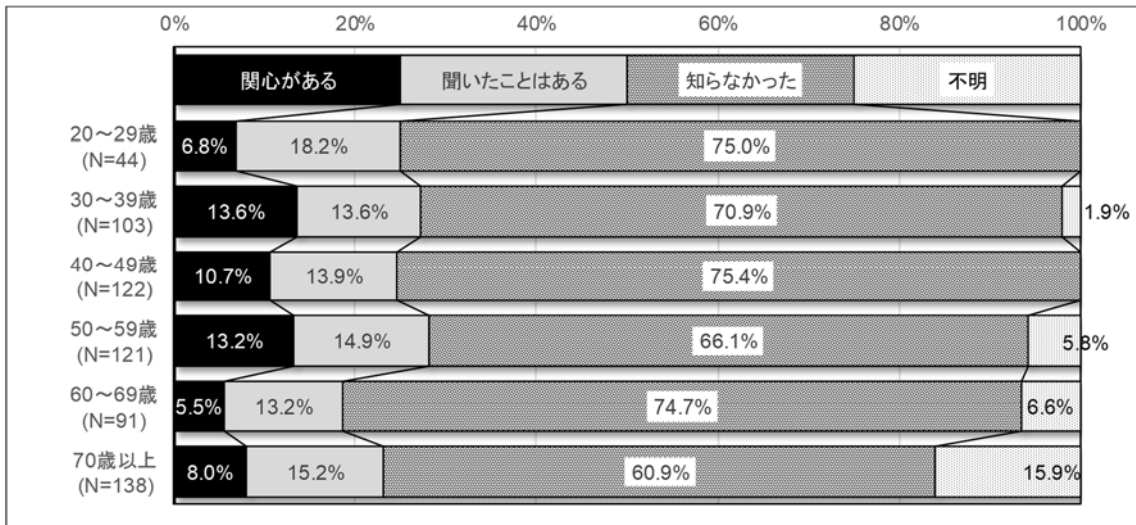
図表 2-17 ごみ関連用語の認知度・関心度「レジ袋有料化」(年齢別)



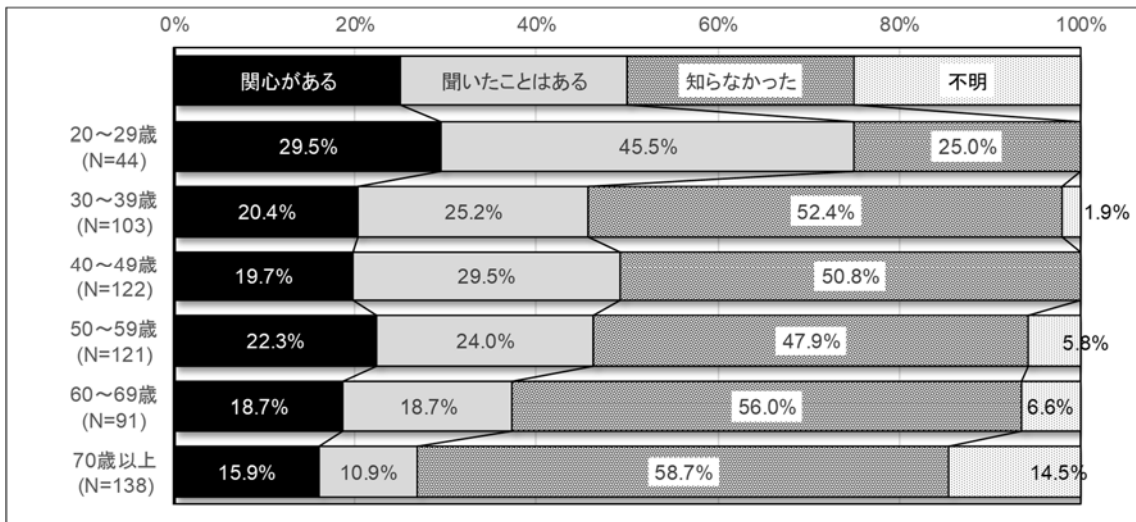
図表 2-18 ごみ関連用語の認知度・関心度「食品ロス問題」(年齢別)



図表 2-19 ごみ関連用語の認知度・関心度「SDGs」(年齢別)



図表 2-20 ごみ関連用語の認知度・関心度「3R」(年齢別)



(2) 食品ロスについて

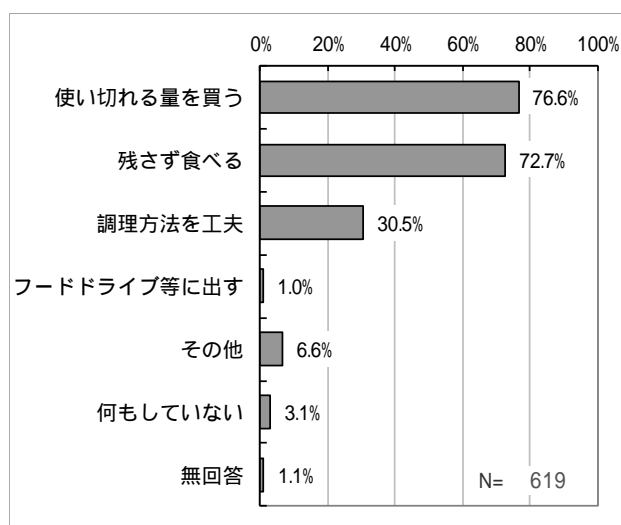
食品ロスを減らすための行動

問 3(1) 「食品ロス」を減らすために、あなたが実践していることはありますか。  
(複数回答)

「使い切れる量を買う」「残さず食べる」がいずれも7割以上となっている。一方、「何もしていない」という回答は3.1%であった。

図表 2-21 食品ロスを減らすための行動

項目	回答数	割合
使い切れる量を買う	474	76.6%
残さず食べる	450	72.7%
調理方法を工夫して調理くずを減らす	189	30.5%
フードドライブやバザーに出す	6	1.0%
その他	41	6.6%
何もしていない	19	3.1%
無回答	7	1.1%
全体回答者数	619	



【その他】の内容

- 使わなかった分は冷凍する（12件）
  - 賞味期限が過ぎても食べる
  - 友人に分ける
- など

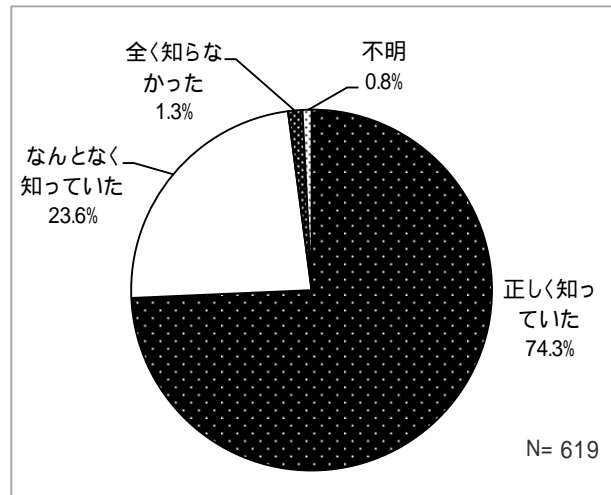
「賞味期限」「消費期限」について

問 3(2) 「消費期限」と「賞味期限」の違いをご存じでしたか。

「正しく知っていた」が 74.3%に上り、「なんとなく知っていた」と合わせると、約 98%が違いを認識しているとの結果となった。

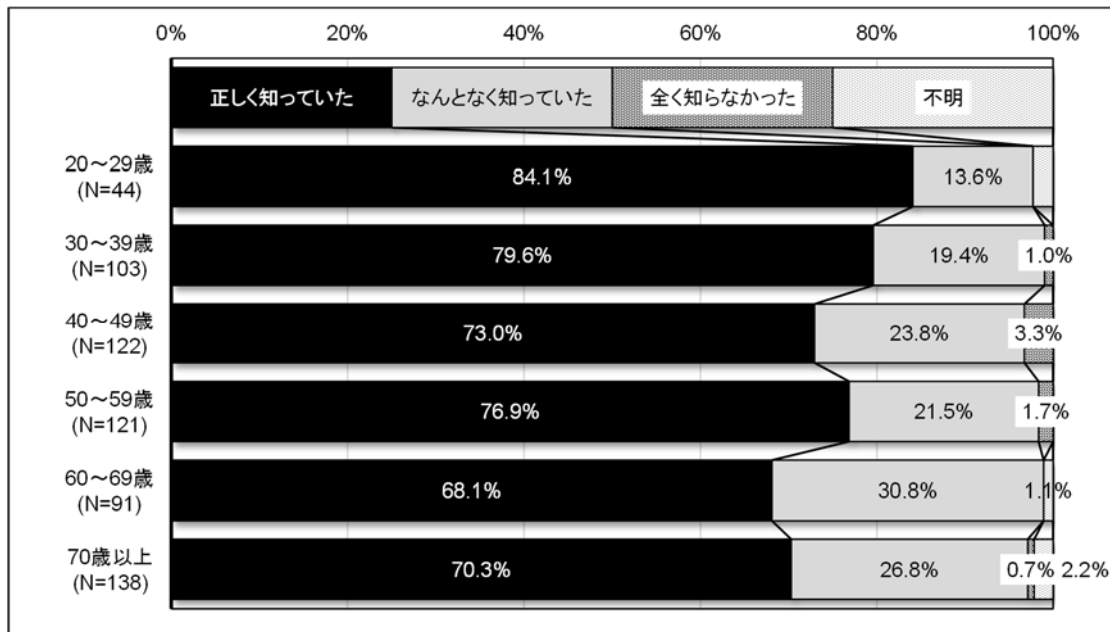
図表 2-22 「賞味期限」「消費期限」の違い

選択肢	回答数	割合
正しく知っていた	460	74.3%
なんとなく知っていた	146	23.6%
全く知らなかった	8	1.3%
不明	5	0.8%
合計	619	100.0%



年齢別に見ると「正しく知っていた」という回答は、60代と70代以上でやや低い傾向にある。(図表 2-23)

図表 2-23 「賞味期限」「消費期限」の違い(年齢別)



## 賞味期限切れ等の廃棄

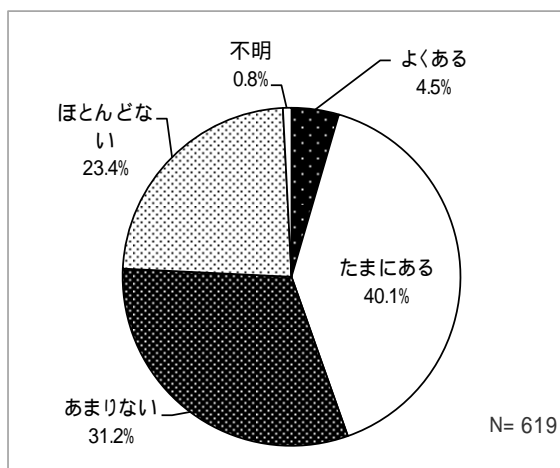
問 3(3) あなたの家庭では、賞味期限切れの食品や作りすぎてしまった食べ物などを捨ててしまうことはありますか。

「たまにある」という回答が最も多く、40.1%である。「あまりない」「ほとんどない」は合計で 54.6%と半数強となった。

また、平成 26 年度のアンケート調査結果と比較すると、今回の結果は「よくある」が 1.3 ポイント低下し、「たまにある」は 3.5 ポイント低下している。

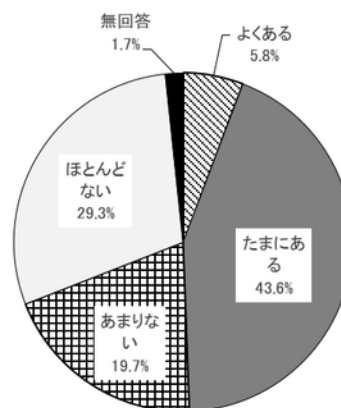
図表 2-24 賞味期限切れ等の廃棄

選択肢	回答数	割合
よくある	28	4.5%
たまにある	248	40.1%
あまりない	193	31.2%
ほとんどない	145	23.4%
不明	5	0.8%
合計	619	100.0%



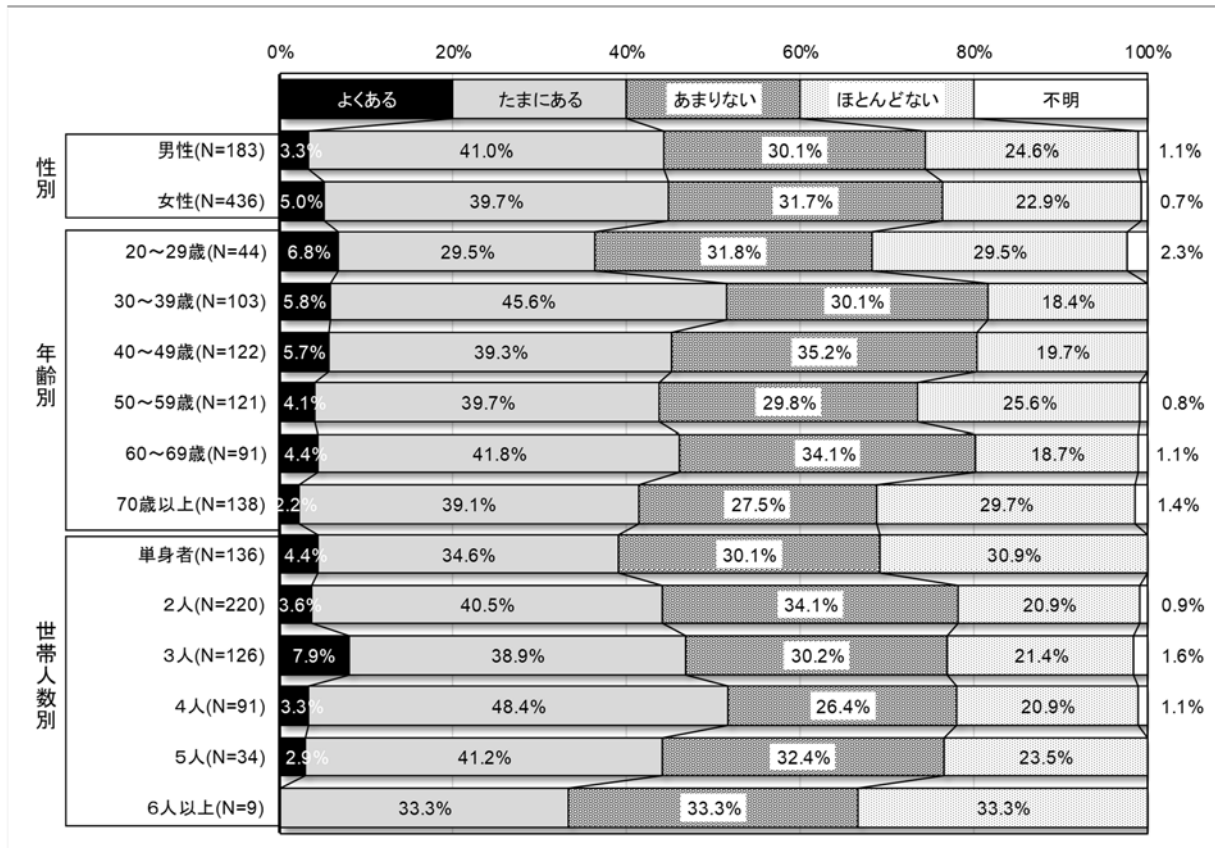
図表 2-25 賞味期限切れ等の廃棄 (前回アンケート調査)

選択肢名	票数	割合
1 よくある	24	5.8%
2 たまにある	182	43.6%
3 あまりない	82	19.7%
4 ほとんどない	122	29.3%
無回答	7	1.7%
全体	417	100.0%



今回調査における属性別に見ると、賞味期限切れ等の廃棄が「よくある」「たまにある」の合計は、年齢別には 30 代が、世帯人数別には 3 人世帯・4 人世帯が、やや大きい傾向にある (図表 2-26 グラフ)。

図表 2-26 賞味期限切れ等の廃棄（性別・年齢別・世帯人数別）



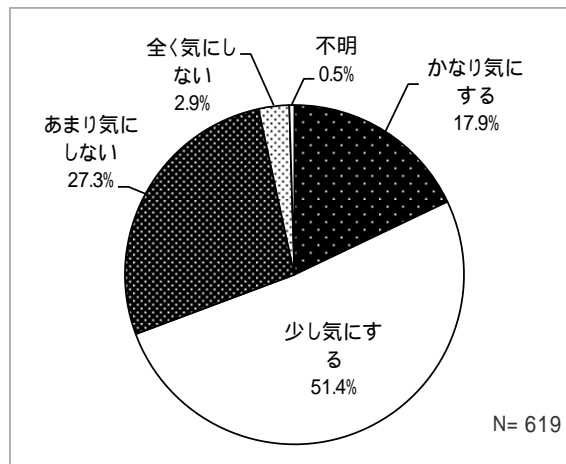
## 賞味期限切れを気にするか

問 3(4) あなたは食品の賞味期限を気にする方ですか。

「少し気にする」が 51.4%、「かなり気にする」が 17.4%、合計で 7 割近くが「気にする」と回答している。

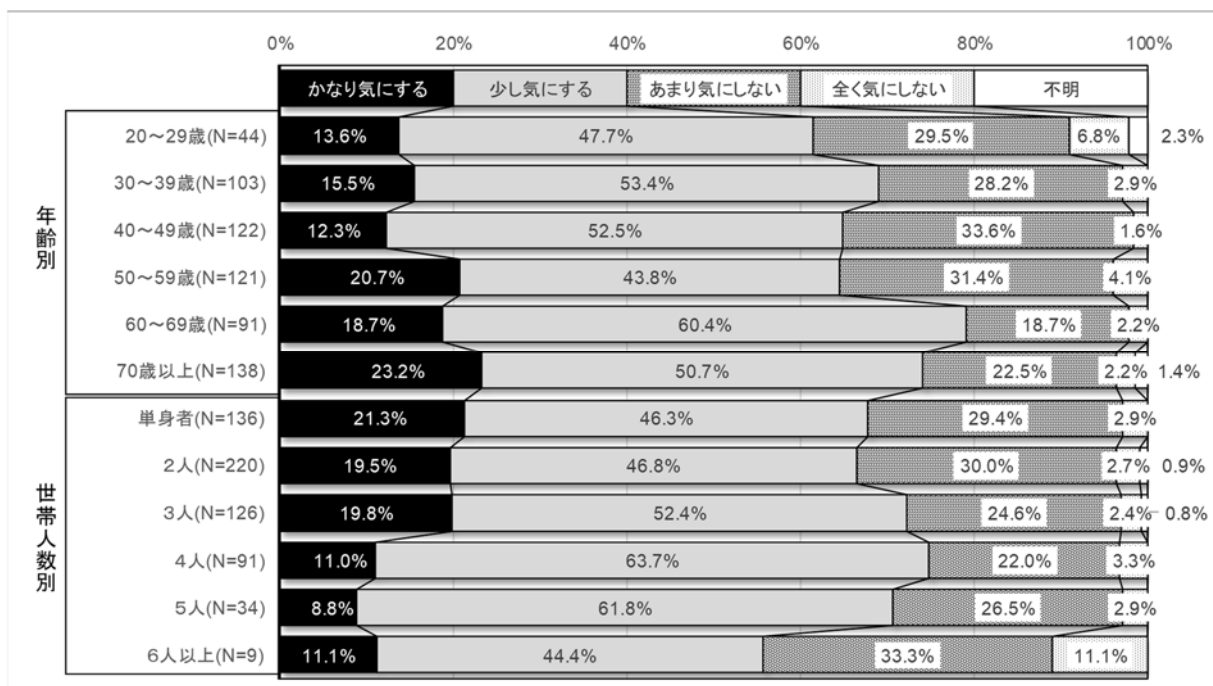
図表 2-27 賞味期限切れを気にするかどうか

選択肢	回答数	割合
かなり気にする	111	17.9%
少し気にする	318	51.4%
あまり気にしない	169	27.3%
全く気にしない	18	2.9%
不明	3	0.5%
合計	619	100.0%



属性別に見ると、「かなり気にする」という層は、年齢別では 50 代以上、世帯人数別では単身者から 3 人世帯までの層に多い傾向にある。(図表 2-28)

図表 2-28 賞味期限切れを気にするかどうか(年齢別、世帯人数別)



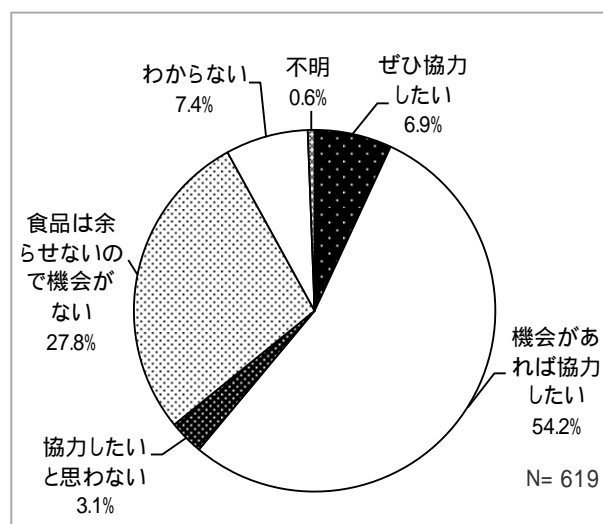
## フードドライブへの協力

問 3(5) あなたは、フードドライブの仕組みに協力したいですか。

「機会があれば協力したい」との回答が 54.1%と半数強となった。次いで多いのが、「食品は余らせないので機会がない」の 27.8%である。

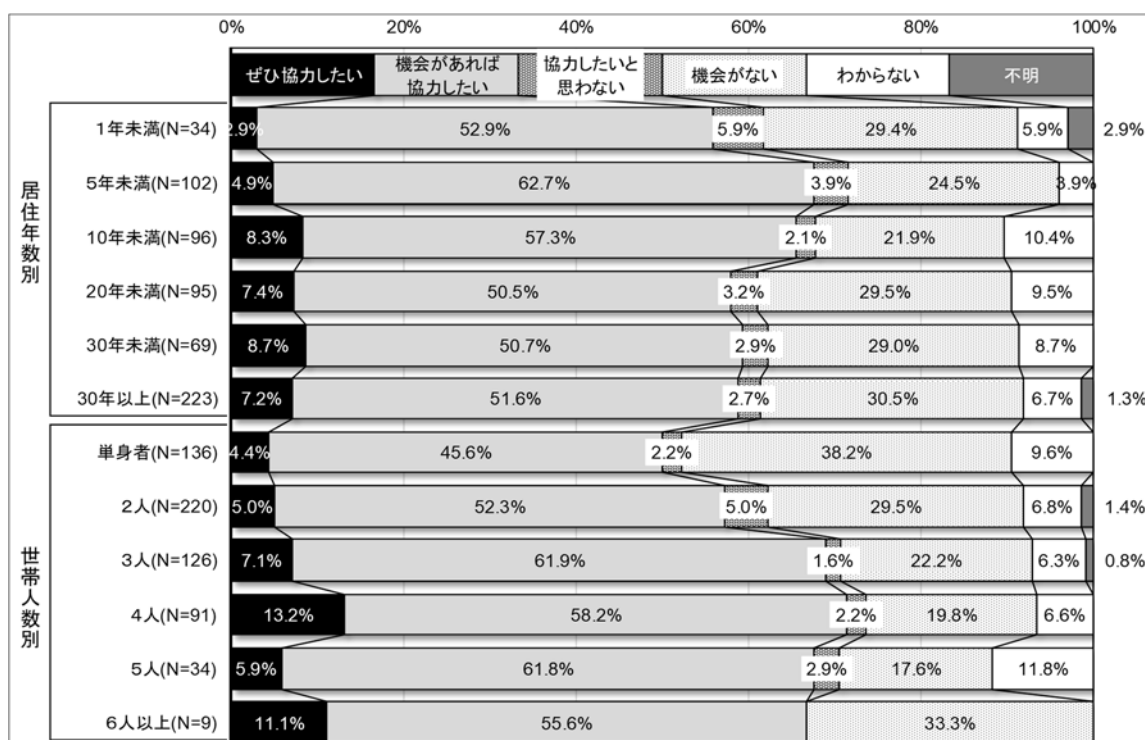
図表 2-29 フードドライブへの協力

選択肢	回答数	割合
ぜひ協力したい	43	6.9%
機会があれば協力したい	335	54.1%
協力したいと思わない	19	3.1%
食品は余らせないので機会がない	172	27.8%
わからない	46	7.4%
不明	4	0.6%
合計	619	100.0%



居住年数別では 5 年以上になると「ぜひ協力したい」という回答が多くなっている。世帯人数別では、4 人世帯が「ぜひ協力したい」という回答が多い。(図表 2-30)

図表 2-30 フードドライブへの協力 (居住年数別、世帯人数別)





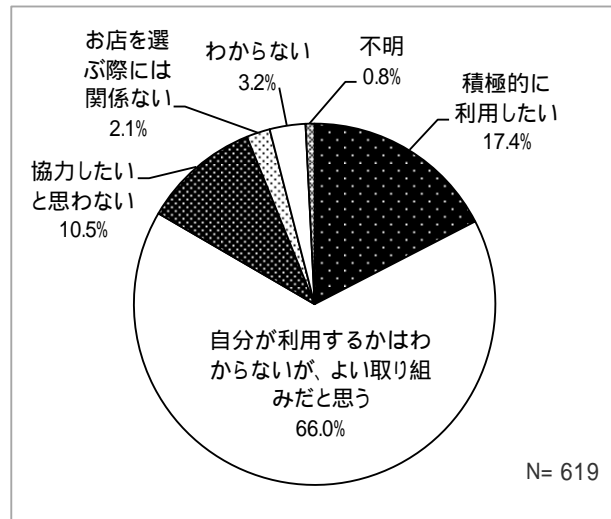
「食べきり協力店」について

問 3(6) あなたは、「食べきり協力店」についてどう思われますか。

「食べきり協力店」については、65.9%が「自分が利用するかどうかは分からないが、よい取り組みだと思う」と回答している。「協力したいと思わない」という回答は 10.5%であった。

図表 2-31 「食べきり協力店」について

選択肢	回答数	割合
積極的に利用したい	108	17.4%
自分が利用するかは分からないが、よい取り組みだと思う	408	65.9%
協力したいと思わない	65	10.5%
お店を選ぶ際には関係ない	13	2.1%
わからない	20	3.2%
不明	5	0.8%
合計	619	100.0%



図表 2-32 は属性別クロス集計である。年齢別の 20 代の「積極的に利用したい」という回答が 34.1%とやや高くなっている。ただし 20 代の回答は 44 件とやや少ないためサンプル誤差に留意する必要がある。

図表 2-32 「食べきり協力店」について（属性別クロス集計）

	合計	問3(6)「食べきり協力店」について						
		積極的に利用したい	自分が利用するがわからないが、よい取り組みだと思ふ	協力したいと思わない	お店を選ぶ際には関係ない	わからない	不明	
全体	619 (100%)	108 (17.4%)	408 (65.9%)	65 (10.5%)	13 (2.1%)	20 (3.2%)	5 (0.8%)	
性別	男性	183 (100%)	34 (18.6%)	118 (64.5%)	22 (12.0%)	3 (1.6%)	5 (2.7%)	1 (0.5%)
	女性	436 (100%)	74 (17.0%)	290 (66.5%)	43 (9.9%)	10 (2.3%)	15 (3.4%)	4 (0.9%)
年齢	20～29歳	44 (100%)	15 (34.1%)	21 (47.7%)	5 (11.4%)	0 (0.0%)	2 (4.5%)	1 (2.3%)
	30～39歳	103 (100%)	17 (16.5%)	70 (68.0%)	14 (13.6%)	1 (1.0%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)
	40～49歳	122 (100%)	20 (16.4%)	88 (72.1%)	9 (7.4%)	1 (0.8%)	4 (3.3%)	0 (0.0%)
	50～59歳	121 (100%)	25 (20.7%)	77 (63.6%)	12 (9.9%)	5 (4.1%)	2 (1.7%)	0 (0.0%)
	60～69歳	91 (100%)	14 (15.4%)	62 (68.1%)	11 (12.1%)	0 (0.0%)	4 (4.4%)	0 (0.0%)
	70歳以上	138 (100%)	17 (12.3%)	90 (65.2%)	14 (10.1%)	6 (4.3%)	7 (5.1%)	4 (2.9%)
	職業	会社員・公務員	226 (100%)	47 (20.8%)	148 (65.5%)	25 (11.1%)	2 (0.9%)	4 (1.8%)
自営業		44 (100%)	8 (18.2%)	31 (70.5%)	2 (4.5%)	1 (2.3%)	1 (2.3%)	1 (2.3%)
家事		115 (100%)	17 (14.8%)	77 (67.0%)	12 (10.4%)	4 (3.5%)	4 (3.5%)	1 (0.9%)
無職(退職者含む)		113 (100%)	15 (13.3%)	70 (61.9%)	16 (14.2%)	3 (2.7%)	6 (5.3%)	3 (2.7%)
パート・アルバイト		76 (100%)	14 (18.4%)	51 (67.1%)	6 (7.9%)	1 (1.3%)	4 (5.3%)	0 (0.0%)
大学生・専門学校生		4 (100%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他		39 (100%)	6 (15.4%)	28 (71.8%)	2 (5.1%)	2 (5.1%)	1 (2.6%)	0 (0.0%)
居住年数		1年未満	34 (100%)	7 (20.6%)	19 (55.9%)	5 (14.7%)	1 (2.9%)	1 (2.9%)
	5年未満	102 (100%)	18 (17.6%)	70 (68.6%)	11 (10.8%)	1 (1.0%)	2 (2.0%)	0 (0.0%)
	10年未満	96 (100%)	14 (14.6%)	68 (70.8%)	10 (10.4%)	1 (1.0%)	2 (2.1%)	1 (1.0%)
	20年未満	95 (100%)	21 (22.1%)	60 (63.2%)	10 (10.5%)	0 (0.0%)	4 (4.2%)	0 (0.0%)
	30年未満	69 (100%)	11 (15.9%)	42 (60.9%)	10 (14.5%)	2 (2.9%)	4 (5.8%)	0 (0.0%)
	30年以上	223 (100%)	37 (16.6%)	149 (66.8%)	19 (8.5%)	8 (3.6%)	7 (3.1%)	3 (1.3%)
世帯人数	単身者	136 (100%)	22 (16.2%)	91 (66.9%)	11 (8.1%)	4 (2.9%)	6 (4.4%)	2 (1.5%)
	2人	220 (100%)	41 (18.6%)	137 (62.3%)	27 (12.3%)	5 (2.3%)	8 (3.6%)	2 (0.9%)
	3人	126 (100%)	13 (10.3%)	90 (71.4%)	15 (11.9%)	4 (3.2%)	3 (2.4%)	1 (0.8%)
	4人	91 (100%)	20 (22.0%)	61 (67.0%)	8 (8.8%)	0 (0.0%)	2 (2.2%)	0 (0.0%)
	5人	34 (100%)	9 (26.5%)	21 (61.8%)	3 (8.8%)	0 (0.0%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)
	6人以上	9 (100%)	2 (22.2%)	6 (66.7%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
住居形態	一戸建て(持家)	221 (100%)	33 (14.9%)	149 (67.4%)	25 (11.3%)	5 (2.3%)	7 (3.2%)	2 (0.9%)
	一戸建て(持家以外)	13 (100%)	1 (7.7%)	10 (76.9%)	2 (15.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	集合住宅(持家)	155 (100%)	32 (20.6%)	99 (63.9%)	14 (9.0%)	5 (3.2%)	4 (2.6%)	1 (0.6%)
	集合住宅(持家以外)	218 (100%)	41 (18.8%)	142 (65.1%)	24 (11.0%)	3 (1.4%)	7 (3.2%)	1 (0.5%)
	その他	10 (100%)	1 (10.0%)	6 (60.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (20.0%)	1 (10.0%)
	町会等への加入	加入している	354 (100%)	53 (15.0%)	239 (67.5%)	39 (11.0%)	9 (2.5%)	11 (3.1%)
加入していない		255 (100%)	55 (21.6%)	166 (65.1%)	21 (8.2%)	4 (1.6%)	8 (3.1%)	1 (0.4%)

(3) ごみ・資源の分別について

分け方・出し方の認知

問 4(1) あなたは、以下のごみや資源について、分け方・出し方をご存じですか。

本問では、現在のごみ・資源の分別収集について、「分け方」「出し方」それぞれをどの程度認知しているかを尋ねた。

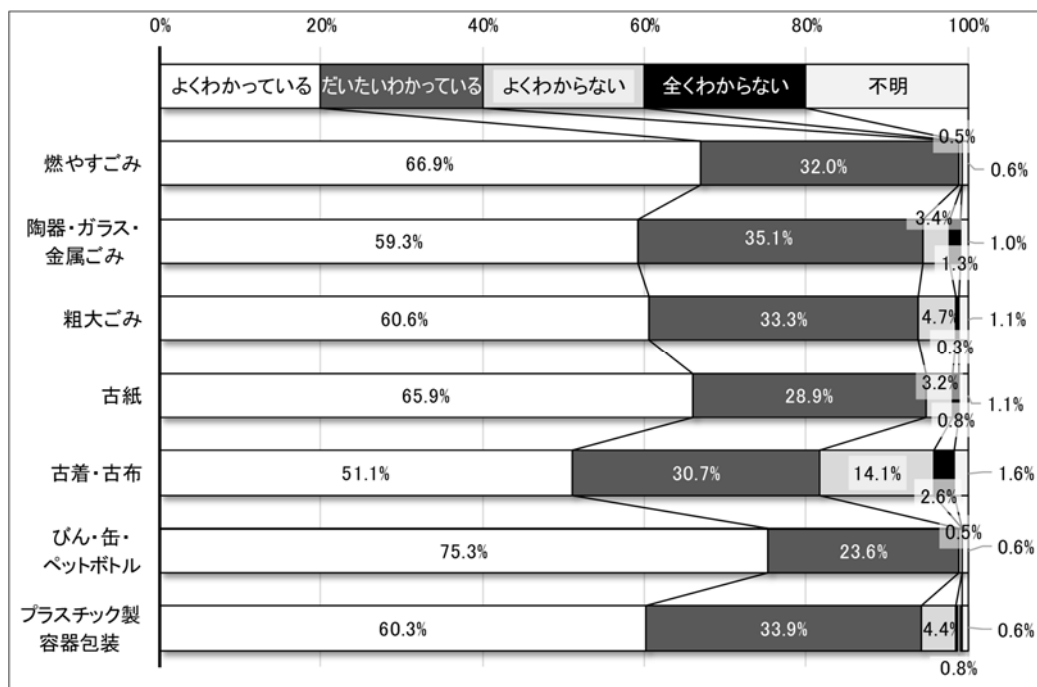
【分け方に関する認知度】

単純集計結果を図表 2-33 に示す。

「よくわかっている」という回答が最も多かったのが「びん・缶・ペットボトル」75.3%であった。一方、「古着・古布」は「よくわかっている」の割合が最も低く(51.1%)、「よくわからない」「全くわからない」を合わせた比率も 16.7%と最も多くなっている。

図表 2-33 「分け方」に関する認知度

	よくわかっている	だいたいわかっている	よくわからない	全くわからない	不明	合計
燃やすごみ	414 (66.9%)	198 (32.0%)	3 (0.5%)	0 (0.0%)	4 (0.6%)	619 (100%)
陶器・ガラス・ 金属ごみ	367 (59.3%)	217 (35.1%)	21 (3.4%)	8 (1.3%)	6 (1.0%)	619 (100%)
粗大ごみ	375 (60.6%)	206 (33.3%)	29 (4.7%)	2 (0.3%)	7 (1.1%)	619 (100%)
古紙	408 (65.9%)	179 (28.9%)	20 (3.2%)	5 (0.8%)	7 (1.1%)	619 (100%)
古着・古布	316 (51.1%)	190 (30.7%)	87 (14.1%)	16 (2.6%)	10 (1.6%)	619 (100%)
びん・缶・ペット ボトル	466 (75.3%)	146 (23.6%)	3 (0.5%)	0 (0.0%)	4 (0.6%)	619 (100%)
プラスチック製 容器包装	373 (60.3%)	210 (33.9%)	27 (4.4%)	5 (0.8%)	4 (0.6%)	619 (100%)

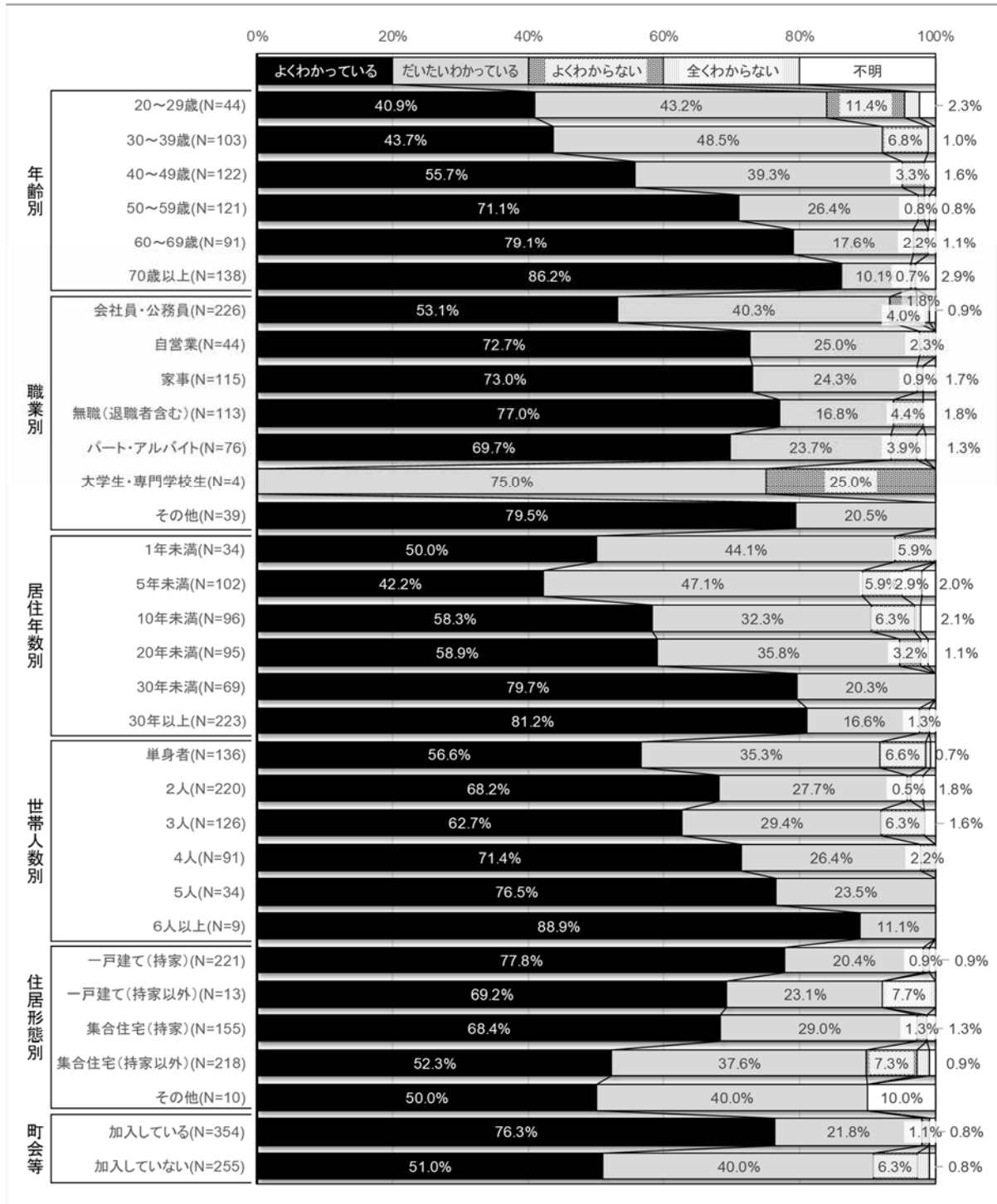


属性別のクロス集計結果は、品目ごとに図表 2-35～図表 2-41 にまとめた。

大きな傾向としては、「よくわかっている」という回答は、「年齢」は低いほど、職業別では「会社員・公務員」、居住年数が短いほど、世帯人数では「単身者」、住居形態では「持家以外の集合住宅」、町会への加入は「していない」層が、低くなっている。

「古紙」の分け方の認知度を例に、クロス集計結果のグラフを図表 2-34 に示す。

図表 2-34 「古紙」の分け方に関する認知度（属性別グラフ）



図表 2-35 「燃やすごみ」の分け方に関する認知度（属性別クロス集計）

	合計	問4(1) 分け方の認知度(燃やすごみ)						
		よくわかっている	だいたいわかっている	よくわからない	全くわからない	不明		
全体	619 (100%)	414 (66.9%)	198 (32.0%)	3 (0.5%)	0 (0.0%)	4 (0.6%)		
性別	男性	183 (100%)	120 (65.6%)	59 (32.2%)	2 (1.1%)	0 (0.0%)	2 (1.1%)	
	女性	436 (100%)	294 (67.4%)	139 (31.9%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	2 (0.5%)	
年齢	20～29歳	44 (100%)	26 (59.1%)	16 (36.4%)	1 (2.3%)	0 (0.0%)	1 (2.3%)	
	30～39歳	103 (100%)	42 (40.8%)	59 (57.3%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)	1 (1.0%)	
	40～49歳	122 (100%)	71 (58.2%)	51 (41.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	50～59歳	121 (100%)	82 (67.8%)	39 (32.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	60～69歳	91 (100%)	72 (79.1%)	19 (20.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	70歳以上	138 (100%)	121 (87.7%)	14 (10.1%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	2 (1.4%)	
	職業	会社員・公務員	226 (100%)	127 (56.2%)	98 (43.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)
自営業		44 (100%)	30 (68.2%)	13 (29.5%)	1 (2.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
家事		115 (100%)	82 (71.3%)	33 (28.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
無職(退職者含む)		113 (100%)	88 (77.9%)	21 (18.6%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	3 (2.7%)	
パート・アルバイト		76 (100%)	56 (73.7%)	19 (25.0%)	1 (1.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
大学生・専門学校生		4 (100%)	1 (25.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
その他		39 (100%)	28 (71.8%)	11 (28.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
居住年数		1年未満	34 (100%)	17 (50.0%)	16 (47.1%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	5年未満	102 (100%)	49 (48.0%)	53 (52.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	10年未満	96 (100%)	57 (59.4%)	38 (39.6%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	20年未満	95 (100%)	62 (65.3%)	31 (32.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (2.1%)	
	30年未満	69 (100%)	56 (81.2%)	13 (18.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	30年以上	223 (100%)	173 (77.6%)	47 (21.1%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	2 (0.9%)	
	世帯人数	単身者	136 (100%)	84 (61.8%)	51 (37.5%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2人		220 (100%)	148 (67.3%)	68 (30.9%)	2 (0.9%)	0 (0.0%)	2 (0.9%)	
3人		126 (100%)	83 (65.9%)	41 (32.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.6%)	
4人		91 (100%)	64 (70.3%)	27 (29.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
5人		34 (100%)	25 (73.5%)	9 (26.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
6人以上		9 (100%)	8 (88.9%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
住居形態		一戸建て(持家)	221 (100%)	171 (77.4%)	47 (21.3%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	2 (0.9%)
	一戸建て(持家以外)	13 (100%)	9 (69.2%)	4 (30.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	集合住宅(持家)	155 (100%)	106 (68.4%)	48 (31.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.6%)	
	集合住宅(持家以外)	218 (100%)	119 (54.6%)	96 (44.0%)	2 (0.9%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	
	その他	10 (100%)	7 (70.0%)	3 (30.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	町会等への加入	加入している	354 (100%)	272 (76.8%)	79 (22.3%)	1 (0.3%)	0 (0.0%)	2 (0.6%)
		加入していない	255 (100%)	134 (52.5%)	117 (45.9%)	2 (0.8%)	0 (0.0%)	2 (0.8%)

図表 2-36 「陶器・ガラス・金属ごみ」の分け方に関する認知度（属性別クロス集計）

		合計	問4(1) 分け方の認知度(陶器・ガラス・金属ごみ)				
			よくわかってい る	だいたいわかっ ている	よくわからない	全くわからない	不明
全体		619 (100%)	367 (59.3%)	217 (35.1%)	21 (3.4%)	8 (1.3%)	6 (1.0%)
性別	男性	183 (100%)	99 (54.1%)	66 (36.1%)	10 (5.5%)	5 (2.7%)	3 (1.6%)
	女性	436 (100%)	268 (61.5%)	151 (34.6%)	11 (2.5%)	3 (0.7%)	3 (0.7%)
年齢	20～29歳	44 (100%)	15 (34.1%)	21 (47.7%)	4 (9.1%)	3 (6.8%)	1 (2.3%)
	30～39歳	103 (100%)	31 (30.1%)	61 (59.2%)	7 (6.8%)	4 (3.9%)	0 (0.0%)
	40～49歳	122 (100%)	56 (45.9%)	60 (49.2%)	6 (4.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	50～59歳	121 (100%)	77 (63.6%)	41 (33.9%)	2 (1.7%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)
	60～69歳	91 (100%)	73 (80.2%)	17 (18.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)
	70歳以上	138 (100%)	115 (83.3%)	17 (12.3%)	2 (1.4%)	0 (0.0%)	4 (2.9%)
	職業	会社員・ 公務員	226 (100%)	96 (42.5%)	112 (49.6%)	10 (4.4%)	6 (2.7%)
自営業		44 (100%)	27 (61.4%)	14 (31.8%)	3 (6.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
家事		115 (100%)	75 (65.2%)	38 (33.0%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)
無職(退職 者含む)		113 (100%)	87 (77.0%)	17 (15.0%)	5 (4.4%)	0 (0.0%)	4 (3.5%)
パート・アル バイト		76 (100%)	51 (67.1%)	22 (28.9%)	2 (2.6%)	1 (1.3%)	0 (0.0%)
大学生・ 専門学校生		4 (100%)	1 (25.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他		39 (100%)	29 (74.4%)	10 (25.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
居住 年数		1年未満	34 (100%)	12 (35.3%)	17 (50.0%)	4 (11.8%)	1 (2.9%)
	5年未満	102 (100%)	40 (39.2%)	53 (52.0%)	3 (2.9%)	6 (5.9%)	0 (0.0%)
	10年未満	96 (100%)	43 (44.8%)	45 (46.9%)	7 (7.3%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)
	20年未満	95 (100%)	51 (53.7%)	41 (43.2%)	2 (2.1%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)
	30年未満	69 (100%)	55 (79.7%)	14 (20.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	30年以上	223 (100%)	166 (74.4%)	47 (21.1%)	5 (2.2%)	0 (0.0%)	5 (2.2%)
世帯 人数	単身者	136 (100%)	68 (50.0%)	57 (41.9%)	7 (5.1%)	3 (2.2%)	1 (0.7%)
	2人	220 (100%)	135 (61.4%)	72 (32.7%)	8 (3.6%)	3 (1.4%)	2 (0.9%)
	3人	126 (100%)	77 (61.1%)	41 (32.5%)	5 (4.0%)	1 (0.8%)	2 (1.6%)
	4人	91 (100%)	53 (58.2%)	35 (38.5%)	1 (1.1%)	1 (1.1%)	1 (1.1%)
	5人	34 (100%)	24 (70.6%)	10 (29.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	6人以上	9 (100%)	8 (88.9%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
住居 形態	一戸建て (持家)	221 (100%)	157 (71.0%)	56 (25.3%)	2 (0.9%)	1 (0.5%)	5 (2.3%)
	一戸建て (持家以外)	13 (100%)	8 (61.5%)	4 (30.8%)	0 (0.0%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)
	集合住宅 (持家)	155 (100%)	98 (63.2%)	53 (34.2%)	3 (1.9%)	0 (0.0%)	1 (0.6%)
	集合住宅 (持家以外)	218 (100%)	96 (44.0%)	101 (46.3%)	15 (6.9%)	6 (2.8%)	0 (0.0%)
	その他	10 (100%)	6 (60.0%)	3 (30.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	町会 等への 加入	加入している	354 (100%)	248 (70.1%)	93 (26.3%)	7 (2.0%)	1 (0.3%)
加入してい ない		255 (100%)	112 (43.9%)	121 (47.5%)	14 (5.5%)	7 (2.7%)	1 (0.4%)

図表 2-37 「粗大ごみ」の分け方に関する認知度（属性別クロス集計）

		合計	問4(1) 分け方の認知度(粗大ごみ)				
			よくわかっている	だいたいわかっている	よくわからない	全くわからない	不明
全体		619 (100%)	375 (60.6%)	206 (33.3%)	29 (4.7%)	2 (0.3%)	7 (1.1%)
性別	男性	183 (100%)	98 (53.6%)	66 (36.1%)	13 (7.1%)	1 (0.5%)	5 (2.7%)
	女性	436 (100%)	277 (63.5%)	140 (32.1%)	16 (3.7%)	1 (0.2%)	2 (0.5%)
年齢	20～29歳	44 (100%)	15 (34.1%)	18 (40.9%)	9 (20.5%)	0 (0.0%)	2 (4.5%)
	30～39歳	103 (100%)	36 (35.0%)	58 (56.3%)	7 (6.8%)	1 (1.0%)	1 (1.0%)
	40～49歳	122 (100%)	60 (49.2%)	58 (47.5%)	4 (3.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	50～59歳	121 (100%)	81 (66.9%)	38 (31.4%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)
	60～69歳	91 (100%)	69 (75.8%)	17 (18.7%)	5 (5.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	70歳以上	138 (100%)	114 (82.6%)	17 (12.3%)	3 (2.2%)	0 (0.0%)	4 (2.9%)
	職業	会社員・ 公務員	226 (100%)	105 (46.5%)	101 (44.7%)	16 (7.1%)	1 (0.4%)
自営業		44 (100%)	33 (75.0%)	9 (20.5%)	2 (4.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
家事		115 (100%)	79 (68.7%)	31 (27.0%)	4 (3.5%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)
無職(退職 者含む)		113 (100%)	78 (69.0%)	27 (23.9%)	5 (4.4%)	0 (0.0%)	3 (2.7%)
パート・アル バイト		76 (100%)	51 (67.1%)	22 (28.9%)	2 (2.6%)	1 (1.3%)	0 (0.0%)
大学生・ 専門学校生		4 (100%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他		39 (100%)	28 (71.8%)	11 (28.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
居住年数		1年未満	34 (100%)	12 (35.3%)	16 (47.1%)	6 (17.6%)	0 (0.0%)
	5年未満	102 (100%)	43 (42.2%)	45 (44.1%)	13 (12.7%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)
	10年未満	96 (100%)	46 (47.9%)	46 (47.9%)	1 (1.0%)	1 (1.0%)	2 (2.1%)
	20年未満	95 (100%)	53 (55.8%)	39 (41.1%)	2 (2.1%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)
	30年未満	69 (100%)	54 (78.3%)	15 (21.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	30年以上	223 (100%)	167 (74.9%)	45 (20.2%)	7 (3.1%)	0 (0.0%)	4 (1.8%)
	世帯人数	単身者	136 (100%)	70 (51.5%)	50 (36.8%)	12 (8.8%)	1 (0.7%)
2人		220 (100%)	138 (62.7%)	69 (31.4%)	10 (4.5%)	1 (0.5%)	2 (0.9%)
3人		126 (100%)	77 (61.1%)	43 (34.1%)	4 (3.2%)	0 (0.0%)	2 (1.6%)
4人		91 (100%)	56 (61.5%)	33 (36.3%)	2 (2.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
5人		34 (100%)	23 (67.6%)	10 (29.4%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
6人以上		9 (100%)	8 (88.9%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
住居形態		一戸建て (持家)	221 (100%)	155 (70.1%)	56 (25.3%)	7 (3.2%)	0 (0.0%)
	一戸建て (持家以外)	13 (100%)	7 (53.8%)	5 (38.5%)	0 (0.0%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)
	集合住宅 (持家)	155 (100%)	107 (69.0%)	44 (28.4%)	3 (1.9%)	0 (0.0%)	1 (0.6%)
	集合住宅 (持家以外)	218 (100%)	98 (45.0%)	99 (45.4%)	19 (8.7%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)
	その他	10 (100%)	6 (60.0%)	2 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (20.0%)
	町会 等への 加入	加入している	354 (100%)	249 (70.3%)	92 (26.0%)	10 (2.8%)	0 (0.0%)
加入してい ない		255 (100%)	121 (47.5%)	110 (43.1%)	19 (7.5%)	2 (0.8%)	3 (1.2%)

図表 2-38 「古紙」の分け方に関する認知度（属性別クロス集計）

		合計	問4(1) 分け方の認知度(古紙)				
			よくわかっている	だいたいわかっている	よくわからない	全くわからない	不明
全体		619 (100%)	408 (65.9%)	179 (28.9%)	20 (3.2%)	5 (0.8%)	7 (1.1%)
性別	男性	183 (100%)	108 (59.0%)	60 (32.8%)	10 (5.5%)	3 (1.6%)	2 (1.1%)
	女性	436 (100%)	300 (68.8%)	119 (27.3%)	10 (2.3%)	2 (0.5%)	5 (1.1%)
年齢	20～29歳	44 (100%)	18 (40.9%)	19 (43.2%)	5 (11.4%)	1 (2.3%)	1 (2.3%)
	30～39歳	103 (100%)	45 (43.7%)	50 (48.5%)	7 (6.8%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)
	40～49歳	122 (100%)	68 (55.7%)	48 (39.3%)	4 (3.3%)	2 (1.6%)	0 (0.0%)
	50～59歳	121 (100%)	86 (71.1%)	32 (26.4%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)
	60～69歳	91 (100%)	72 (79.1%)	16 (17.6%)	2 (2.2%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)
	70歳以上	138 (100%)	119 (86.2%)	14 (10.1%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	4 (2.9%)
	職業	会社員・公務員	226 (100%)	120 (53.1%)	91 (40.3%)	9 (4.0%)	4 (1.8%)
自営業		44 (100%)	32 (72.7%)	11 (25.0%)	1 (2.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
家事		115 (100%)	84 (73.0%)	28 (24.3%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	2 (1.7%)
無職(退職者含む)		113 (100%)	87 (77.0%)	19 (16.8%)	5 (4.4%)	0 (0.0%)	2 (1.8%)
パート・アルバイト		76 (100%)	53 (69.7%)	18 (23.7%)	3 (3.9%)	1 (1.3%)	1 (1.3%)
大学生・専門学校生		4 (100%)	0 (0.0%)	3 (75.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他		39 (100%)	31 (79.5%)	8 (20.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
居住年数		1年未満	34 (100%)	17 (50.0%)	15 (44.1%)	2 (5.9%)	0 (0.0%)
	5年未満	102 (100%)	43 (42.2%)	48 (47.1%)	6 (5.9%)	3 (2.9%)	2 (2.0%)
	10年未満	96 (100%)	56 (58.3%)	31 (32.3%)	6 (6.3%)	1 (1.0%)	2 (2.1%)
	20年未満	95 (100%)	56 (58.9%)	34 (35.8%)	3 (3.2%)	1 (1.1%)	1 (1.1%)
	30年未満	69 (100%)	55 (79.7%)	14 (20.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	30年以上	223 (100%)	181 (81.2%)	37 (16.6%)	3 (1.3%)	0 (0.0%)	2 (0.9%)
	世帯人数	単身者	136 (100%)	77 (56.6%)	48 (35.3%)	9 (6.6%)	1 (0.7%)
2人		220 (100%)	150 (68.2%)	61 (27.7%)	1 (0.5%)	4 (1.8%)	4 (1.8%)
3人		126 (100%)	79 (62.7%)	37 (29.4%)	8 (6.3%)	0 (0.0%)	2 (1.6%)
4人		91 (100%)	65 (71.4%)	24 (26.4%)	2 (2.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
5人		34 (100%)	26 (76.5%)	8 (23.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
6人以上		9 (100%)	8 (88.9%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
住居形態		一戸建て(持家)	221 (100%)	172 (77.8%)	45 (20.4%)	2 (0.9%)	0 (0.0%)
	一戸建て(持家以外)	13 (100%)	9 (69.2%)	3 (23.1%)	0 (0.0%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)
	集合住宅(持家)	155 (100%)	106 (68.4%)	45 (29.0%)	2 (1.3%)	0 (0.0%)	2 (1.3%)
	集合住宅(持家以外)	218 (100%)	114 (52.3%)	82 (37.6%)	16 (7.3%)	4 (1.8%)	2 (0.9%)
	その他	10 (100%)	5 (50.0%)	4 (40.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)
	町会等への加入	加入している	354 (100%)	270 (76.3%)	77 (21.8%)	4 (1.1%)	0 (0.0%)
加入していない		255 (100%)	130 (51.0%)	102 (40.0%)	16 (6.3%)	5 (2.0%)	2 (0.8%)



図表 2-39 「古着・古布」の分け方に関する認知度（属性別クロス集計）

		合計	問4(1) 分け方の認知度(古着・古布)				
			よくわかっている	だいたいわかっている	よくわからない	全くわからない	不明
全体		619 (100%)	316 (51.1%)	190 (30.7%)	87 (14.1%)	16 (2.6%)	10 (1.6%)
性別	男性	183 (100%)	86 (47.0%)	53 (29.0%)	30 (16.4%)	10 (5.5%)	4 (2.2%)
	女性	436 (100%)	230 (52.8%)	137 (31.4%)	57 (13.1%)	6 (1.4%)	6 (1.4%)
年齢	20～29歳	44 (100%)	8 (18.2%)	18 (40.9%)	14 (31.8%)	3 (6.8%)	1 (2.3%)
	30～39歳	103 (100%)	31 (30.1%)	48 (46.6%)	18 (17.5%)	6 (5.8%)	0 (0.0%)
	40～49歳	122 (100%)	53 (43.4%)	44 (36.1%)	23 (18.9%)	2 (1.6%)	0 (0.0%)
	50～59歳	121 (100%)	69 (57.0%)	36 (29.8%)	14 (11.6%)	2 (1.7%)	0 (0.0%)
	60～69歳	91 (100%)	57 (62.6%)	19 (20.9%)	12 (13.2%)	1 (1.1%)	2 (2.2%)
	70歳以上	138 (100%)	98 (71.0%)	25 (18.1%)	6 (4.3%)	2 (1.4%)	7 (5.1%)
	職業	会社員・ 公務員	226 (100%)	88 (38.9%)	83 (36.7%)	40 (17.7%)	13 (5.8%)
自営業		44 (100%)	27 (61.4%)	9 (20.5%)	8 (18.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
家事		115 (100%)	61 (53.0%)	36 (31.3%)	16 (13.9%)	0 (0.0%)	2 (1.7%)
無職(退職 者含む)		113 (100%)	68 (60.2%)	27 (23.9%)	12 (10.6%)	1 (0.9%)	5 (4.4%)
パート・アル バイト		76 (100%)	46 (60.5%)	20 (26.3%)	8 (10.5%)	1 (1.3%)	1 (1.3%)
大学生・ 専門学校生		4 (100%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他		39 (100%)	25 (64.1%)	13 (33.3%)	1 (2.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
居住年数		1年未満	34 (100%)	11 (32.4%)	15 (44.1%)	8 (23.5%)	0 (0.0%)
	5年未満	102 (100%)	28 (27.5%)	43 (42.2%)	22 (21.6%)	8 (7.8%)	1 (1.0%)
	10年未満	96 (100%)	45 (46.9%)	34 (35.4%)	13 (13.5%)	3 (3.1%)	1 (1.0%)
	20年未満	95 (100%)	44 (46.3%)	29 (30.5%)	18 (18.9%)	2 (2.1%)	2 (2.1%)
	30年未満	69 (100%)	45 (65.2%)	20 (29.0%)	4 (5.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	30年以上	223 (100%)	143 (64.1%)	49 (22.0%)	22 (9.9%)	3 (1.3%)	6 (2.7%)
	世帯人数	単身者	136 (100%)	52 (38.2%)	47 (34.6%)	30 (22.1%)	6 (4.4%)
2人		220 (100%)	116 (52.7%)	67 (30.5%)	26 (11.8%)	6 (2.7%)	5 (2.3%)
3人		126 (100%)	65 (51.6%)	40 (31.7%)	15 (11.9%)	3 (2.4%)	3 (2.4%)
4人		91 (100%)	51 (56.0%)	24 (26.4%)	14 (15.4%)	1 (1.1%)	1 (1.1%)
5人		34 (100%)	24 (70.6%)	9 (26.5%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
6人以上		9 (100%)	6 (66.7%)	3 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
住居形態		一戸建て (持家)	221 (100%)	141 (63.8%)	55 (24.9%)	17 (7.7%)	3 (1.4%)
	一戸建て (持家以外)	13 (100%)	6 (46.2%)	4 (30.8%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)
	集合住宅 (持家)	155 (100%)	84 (54.2%)	45 (29.0%)	20 (12.9%)	3 (1.9%)	3 (1.9%)
	集合住宅 (持家以外)	218 (100%)	78 (35.8%)	82 (37.6%)	48 (22.0%)	9 (4.1%)	1 (0.5%)
	その他	10 (100%)	5 (50.0%)	4 (40.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	町会 等への 加入	加入している	354 (100%)	218 (61.6%)	91 (25.7%)	35 (9.9%)	4 (1.1%)
加入してい ない	255 (100%)	93 (36.5%)	96 (37.6%)	51 (20.0%)	12 (4.7%)	3 (1.2%)	

図表 2-40 「びん・缶・ペットボトル」の分け方に関する認知度（属性別クロス集計）

		合計	問4(1) 分け方の認知度(びん・缶・ペットボトル)				
			よくわかってい る	だいたいわかっ ている	よくわからない	全くわからない	不明
全体		619 (100%)	466 (75.3%)	146 (23.6%)	3 (0.5%)	0 (0.0%)	4 (0.6%)
性別	男性	183 (100%)	132 (72.1%)	47 (25.7%)	2 (1.1%)	0 (0.0%)	2 (1.1%)
	女性	436 (100%)	334 (76.6%)	99 (22.7%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	2 (0.5%)
年齢	20～29歳	44 (100%)	26 (59.1%)	16 (36.4%)	1 (2.3%)	0 (0.0%)	1 (2.3%)
	30～39歳	103 (100%)	58 (56.3%)	43 (41.7%)	2 (1.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	40～49歳	122 (100%)	84 (68.9%)	38 (31.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	50～59歳	121 (100%)	93 (76.9%)	28 (23.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	60～69歳	91 (100%)	79 (86.8%)	11 (12.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)
	70歳以上	138 (100%)	126 (91.3%)	10 (7.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.4%)
職業	会社員・ 公務員	226 (100%)	148 (65.5%)	74 (32.7%)	2 (0.9%)	0 (0.0%)	2 (0.9%)
	自営業	44 (100%)	36 (81.8%)	8 (18.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	家事	115 (100%)	92 (80.0%)	23 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	無職(退職 者含む)	113 (100%)	92 (81.4%)	19 (16.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.8%)
	パート・アル バイト	76 (100%)	64 (84.2%)	11 (14.5%)	1 (1.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	大学生・ 専門学校生	4 (100%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	その他	39 (100%)	32 (82.1%)	7 (17.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
居住 年数	1年未満	34 (100%)	20 (58.8%)	14 (41.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	5年未満	102 (100%)	60 (58.8%)	39 (38.2%)	2 (2.0%)	0 (0.0%)	1 (1.0%)
	10年未満	96 (100%)	67 (69.8%)	28 (29.2%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	20年未満	95 (100%)	69 (72.6%)	25 (26.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)
	30年未満	69 (100%)	59 (85.5%)	10 (14.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	30年以上	223 (100%)	191 (85.7%)	30 (13.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.9%)
世帯 人数	単身者	136 (100%)	91 (66.9%)	43 (31.6%)	2 (1.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	2人	220 (100%)	172 (78.2%)	46 (20.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.9%)
	3人	126 (100%)	94 (74.6%)	29 (23.0%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	2 (1.6%)
	4人	91 (100%)	70 (76.9%)	21 (23.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	5人	34 (100%)	28 (82.4%)	6 (17.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	6人以上	9 (100%)	8 (88.9%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
住居 形態	一戸建て (持家)	221 (100%)	186 (84.2%)	33 (14.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.9%)
	一戸建て (持家以外)	13 (100%)	11 (84.6%)	2 (15.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	集合住宅 (持家)	155 (100%)	114 (73.5%)	38 (24.5%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	2 (1.3%)
	集合住宅 (持家以外)	218 (100%)	145 (66.5%)	71 (32.6%)	2 (0.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	その他	10 (100%)	8 (80.0%)	2 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
町会 等への 加入	加入している	354 (100%)	294 (83.1%)	58 (16.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.6%)
	加入してい ない	255 (100%)	164 (64.3%)	87 (34.1%)	3 (1.2%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)

図表 2-41 「プラスチック製容器包装」の分け方に関する認知度（属性別クロス集計）

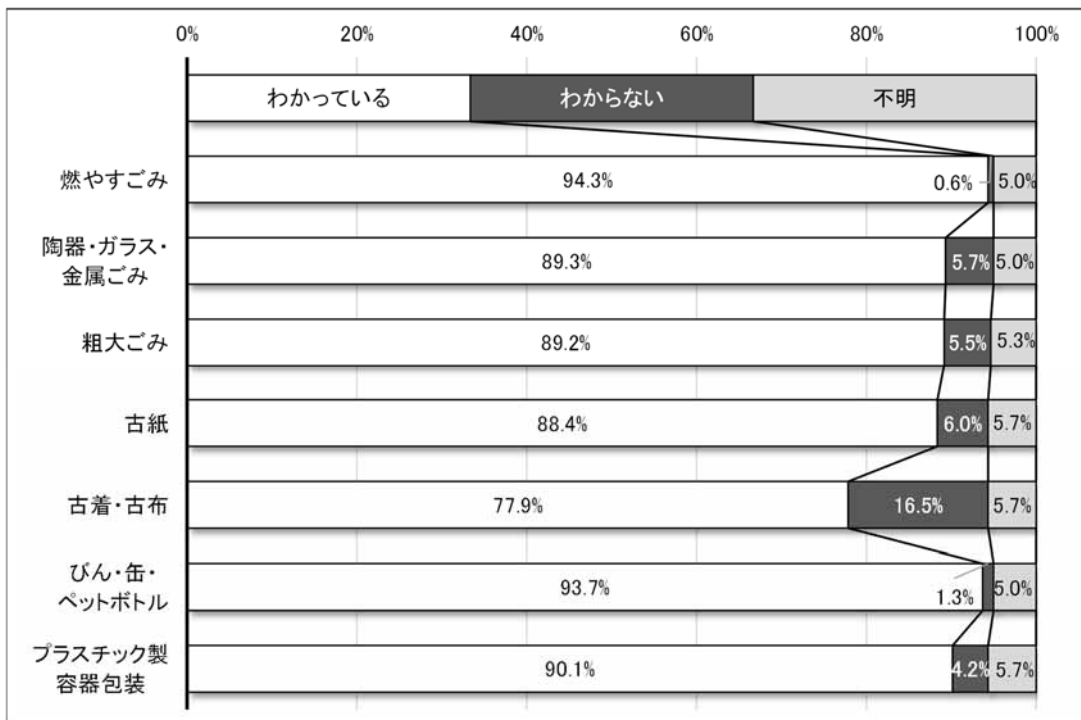
		合計	問4(1) 分け方の認知度(プラスチック製容器包装)				
			よくわかってい る	だいたいわかっ ている	よくわからない	全くわからない	不明
全体		619 (100%)	373 (60.3%)	210 (33.9%)	27 (4.4%)	5 (0.8%)	4 (0.6%)
性別	男性	183 (100%)	104 (56.8%)	57 (31.1%)	15 (8.2%)	5 (2.7%)	2 (1.1%)
	女性	436 (100%)	269 (61.7%)	153 (35.1%)	12 (2.8%)	0 (0.0%)	2 (0.5%)
年齢	20～29歳	44 (100%)	16 (36.4%)	19 (43.2%)	7 (15.9%)	1 (2.3%)	1 (2.3%)
	30～39歳	103 (100%)	39 (37.9%)	55 (53.4%)	7 (6.8%)	2 (1.9%)	0 (0.0%)
	40～49歳	122 (100%)	64 (52.5%)	51 (41.8%)	6 (4.9%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)
	50～59歳	121 (100%)	80 (66.1%)	39 (32.2%)	2 (1.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	60～69歳	91 (100%)	64 (70.3%)	25 (27.5%)	2 (2.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	70歳以上	138 (100%)	110 (79.7%)	21 (15.2%)	3 (2.2%)	1 (0.7%)	3 (2.2%)
	職業	会社員・ 公務員	226 (100%)	113 (50.0%)	93 (41.2%)	16 (7.1%)	3 (1.3%)
自営業		44 (100%)	29 (65.9%)	15 (34.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
家事		115 (100%)	71 (61.7%)	41 (35.7%)	2 (1.7%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)
無職(退職 者含む)		113 (100%)	78 (69.0%)	27 (23.9%)	5 (4.4%)	1 (0.9%)	2 (1.8%)
パート・アル バイト		76 (100%)	51 (67.1%)	23 (30.3%)	1 (1.3%)	1 (1.3%)	0 (0.0%)
大学生・ 専門学校生		4 (100%)	0 (0.0%)	3 (75.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他		39 (100%)	29 (74.4%)	8 (20.5%)	2 (5.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
居住 年数		1年未満	34 (100%)	16 (47.1%)	17 (50.0%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)
	5年未満	102 (100%)	39 (38.2%)	52 (51.0%)	10 (9.8%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)
	10年未満	96 (100%)	54 (56.3%)	35 (36.5%)	3 (3.1%)	3 (3.1%)	1 (1.0%)
	20年未満	95 (100%)	53 (55.8%)	34 (35.8%)	6 (6.3%)	1 (1.1%)	1 (1.1%)
	30年未満	69 (100%)	54 (78.3%)	15 (21.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	30年以上	223 (100%)	157 (70.4%)	57 (25.6%)	7 (3.1%)	0 (0.0%)	2 (0.9%)
	世帯 人数	単身者	136 (100%)	67 (49.3%)	51 (37.5%)	14 (10.3%)	3 (2.2%)
2人		220 (100%)	142 (64.5%)	69 (31.4%)	7 (3.2%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)
3人		126 (100%)	76 (60.3%)	45 (35.7%)	3 (2.4%)	0 (0.0%)	2 (1.6%)
4人		91 (100%)	56 (61.5%)	31 (34.1%)	3 (3.3%)	1 (1.1%)	0 (0.0%)
5人		34 (100%)	22 (64.7%)	12 (35.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
6人以上		9 (100%)	8 (88.9%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
住居 形態		一戸建て (持家)	221 (100%)	157 (71.0%)	58 (26.2%)	4 (1.8%)	0 (0.0%)
	一戸建て (持家以外)	13 (100%)	10 (76.9%)	3 (23.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	集合住宅 (持家)	155 (100%)	98 (63.2%)	52 (33.5%)	3 (1.9%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)
	集合住宅 (持家以外)	218 (100%)	99 (45.4%)	95 (43.6%)	20 (9.2%)	4 (1.8%)	0 (0.0%)
	その他	10 (100%)	7 (70.0%)	2 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)
	町会 等への 加入	加入している	354 (100%)	249 (70.3%)	98 (27.7%)	5 (1.4%)	0 (0.0%)
加入してい ない		255 (100%)	119 (46.7%)	108 (42.4%)	22 (8.6%)	5 (2.0%)	1 (0.4%)

【出し方に関する認知度】

「出し方」(いつ、どこに出すか)については、ほぼ全ての品目で「わかっている」という回答が9割前後に達している。ただし、「古着・古布」については77.9%とやや低くなっている。

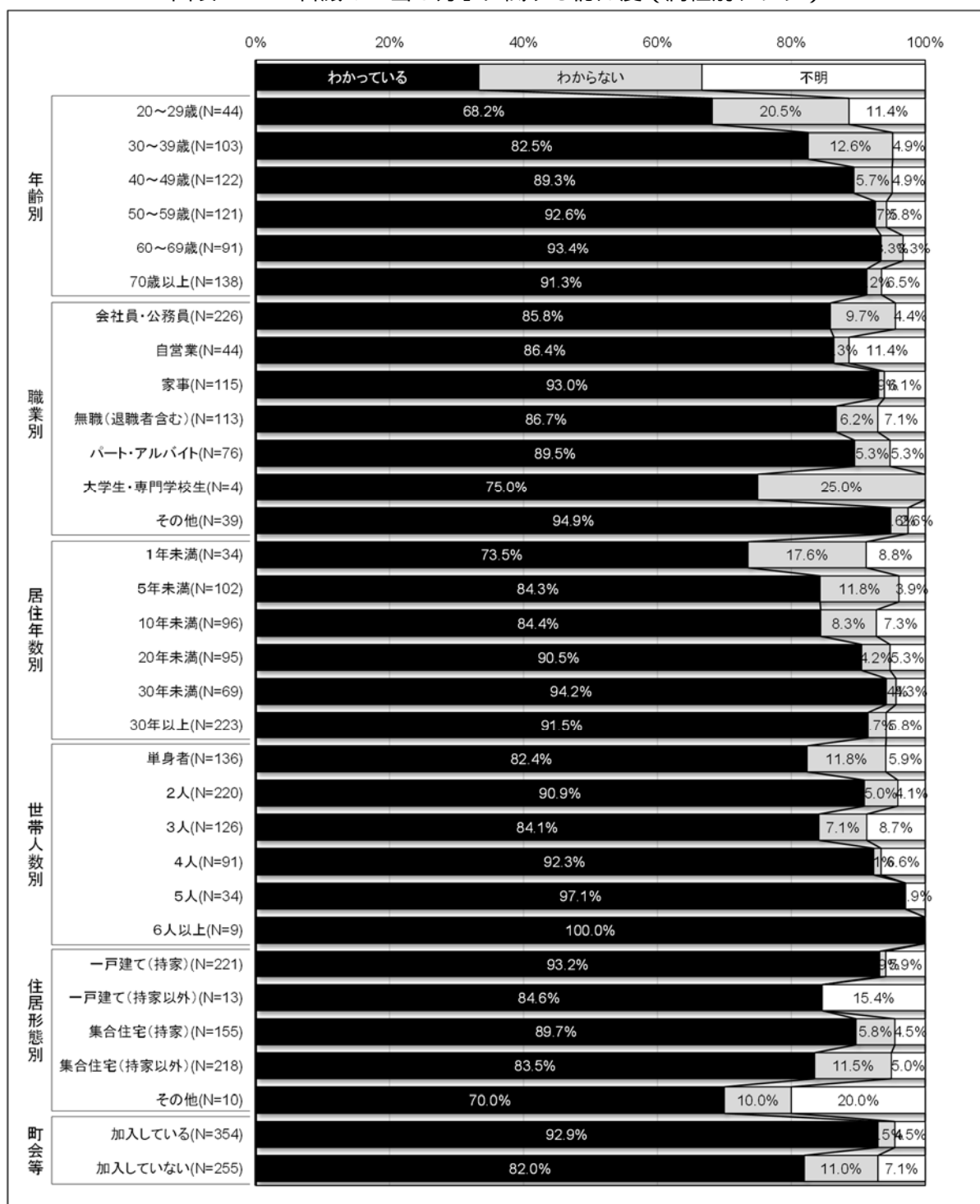
図表 2-42 「出し方」に関する認知度

	わかっている	わからない	不明	合計
燃やすごみ	584 (94.3%)	4 (0.6%)	31 (5.0%)	619 (100%)
陶器・ガラス・ 金属ごみ	553 (89.3%)	35 (5.7%)	31 (5.0%)	619 (100%)
粗大ごみ	552 (89.2%)	34 (5.5%)	33 (5.3%)	619 (100%)
古紙	547 (88.4%)	37 (6.0%)	35 (5.7%)	619 (100%)
古着・古布	482 (77.9%)	102 (16.5%)	35 (5.7%)	619 (100%)
びん・缶・ ペットボトル	580 (93.7%)	8 (1.3%)	31 (5.0%)	619 (100%)
プラスチック製 容器包装	558 (90.1%)	26 (4.2%)	35 (5.7%)	619 (100%)



属性別に見ると、「分け方」ほど属性による大きな差は見られないが、例えば下の図表 2-43 の「古紙」の例のように、年齢では「20代～30代」、居住年数は「1年未満」、世帯人数では「単身者」、住居形態では「持家以外の集合住宅」、町会への加入は「していない」層が、「よくわかっている」という回答割合が低くなっている。

図表 2-43 古紙の「出し方」に関する認知度（属性別グラフ）



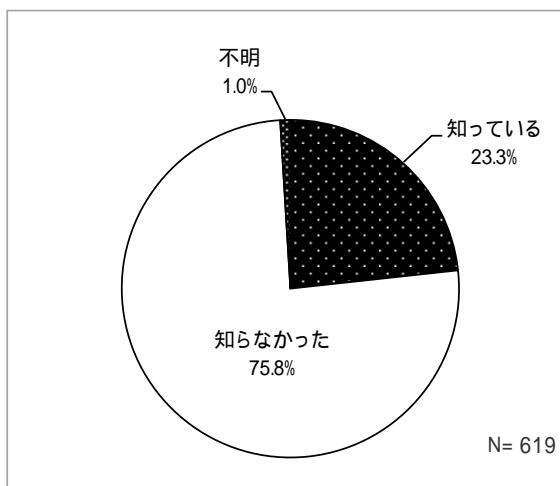
## 中野区ごみ分別アプリの認知

問 4(2) あなたは「中野区ごみ分別アプリ」をご存じでしたか。

「中野区ごみ分別アプリ」を知っているという回答は 23.3%であった。

図表 2-44 「中野区ごみ分別アプリ」の認知度

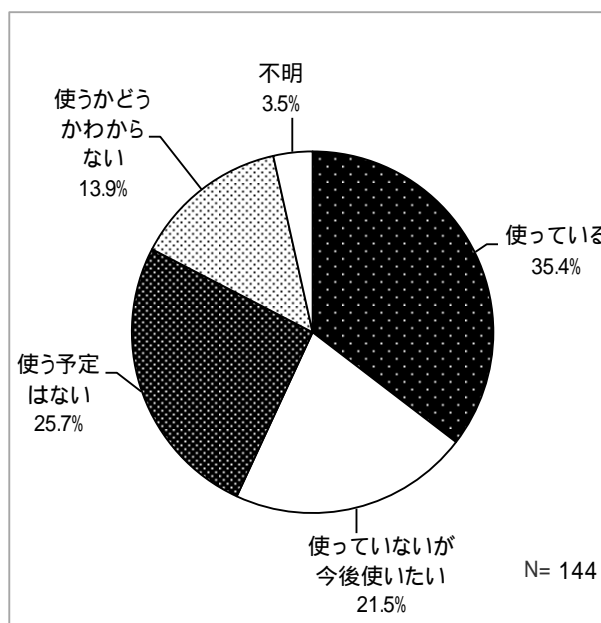
選択肢	回答数	割合
知っている	144	23.3%
知らなかった	469	75.8%
不明	6	1.0%
合計	619	100.0%



また、「知っている」との回答者限定で使用状況を尋ねたところ、「使っている」が 35.4%、次いで多いのが「使う予定はない」25.7%、「使っていないが今後使いたい」が 21.5%であった。

図表 2-45 「知っている」場合の使用状況

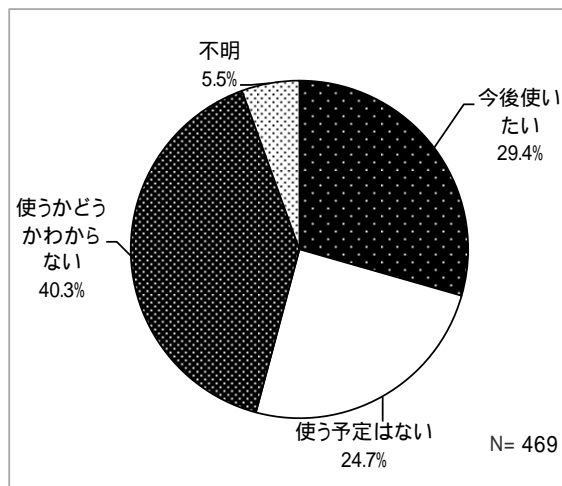
選択肢	回答数	割合
使っている	51	35.4%
使っていないが今後使いたい	31	21.5%
使う予定はない	37	25.7%
使うかどうかわからない	20	13.9%
不明	5	3.5%
合計	144	100.0%



なお、「知らなかった」との回答者に、今後の使用意思を訪ねたところ、「使うかどうか分からない」とする回答が40.3%と最も多く、次いで「今後使いたい」が29.4%、「使う予定はない」が24.7%であった。

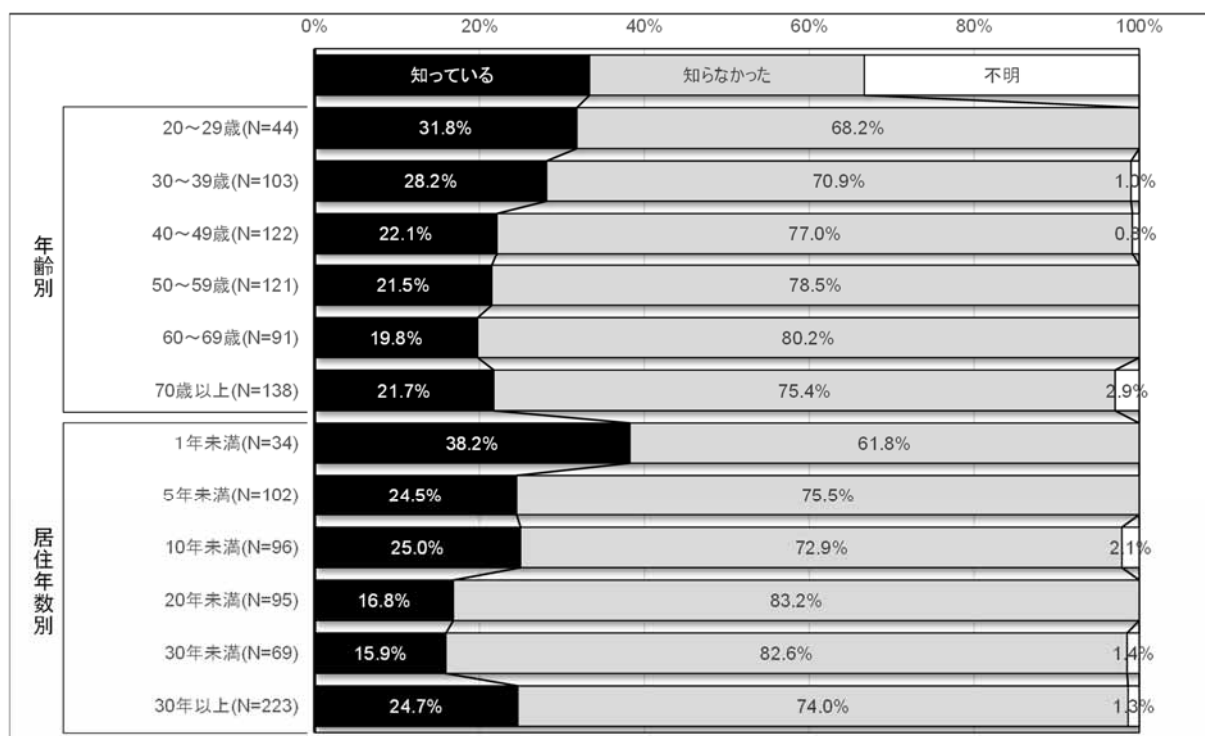
図表 2-46 「知らなかった」場合の使用意思

選択肢	回答数	割合
今後使いたい	138	29.4%
使う予定はない	116	24.7%
使うかどうか分からない	189	40.3%
不明	26	5.5%
合計	469	100.0%



年齢別では「20代～30代」の認知度が高く、居住年数別では「1年未満」の認知度が高くなっている。(図表 2-47)

図表 2-47 「中野区ごみ分別アプリ」の認知度(年齢別、居住年数別)



ごみの分け方・出し方の情報源

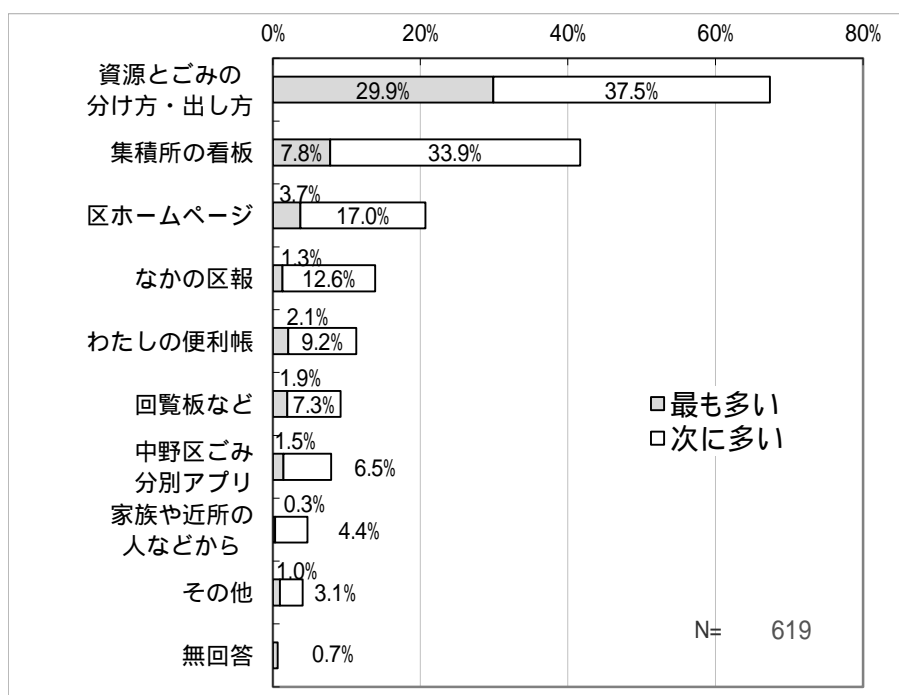
問 4(3) あなたは、ごみの分け方・出し方について、何から情報を得ていますか。以下の  
中から上位 2 つをお選びください。(最も多いものに、次に多いものに を付けて  
ください)

ごみの分け方・出し方の情報源として最も多いのは、「資源とごみの分け方・出し方リーフレット」であり、「最も多く」(29.9%)、「次に多く」(37.5%)の合計で 67.4%であった。

次いで多いのが、「集積所の看板」で「最も多く」「次に多く」の合計が 41.7%、「区ホームページ」が計 20.7%などとなっている。なお、“ ”(次に多い)のみ 2 つ回答する例などもあったため、「最も多い」の回答の合計と、「次に多い」の回答の合計は一致しない。

図表 2-48 ごみの分け方・出し方の情報源

	回答数			割合		
	最も多い	次に多い	計	最も多い	次に多い	計
「資源とごみの分け方・出し方」リーフレット	185	232	417	29.9%	37.5%	67.4%
集積所の看板	48	210	258	7.8%	33.9%	41.7%
区ホームページ	23	105	128	3.7%	17.0%	20.7%
なかの区報	8	78	86	1.3%	12.6%	13.9%
中野区の「わたしの便利帳」	13	57	70	2.1%	9.2%	11.3%
町会・自治会からのお知らせ(回覧板など)	12	45	57	1.9%	7.3%	9.2%
スマートフォン用の「中野区ごみ分別アプリ」	9	40	49	1.5%	6.5%	7.9%
家族や近所の人などからの情報	2	27	29	0.3%	4.4%	4.7%
その他	6	19	25	1.0%	3.1%	4.0%
無回答			4			0.7%



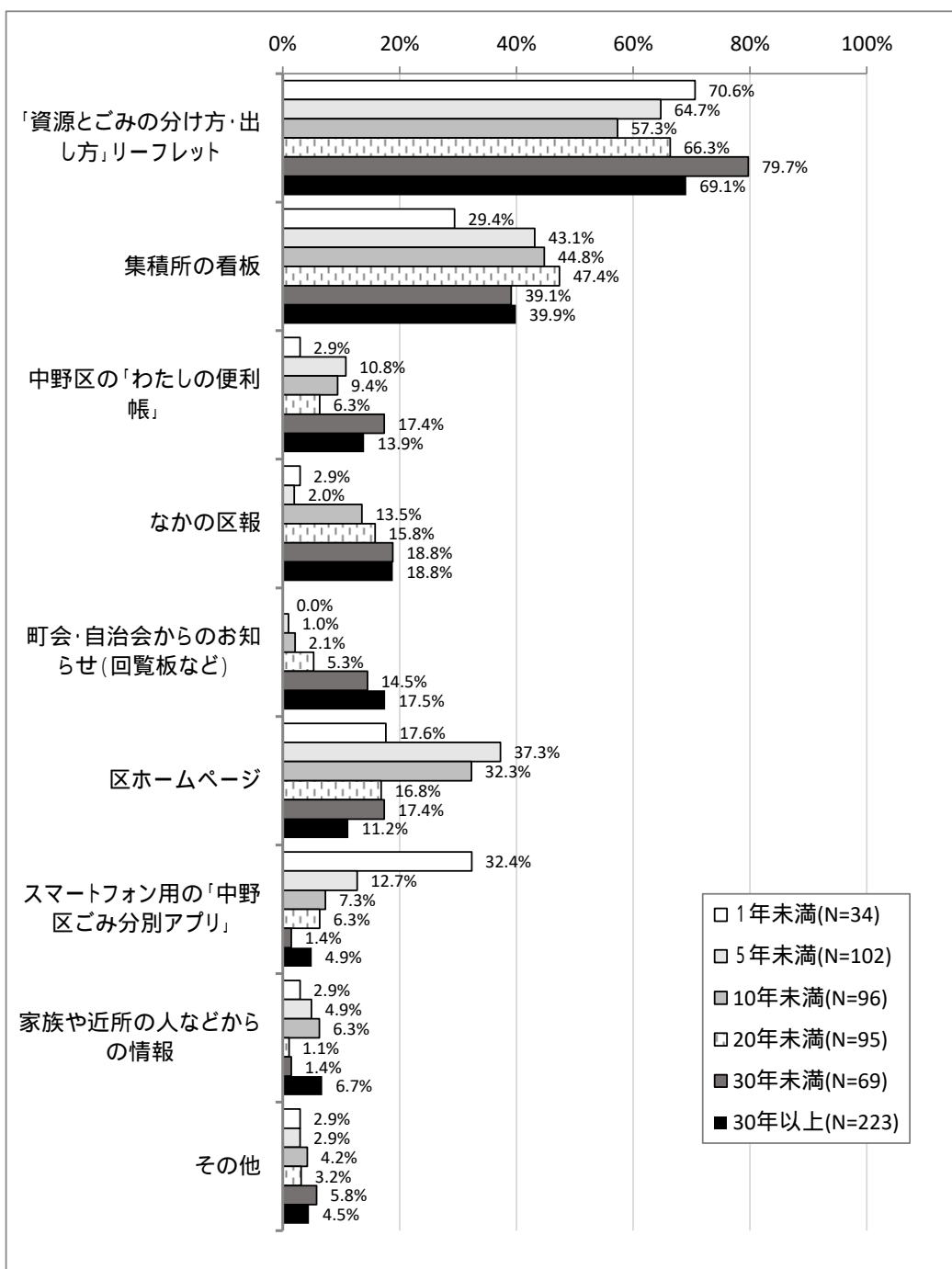


属性別のクロス集計は、「最も多く」「次に多く」を合わせた回答数で行った。集計結果を図表 2-50 に示す。

「資源とごみの分け方・出し方リーフレット」は、年齢別に見ると、20代、30代、及び70代以上の割合が低く、世帯人数別では単身者の割合が低い、という傾向が見られる。一方、居住年数別では、「1年未満」「30年未満」のリーフレット利用率が高くなっている。居住年数1年未満の層は、「ごみ分別アプリ」の利用率も高い。(図表 2-49)

なお、年齢別に見ると、「ごみ分別アプリ」の利用率は20～30代が高い。

図表 2-49 ごみの分け方・出し方の情報源（居住年数別）



図表 2-50 ごみの分け方・出し方の情報源（属性別のクロス集計結果）

		問4(3) ごみの分け方・出し方の情報源									
		合計	「資源とごみの分け方・出し方」リーフレット	集積所の看板	中野区の「わたしの便利帳」	なかの区報	町会・自治会からのお知らせ（回覧板など）	区ホームページ	スマートフォン用の「中野区ごみ分別アプリ」	家族や近所の人などからの情報	その他
全体		619 (100%)	417 (67.4%)	258 (41.7%)	70 (11.3%)	86 (13.9%)	57 (9.2%)	128 (20.7%)	49 (7.9%)	29 (4.7%)	25 (4.0%)
性別	男性	183 (100%)	101 (55.2%)	89 (48.6%)	15 (8.2%)	24 (13.1%)	17 (9.3%)	36 (19.7%)	14 (7.7%)	12 (6.6%)	6 (3.3%)
	女性	436 (100%)	316 (72.5%)	169 (38.8%)	55 (12.6%)	62 (14.2%)	40 (9.2%)	92 (21.1%)	35 (8.0%)	17 (3.9%)	19 (4.4%)
年齢	20～29歳	44 (100%)	22 (50.0%)	17 (38.6%)	1 (2.3%)	2 (4.5%)	1 (2.3%)	16 (36.4%)	7 (15.9%)	2 (4.5%)	0 (0.0%)
	30～39歳	103 (100%)	60 (58.3%)	48 (46.6%)	7 (6.8%)	5 (4.9%)	6 (5.8%)	30 (29.1%)	16 (15.5%)	6 (5.8%)	5 (4.9%)
	40～49歳	122 (100%)	85 (69.7%)	44 (36.1%)	11 (9.0%)	12 (9.8%)	6 (4.9%)	40 (32.8%)	13 (10.7%)	5 (4.1%)	4 (3.3%)
	50～59歳	121 (100%)	94 (77.7%)	57 (47.1%)	9 (7.4%)	16 (13.2%)	6 (5.0%)	23 (19.0%)	7 (5.8%)	6 (5.0%)	7 (5.8%)
	60～69歳	91 (100%)	75 (82.4%)	39 (42.9%)	20 (22.0%)	18 (19.8%)	13 (14.3%)	15 (16.5%)	1 (1.1%)	2 (2.2%)	2 (2.2%)
	70歳以上	138 (100%)	81 (58.7%)	53 (38.4%)	22 (15.9%)	33 (23.9%)	25 (18.1%)	4 (2.9%)	5 (3.6%)	8 (5.8%)	7 (5.1%)
職業	会社員・公務員	226 (100%)	149 (65.9%)	91 (40.3%)	15 (6.6%)	16 (7.1%)	7 (3.1%)	69 (30.5%)	31 (13.7%)	11 (4.9%)	5 (2.2%)
	自営業	44 (100%)	28 (63.6%)	25 (56.8%)	1 (2.3%)	3 (6.8%)	2 (4.5%)	7 (15.9%)	0 (0.0%)	1 (2.3%)	3 (6.8%)
	家事	115 (100%)	88 (76.5%)	38 (33.0%)	16 (13.9%)	26 (22.6%)	18 (15.7%)	21 (18.3%)	7 (6.1%)	7 (6.1%)	5 (4.3%)
	無職(退職者含む)	113 (100%)	65 (57.5%)	54 (47.8%)	23 (20.4%)	18 (15.9%)	18 (15.9%)	9 (8.0%)	8 (7.1%)	9 (8.0%)	4 (3.5%)
	パート・アルバイト	76 (100%)	58 (76.3%)	29 (38.2%)	8 (10.5%)	15 (19.7%)	7 (9.2%)	15 (19.7%)	2 (2.6%)	0 (0.0%)	5 (6.6%)
	大学生・専門学校生	4 (100%)	2 (50.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)
	その他	39 (100%)	26 (66.7%)	18 (46.2%)	7 (17.9%)	7 (17.9%)	5 (12.8%)	5 (12.8%)	1 (2.6%)	0 (0.0%)	3 (7.7%)
	居住年数	1年未満	34 (100%)	24 (70.6%)	10 (29.4%)	1 (2.9%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)	6 (17.6%)	11 (32.4%)	1 (2.9%)
5年未満		102 (100%)	66 (64.7%)	44 (43.1%)	11 (10.8%)	2 (2.0%)	1 (1.0%)	38 (37.3%)	13 (12.7%)	5 (4.9%)	3 (2.9%)
10年未満		96 (100%)	55 (57.3%)	43 (44.8%)	9 (9.4%)	13 (13.5%)	2 (2.1%)	31 (32.3%)	7 (7.3%)	6 (6.3%)	4 (4.2%)
20年未満		95 (100%)	63 (66.3%)	45 (47.4%)	6 (6.3%)	15 (15.8%)	5 (5.3%)	16 (16.8%)	6 (6.3%)	1 (1.1%)	3 (3.2%)
30年未満		69 (100%)	55 (79.7%)	27 (39.1%)	12 (17.4%)	13 (18.8%)	10 (14.5%)	12 (17.4%)	1 (1.4%)	1 (1.4%)	4 (5.8%)
30年以上		223 (100%)	154 (69.1%)	89 (39.9%)	31 (13.9%)	42 (18.8%)	39 (17.5%)	25 (11.2%)	11 (4.9%)	15 (6.7%)	10 (4.5%)
世帯人数	単身者	136 (100%)	74 (54.4%)	63 (46.3%)	15 (11.0%)	19 (14.0%)	9 (6.6%)	35 (25.7%)	6 (4.4%)	5 (3.7%)	9 (6.6%)
	2人	220 (100%)	159 (72.3%)	86 (39.1%)	24 (10.9%)	25 (11.4%)	25 (11.4%)	40 (18.2%)	20 (9.1%)	10 (4.5%)	10 (4.5%)
	3人	126 (100%)	85 (67.5%)	51 (40.5%)	20 (15.9%)	22 (17.5%)	10 (7.9%)	25 (19.8%)	9 (7.1%)	6 (4.8%)	4 (3.2%)
	4人	91 (100%)	68 (74.7%)	35 (38.5%)	8 (8.8%)	14 (15.4%)	5 (5.5%)	20 (22.0%)	12 (13.2%)	7 (7.7%)	0 (0.0%)
	5人	34 (100%)	23 (67.6%)	17 (50.0%)	1 (2.9%)	2 (5.9%)	5 (14.7%)	7 (20.6%)	2 (5.9%)	1 (2.9%)	1 (2.9%)
	6人以上	9 (100%)	7 (77.8%)	4 (44.4%)	0 (0.0%)	3 (33.3%)	3 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
住居形態	一戸建て(持家)	221 (100%)	163 (73.8%)	76 (34.4%)	32 (14.5%)	45 (20.4%)	33 (14.9%)	34 (15.4%)	13 (5.9%)	14 (6.3%)	3 (1.4%)
	一戸建て(持家以外)	13 (100%)	10 (76.9%)	3 (23.1%)	1 (7.7%)	2 (15.4%)	2 (15.4%)	3 (23.1%)	2 (15.4%)	2 (15.4%)	0 (0.0%)
	集合住宅(持家)	155 (100%)	100 (64.5%)	67 (43.2%)	14 (9.0%)	21 (13.5%)	13 (8.4%)	30 (19.4%)	10 (6.5%)	3 (1.9%)	12 (7.7%)
	集合住宅(持家以外)	218 (100%)	140 (64.2%)	105 (48.2%)	21 (9.6%)	17 (7.8%)	8 (3.7%)	61 (28.0%)	23 (10.6%)	8 (3.7%)	7 (3.2%)
	その他	10 (100%)	3 (30.0%)	5 (50.0%)	1 (10.0%)	1 (10.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	1 (20.0%)	2 (30.0%)
町会等への加入	加入している	354 (100%)	256 (72.3%)	136 (38.4%)	45 (12.7%)	62 (17.5%)	51 (14.4%)	53 (15.0%)	18 (5.1%)	17 (4.8%)	10 (2.8%)
	加入していない	255 (100%)	153 (60.0%)	118 (46.3%)	24 (9.4%)	24 (9.4%)	6 (2.4%)	74 (29.0%)	30 (11.8%)	12 (4.7%)	14 (5.5%)

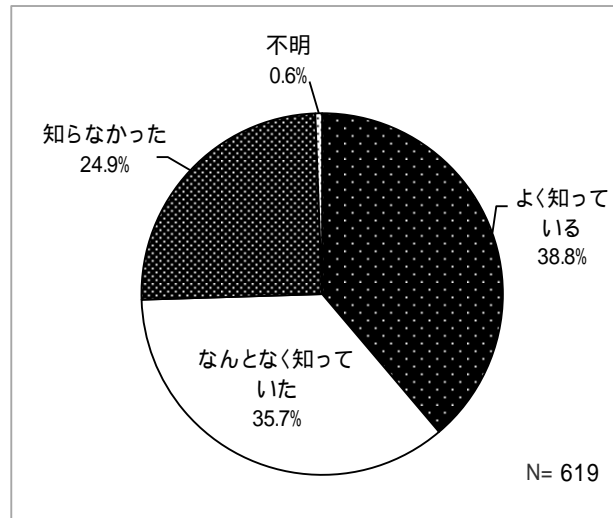
## 雑がみの認知度

問 4(4) あなたは「雑がみ」のことをご存じでしたか。

「よく知っている」が 38.8%、「なんとなく知っていた」が 35.7%、「知らなかった」が 24.9%という結果となった。

図表 2-51 雑がみの認知度

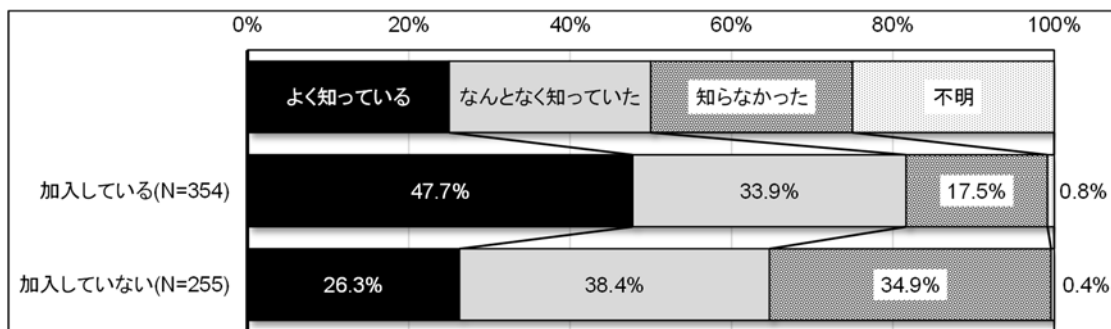
選択肢	回答数	割合
よく知っている	240	38.8%
なんとなく知っていた	221	35.7%
知らなかった	154	24.9%
不明	4	0.6%
合計	619	100.0%



属性別のクロス集計結果を見ると(図表 2-53)「よく知っている」という回答が少ないのは、年齢では 20 代(13.6%)、職業別では「会社員・公務員」(25.7%)、世帯人数別では「単身者」(22.1%)、居住形態別では「集合住宅(持家以外)」(29.8%)、町会未加入世帯(26.3%)などとなっている。

下図は町会加入別の雑がみの認知度のグラフである。

図表 2-52 雑がみの認知度(町会加入別)



図表 2-53 雑がみの認知度（属性別のクロス集計結果）

		合計	問4(4) 雑がみの認知度			
			よく知っている	なんとなく知っていた	知らなかった	不明
全体		619 (100%)	240 (38.8%)	221 (35.7%)	154 (24.9%)	4 (0.6%)
性別	男性	183 (100%)	45 (24.6%)	67 (36.6%)	70 (38.3%)	1 (0.5%)
	女性	436 (100%)	195 (44.7%)	154 (35.3%)	84 (19.3%)	3 (0.7%)
年齢	20～29歳	44 (100%)	6 (13.6%)	16 (36.4%)	22 (50.0%)	0 (0.0%)
	30～39歳	103 (100%)	31 (30.1%)	40 (38.8%)	32 (31.1%)	0 (0.0%)
	40～49歳	122 (100%)	41 (33.6%)	44 (36.1%)	37 (30.3%)	0 (0.0%)
	50～59歳	121 (100%)	57 (47.1%)	43 (35.5%)	21 (17.4%)	0 (0.0%)
	60～69歳	91 (100%)	40 (44.0%)	35 (38.5%)	16 (17.6%)	0 (0.0%)
	70歳以上	138 (100%)	65 (47.1%)	43 (31.2%)	26 (18.8%)	4 (2.9%)
職業	会社員・公務員	226 (100%)	58 (25.7%)	92 (40.7%)	76 (33.6%)	0 (0.0%)
	自営業	44 (100%)	15 (34.1%)	10 (22.7%)	19 (43.2%)	0 (0.0%)
	家事	115 (100%)	61 (53.0%)	40 (34.8%)	14 (12.2%)	0 (0.0%)
	無職(退職者含む)	113 (100%)	46 (40.7%)	38 (33.6%)	27 (23.9%)	2 (1.8%)
	パート・アルバイト	76 (100%)	40 (52.6%)	23 (30.3%)	12 (15.8%)	1 (1.3%)
	大学生・専門学校生	4 (100%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)
	その他	39 (100%)	19 (48.7%)	14 (35.9%)	5 (12.8%)	1 (2.6%)
居住年数	1年未満	34 (100%)	13 (38.2%)	13 (38.2%)	8 (23.5%)	0 (0.0%)
	5年未満	102 (100%)	31 (30.4%)	35 (34.3%)	36 (35.3%)	0 (0.0%)
	10年未満	96 (100%)	32 (33.3%)	34 (35.4%)	30 (31.3%)	0 (0.0%)
	20年未満	95 (100%)	33 (34.7%)	27 (28.4%)	34 (35.8%)	1 (1.1%)
	30年未満	69 (100%)	30 (43.5%)	27 (39.1%)	12 (17.4%)	0 (0.0%)
	30年以上	223 (100%)	101 (45.3%)	85 (38.1%)	34 (15.2%)	3 (1.3%)
世帯人数	単身者	136 (100%)	30 (22.1%)	50 (36.8%)	55 (40.4%)	1 (0.7%)
	2人	220 (100%)	93 (42.3%)	79 (35.9%)	46 (20.9%)	2 (0.9%)
	3人	126 (100%)	54 (42.9%)	44 (34.9%)	27 (21.4%)	1 (0.8%)
	4人	91 (100%)	41 (45.1%)	31 (34.1%)	19 (20.9%)	0 (0.0%)
	5人	34 (100%)	16 (47.1%)	13 (38.2%)	5 (14.7%)	0 (0.0%)
	6人以上	9 (100%)	4 (44.4%)	4 (44.4%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)
住居形態	一戸建て(持家)	221 (100%)	108 (48.9%)	77 (34.8%)	32 (14.5%)	4 (1.8%)
	一戸建て(持家以外)	13 (100%)	5 (38.5%)	5 (38.5%)	3 (23.1%)	0 (0.0%)
	集合住宅(持家)	155 (100%)	59 (38.1%)	52 (33.5%)	44 (28.4%)	0 (0.0%)
	集合住宅(持家以外)	218 (100%)	65 (29.8%)	83 (38.1%)	70 (32.1%)	0 (0.0%)
	その他	10 (100%)	2 (20.0%)	4 (40.0%)	4 (40.0%)	0 (0.0%)
	町会等への加入	加入している	354 (100%)	169 (47.7%)	120 (33.9%)	62 (17.5%)
加入していない		255 (100%)	67 (26.3%)	98 (38.4%)	89 (34.9%)	1 (0.4%)

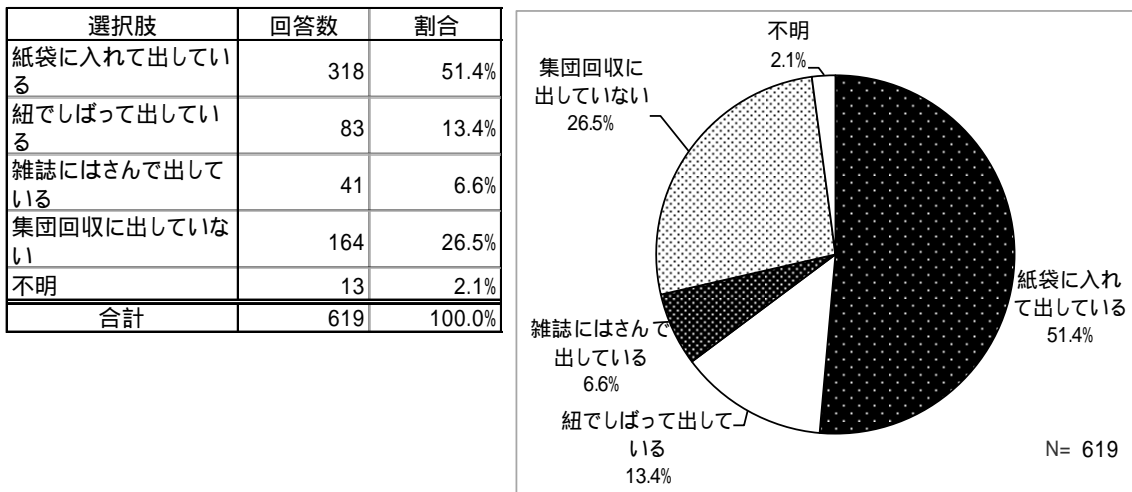
## 雑がみの出し方

問 4(5) 中野区での、「雑がみ」回収は週 1 回の「古紙・古布」回収の日に、町会や自治会等が実施する集団回収により行っています。あなたの家庭では「雑がみ」をどのような方法で集団回収に出していますか。

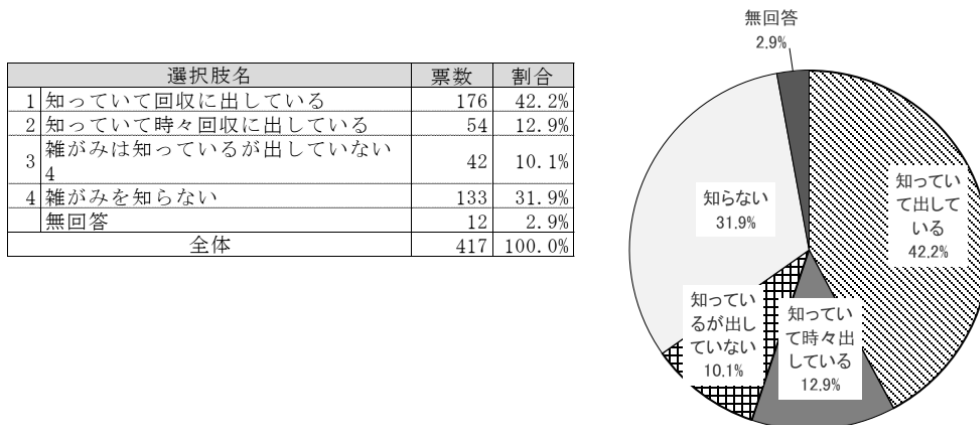
「紙袋に入れて出している」が 51.4%と最も多くなっている。他方、「出していない」とする回答は 26.5%であった。

平成 26 年度のアンケート調査結果(図表 2-55)では設問が異なっているものの、「知らない」「知っているが出していない」が合計 42.0%であったことと比較すると、「出していない」割合は減少していると考えられる。

図表 2-54 雑がみの出し方

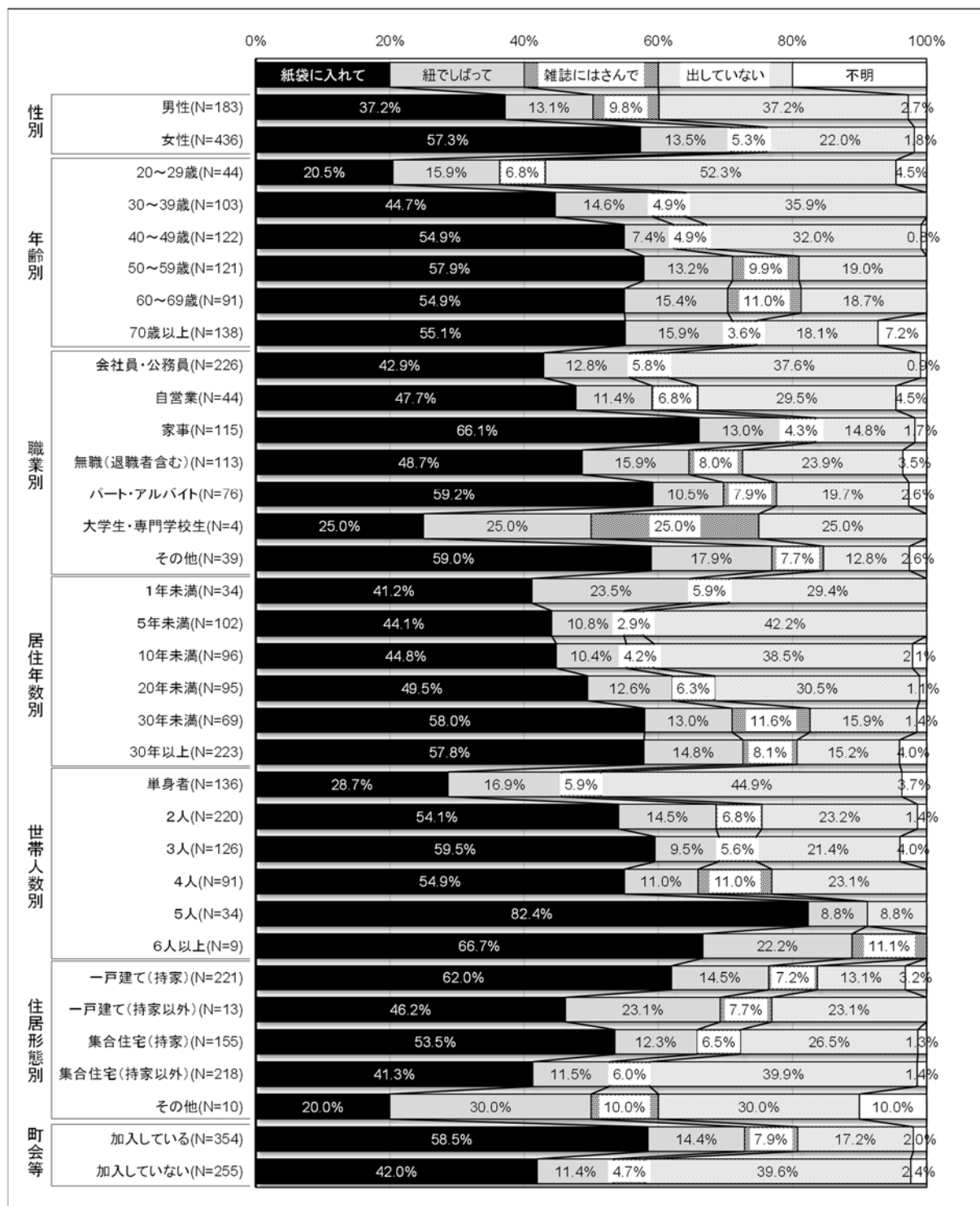


図表 2-55 雑がみの認知(前回アンケート調査)



今回調査における「出していない」とする回答は、年齢別には「20代～40代」、世帯人数別には「単身者」、居住年数別には「集合住宅(持家以外)」、及び町会の未加入者が、それぞれ高くなっている。(図表 2-56)

図表 2-56 雑がみの出し方(属性別グラフ)



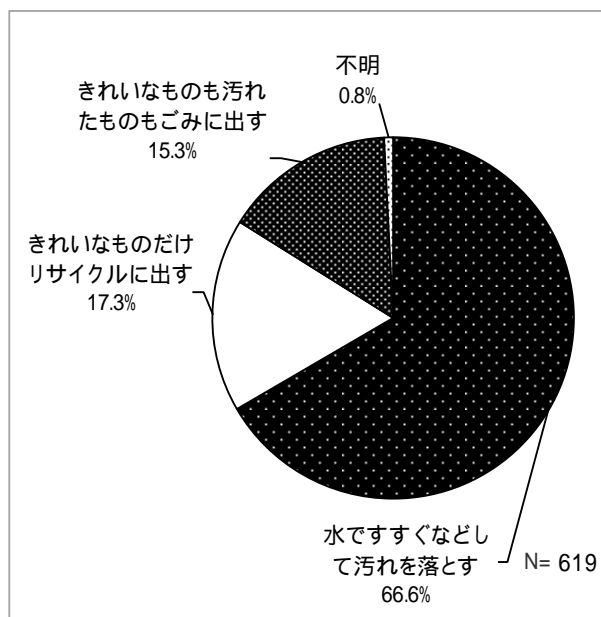
## プラスチック製容器包装の出し方

問 4(6) あなたの家庭では、普段プラスチック製容器包装をどのように出していますか。

プラスチック製容器包装の出し方については、「汚れを落として出す」が 66.6%と最も多くなっている。「きれいなものも汚れたものもごみに出す」という回答は 15.3%であり、平成 26 年度のアンケート調査の「ごみに出している」7.5%よりも高い割合となっている。

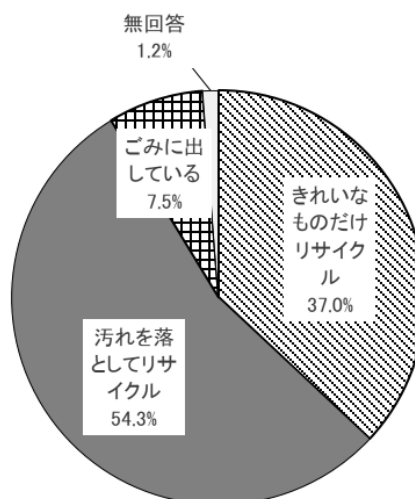
図表 2-57 プラスチック製容器包装の出し方

選択肢	回答数	割合
水ですすぐなどして汚れを落とす	412	66.6%
きれいなものだけリサイクルに出す	107	17.3%
きれいなものも汚れたものもごみに出す	95	15.3%
不明	5	0.8%
合計	619	100.0%



図表 2-58 プラスチック製容器包装の出し方（前回アンケート調査）

選択肢名	票数	割合
1 きれいなものだけリサイクルに出している	119	37.0%
2 きれいなものだけでなく汚れたものも汚れを落としてリサイクルに出している	175	54.3%
3 きれいなものも汚れたものもごみに出している	24	7.5%
無回答	4	1.2%
全体	322	100.0%



今回調査における属性別のクロス集計結果を見ると（図表 2-59）「ごみに出す」という回答は、年齢別には「20代」、職業別には「会社員・公務員」、居住年数別には「5年未満」、世帯人数別には「単身者」が高くなっている。

図表 2-59 プラスチック製容器包装の出し方（属性別のクロス集計結果）

		合計	問4(6) プラスチック容器包装の出し方				
			水ですすぐなどして汚れを落とす	きれいなものだけリサイクルに出す	きれいなものも汚れたものもごみに出す	不明	
全体		619 (100%)	412 (66.6%)	107 (17.3%)	95 (15.3%)	5 (0.8%)	
性別	男性	183 (100%)	106 (57.9%)	33 (18.0%)	42 (23.0%)	2 (1.1%)	
	女性	436 (100%)	306 (70.2%)	74 (17.0%)	53 (12.2%)	3 (0.7%)	
年齢	20～29歳	44 (100%)	13 (29.5%)	10 (22.7%)	21 (47.7%)	0 (0.0%)	
	30～39歳	103 (100%)	64 (62.1%)	15 (14.6%)	24 (23.3%)	0 (0.0%)	
	40～49歳	122 (100%)	77 (63.1%)	18 (14.8%)	26 (21.3%)	1 (0.8%)	
	50～59歳	121 (100%)	98 (81.0%)	17 (14.0%)	6 (5.0%)	0 (0.0%)	
	60～69歳	91 (100%)	57 (62.6%)	27 (29.7%)	7 (7.7%)	0 (0.0%)	
	70歳以上	138 (100%)	103 (74.6%)	20 (14.5%)	11 (8.0%)	4 (2.9%)	
	職業	会社員・公務員	226 (100%)	133 (58.8%)	39 (17.3%)	53 (23.5%)	1 (0.4%)
自営業		44 (100%)	28 (63.6%)	8 (18.2%)	8 (18.2%)	0 (0.0%)	
家事		115 (100%)	88 (76.5%)	20 (17.4%)	7 (6.1%)	0 (0.0%)	
無職(退職者含む)		113 (100%)	77 (68.1%)	20 (17.7%)	13 (11.5%)	3 (2.7%)	
パート・アルバイト		76 (100%)	54 (71.1%)	10 (13.2%)	11 (14.5%)	1 (1.3%)	
大学生・専門学校生		4 (100%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	
その他		39 (100%)	30 (76.9%)	7 (17.9%)	2 (5.1%)	0 (0.0%)	
居住年数		1年未満	34 (100%)	23 (67.6%)	7 (20.6%)	4 (11.8%)	0 (0.0%)
		5年未満	102 (100%)	54 (52.9%)	19 (18.6%)	28 (27.5%)	1 (1.0%)
	10年未満	96 (100%)	59 (61.5%)	15 (15.6%)	22 (22.9%)	0 (0.0%)	
	20年未満	95 (100%)	65 (68.4%)	13 (13.7%)	17 (17.9%)	0 (0.0%)	
	30年未満	69 (100%)	48 (69.6%)	17 (24.6%)	4 (5.8%)	0 (0.0%)	
	30年以上	223 (100%)	163 (73.1%)	36 (16.1%)	20 (9.0%)	4 (1.8%)	
	世帯人数	単身者	136 (100%)	74 (54.4%)	24 (17.6%)	35 (25.7%)	3 (2.2%)
2人		220 (100%)	148 (67.3%)	43 (19.5%)	28 (12.7%)	1 (0.5%)	
3人		126 (100%)	86 (68.3%)	24 (19.0%)	15 (11.9%)	1 (0.8%)	
4人		91 (100%)	68 (74.7%)	8 (8.8%)	15 (16.5%)	0 (0.0%)	
5人		34 (100%)	26 (76.5%)	7 (20.6%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)	
6人以上		9 (100%)	9 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
住居形態		一戸建て(持家)	221 (100%)	171 (77.4%)	33 (14.9%)	14 (6.3%)	3 (1.4%)
	一戸建て(持家以外)	13 (100%)	12 (92.3%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	集合住宅(持家)	155 (100%)	108 (69.7%)	28 (18.1%)	19 (12.3%)	0 (0.0%)	
	集合住宅(持家以外)	218 (100%)	111 (50.9%)	45 (20.6%)	60 (27.5%)	2 (0.9%)	
	その他	10 (100%)	8 (80.0%)	0 (0.0%)	2 (20.0%)	0 (0.0%)	
	町会等への加入	加入している	354 (100%)	263 (74.3%)	62 (17.5%)	26 (7.3%)	3 (0.8%)
加入していない		255 (100%)	141 (55.3%)	44 (17.3%)	68 (26.7%)	2 (0.8%)	



## プラスチック製容器包装をリサイクルに出さない理由

問 4(7) 前問で「3」を選んだ方にお聞きします。

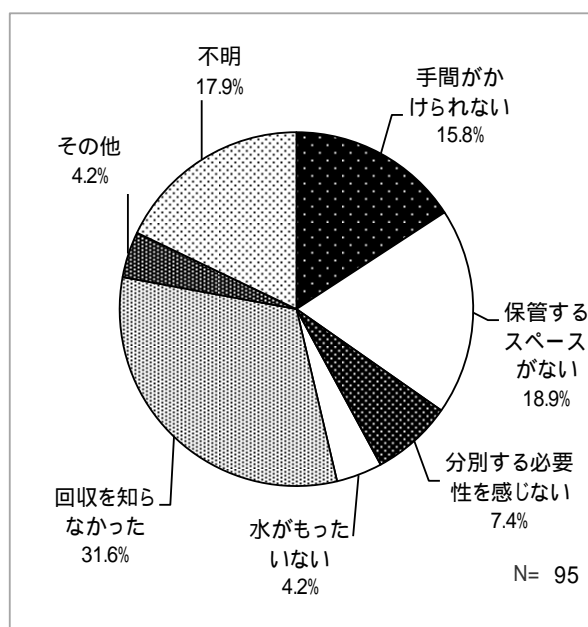
プラスチック製容器包装をリサイクルに出さない理由は何ですか。

前問でプラスチック製容器包装を「ごみに出す」と回答した 95 名を対象に、その理由を尋ねたところ、「回収を知らなかった」が 31.6%、次いで「保管するスペースがない」18.9%、「手間がかけれられない」15.8%などとなった。

参考に、前回平成 26 年度のアンケート調査結果を図表 2-61 に示す。ただし、前回は設問が異なっており、「知らなかった」という選択肢が入っていないことに留意する必要がある。

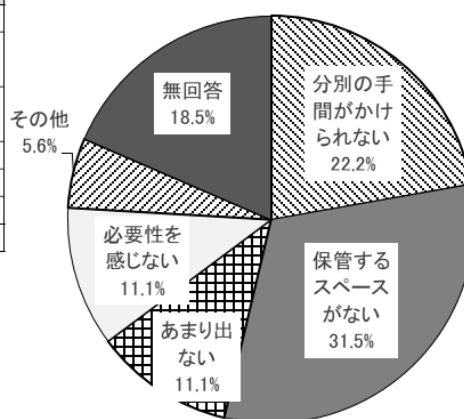
図表 2-60 プラスチック製容器包装をリサイクルに出さない理由

選択肢	回答数	割合
手間がかけれられない	15	15.8%
保管するスペースがない	18	18.9%
分別する必要性を感じない	7	7.4%
水がもったいない	4	4.2%
回収を知らなかった	30	31.6%
その他	4	4.2%
不明	17	17.9%
合計	95	100.0%



図表 2-61 プラスチック製容器包装をリサイクルに出さない理由（前回アンケート調査）

選択肢名	票数	割合
1 分別の手間がかけれられない	12	22.2%
2 分別しても、保管するスペースがない	17	31.5%
3 プラスチック製容器包装があまり出ない	6	11.1%
4 分別する必要性を感じない	6	11.1%
5 その他	3	5.6%
無回答	10	18.5%
全体	54	100.0%



(4) ごみ減量・資源化の取り組みについて

ペットボトル破砕回収機の利用

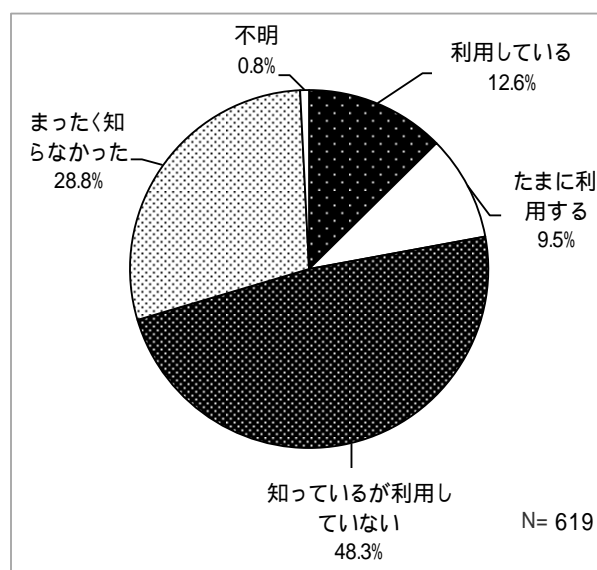
問 5(1) あなたの家庭では、ペットボトル破砕回収機を利用していますか。

「利用している」が 12.6%、「たまに利用する」が 9.5%と、合計 22.1%は前回平成 26 年度のアンケート調査結果（合計 18.2%）よりも割合が増加している。

「まったく知らなかった」は 28.8%であったが、これは前回アンケート調査結果の 49.2%よりも減少している。

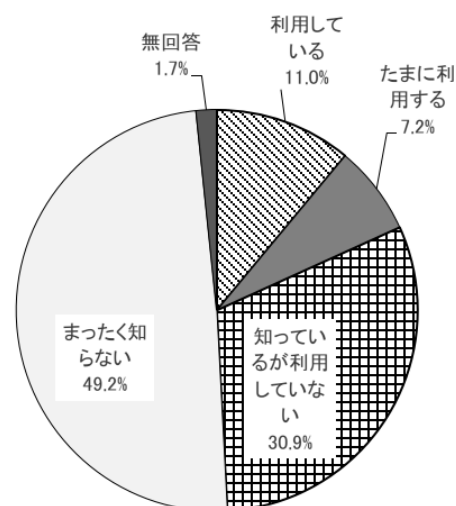
図表 2-62 ペットボトル破砕回収機の利用

選択肢	回答数	割合
利用している	78	12.6%
たまに利用する	59	9.5%
知っているが利用していない	299	48.3%
まったく知らなかった	178	28.8%
不明	5	0.8%
合計	619	100.0%



図表 2-63 ペットボトル破砕回収機の利用（前回アンケート調査）

選択肢名	票数	割合
1 利用している	46	11.0%
2 たまに利用する	30	7.2%
3 知っているが利用していない	129	30.9%
4 まったく知らない	205	49.2%
無回答	7	1.7%
全体	417	100.0%



今回調査における属性別のクロス集計結果を見ると（図表 2-64）「知らなかった」という回答の割合は居住年数が多いほど、また、世帯人数が多いほど、低くなる傾向にある。

図表 2-64 ペットボトル破碎回収機の利用（属性別のクロス集計結果）

		合計	問5(1) ペットボトル破碎回収機の利用				
			利用している	たまに利用する	知っているが利用していない	まったく知らなかった	不明
全体		619 (100%)	78 (12.6%)	59 (9.5%)	299 (48.3%)	178 (28.8%)	5 (0.8%)
性別	男性	183 (100%)	13 (7.1%)	10 (5.5%)	94 (51.4%)	64 (35.0%)	2 (1.1%)
	女性	436 (100%)	65 (14.9%)	49 (11.2%)	205 (47.0%)	114 (26.1%)	3 (0.7%)
年齢	20～29歳	44 (100%)	4 (9.1%)	1 (2.3%)	19 (43.2%)	20 (45.5%)	0 (0.0%)
	30～39歳	103 (100%)	7 (6.8%)	11 (10.7%)	50 (48.5%)	35 (34.0%)	0 (0.0%)
	40～49歳	122 (100%)	8 (6.6%)	9 (7.4%)	73 (59.8%)	32 (26.2%)	0 (0.0%)
	50～59歳	121 (100%)	26 (21.5%)	21 (17.4%)	46 (38.0%)	28 (23.1%)	0 (0.0%)
	60～69歳	91 (100%)	14 (15.4%)	10 (11.0%)	42 (46.2%)	24 (26.4%)	1 (1.1%)
	70歳以上	138 (100%)	19 (13.8%)	7 (5.1%)	69 (50.0%)	39 (28.3%)	4 (2.9%)
職業	会社員・公務員	226 (100%)	18 (8.0%)	19 (8.4%)	109 (48.2%)	80 (35.4%)	0 (0.0%)
	自営業	44 (100%)	5 (11.4%)	4 (9.1%)	22 (50.0%)	13 (29.5%)	0 (0.0%)
	家事	115 (100%)	23 (20.0%)	9 (7.8%)	60 (52.2%)	23 (20.0%)	0 (0.0%)
	無職(退職者含む)	113 (100%)	13 (11.5%)	10 (8.8%)	58 (51.3%)	28 (24.8%)	4 (3.5%)
	パート・アルバイト	76 (100%)	15 (19.7%)	11 (14.5%)	27 (35.5%)	22 (28.9%)	1 (1.3%)
	大学生・専門学校生	4 (100%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)
	その他	39 (100%)	3 (7.7%)	5 (12.8%)	23 (59.0%)	8 (20.5%)	0 (0.0%)
居住年数	1年未満	34 (100%)	3 (8.8%)	2 (5.9%)	13 (38.2%)	16 (47.1%)	0 (0.0%)
	5年未満	102 (100%)	6 (5.9%)	6 (5.9%)	45 (44.1%)	45 (44.1%)	0 (0.0%)
	10年未満	96 (100%)	11 (11.5%)	7 (7.3%)	50 (52.1%)	28 (29.2%)	0 (0.0%)
	20年未満	95 (100%)	10 (10.5%)	13 (13.7%)	50 (52.6%)	22 (23.2%)	0 (0.0%)
	30年未満	69 (100%)	17 (24.6%)	8 (11.6%)	35 (50.7%)	9 (13.0%)	0 (0.0%)
	30年以上	223 (100%)	31 (13.9%)	23 (10.3%)	106 (47.5%)	58 (26.0%)	5 (2.2%)
世帯人数	単身者	136 (100%)	7 (5.1%)	4 (2.9%)	66 (48.5%)	56 (41.2%)	3 (2.2%)
	2人	220 (100%)	27 (12.3%)	17 (7.7%)	105 (47.7%)	70 (31.8%)	1 (0.5%)
	3人	126 (100%)	17 (13.5%)	13 (10.3%)	65 (51.6%)	30 (23.8%)	1 (0.8%)
	4人	91 (100%)	17 (18.7%)	14 (15.4%)	42 (46.2%)	18 (19.8%)	0 (0.0%)
	5人	34 (100%)	9 (26.5%)	7 (20.6%)	16 (47.1%)	2 (5.9%)	0 (0.0%)
	6人以上	9 (100%)	1 (11.1%)	2 (22.2%)	5 (55.6%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)
住居形態	一戸建て(持家)	221 (100%)	37 (16.7%)	26 (11.8%)	113 (51.1%)	42 (19.0%)	3 (1.4%)
	一戸建て(持家以外)	13 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (61.5%)	5 (38.5%)	0 (0.0%)
	集合住宅(持家)	155 (100%)	19 (12.3%)	15 (9.7%)	77 (49.7%)	44 (28.4%)	0 (0.0%)
	集合住宅(持家以外)	218 (100%)	20 (9.2%)	17 (7.8%)	98 (45.0%)	81 (37.2%)	2 (0.9%)
	その他	10 (100%)	2 (20.0%)	0 (0.0%)	3 (30.0%)	5 (50.0%)	0 (0.0%)
	町会等への加入	加入している	354 (100%)	55 (15.5%)	40 (11.3%)	180 (50.8%)	76 (21.5%)
加入していない		255 (100%)	21 (8.2%)	19 (7.5%)	116 (45.5%)	98 (38.4%)	1 (0.4%)

## レジ袋の有料化について

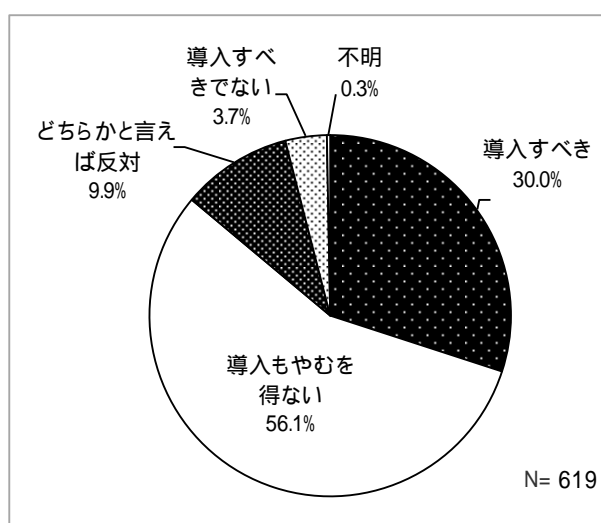
問 5(2) あなたは、スーパーやコンビニエンスストアのレジ袋を有料化することについてどう思われますか。

国が令和2年7月にレジ袋の有料化（無償配布禁止）制度を導入する予定であることを踏まえ、レジ袋の有料化について質問をした。

「導入もやむを得ない」が56.1%と最も多く、次いで「導入すべき」が30.0%であった。「どちらかと言えば反対」「導入すべきでない」は合計で13.6%である。

図表 2-65 レジ袋の有料化について

選択肢	回答数	割合
導入すべき	186	30.0%
導入もやむを得ない	347	56.1%
どちらかと言えば反対	61	9.9%
導入すべきでない	23	3.7%
不明	2	0.3%
合計	619	100.0%



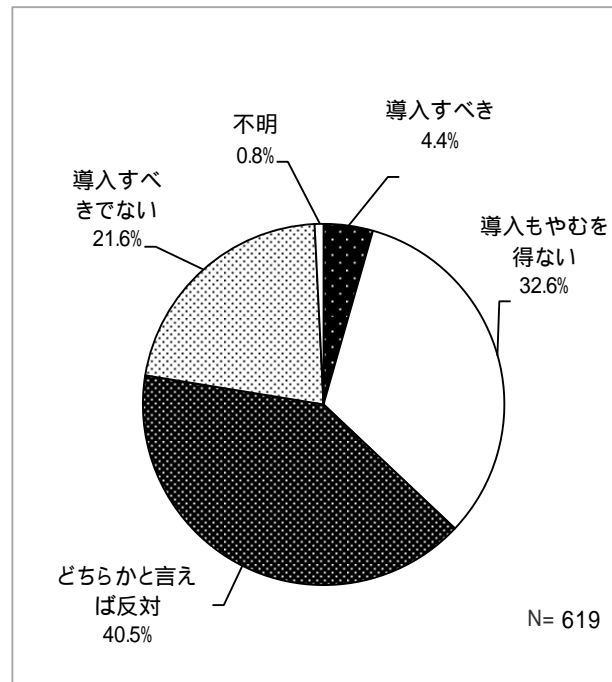
## 家庭ごみ有料化について

問 5(3) あなたは、ごみ減量やリサイクル推進のために、「燃やすごみ」や「陶器・ガラス・金属ごみ」を対象とした「家庭ごみの有料化」を導入することについてどう思われますか。

家庭ごみの有料化については、「導入すべき」(4.4%)と「導入もやむを得ない」(32.6%)の合計は37.0%であった。他方、「どちらかと言えば反対」(40.5%)と「導入すべきでない」(21.6%)の合計は、62.1%であった。

図表 2-66 家庭ごみ有料化について

選択肢	回答数	割合
導入すべき	27	4.4%
導入もやむを得ない	202	32.6%
どちらかと言えば反対	251	40.5%
導入すべきでない	134	21.6%
不明	5	0.8%
合計	619	100.0%



## 区に行ってほしい取り組み

問 5(4) ごみ減量・リサイクルをさらに進めるために、区にどのような取り組みを行ってほしいですか。

区に行ってほしい取り組みを複数回答で尋ねたところ、「企業への働きかけ」が38.9%と最も多く、次いで「ごみ・資源の分け方・出し方の情報発信の充実」30.2%、「不法投棄対策の徹底」26.3%などとなった。

平成26年度のアンケート調査結果(図表2-68)と比較すると、「リサイクルの拡充」は前回の33.6%から今回の20.8%に、「不法投棄対策」は33.1%から26.3%に減少している。一方、「企業への働きかけ」は前回の29.3%から38.9%に増加している。

図表 2-67 区に行ってほしい取り組み

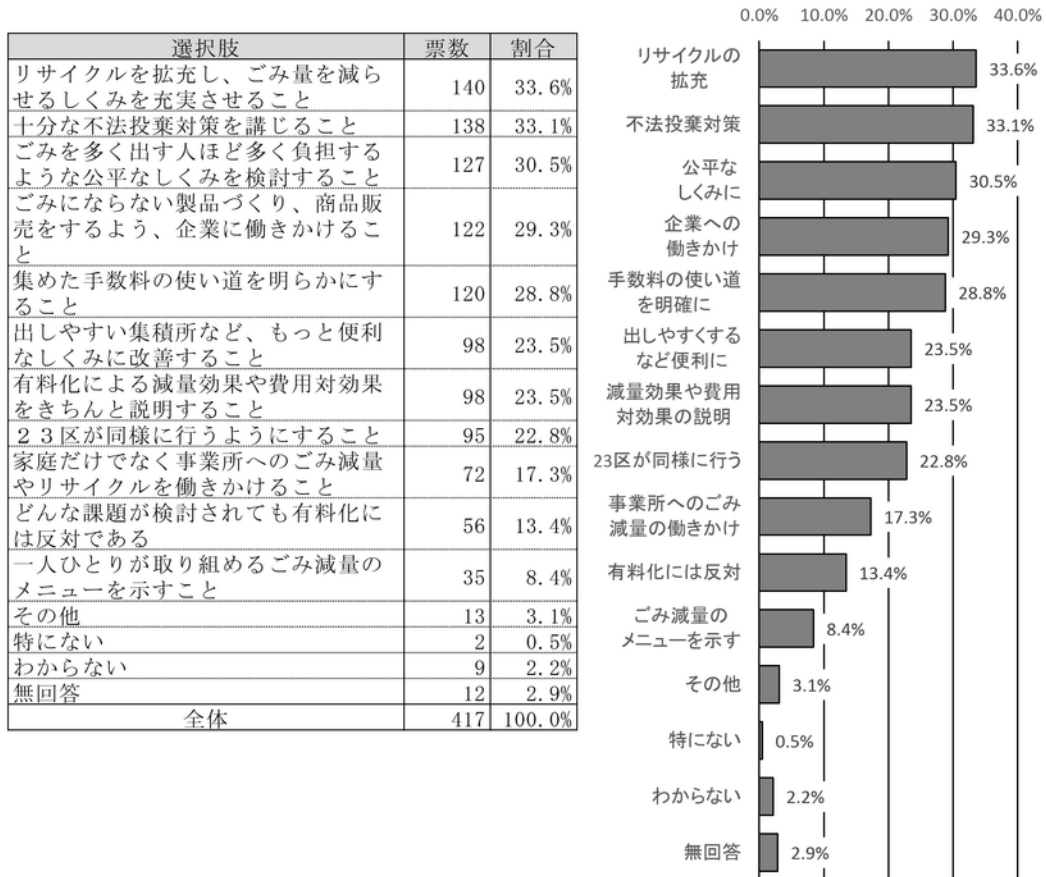
項目	回答数	割合
ごみにならない製品づくり、商品販売をするよう、企業に働きかける	241	38.9%
ごみ・資源の分け方・出し方の情報発信をもっと充実させる	187	30.2%
不法投棄対策を徹底する	163	26.3%
出しやすい集積所など、もっと便利な仕組みに改善する	157	25.4%
資源の回収品目を増やすなどリサイクルを拡充し、ごみ量を減らせる仕組みを充実させる	129	20.8%
一人ひとりが取り組めるごみ減量の取り組みをもっと紹介する	89	14.4%
家庭だけでなく事業所へのごみ減量やリサイクルを働きかける	81	13.1%
ごみ・資源の分別排出ルールを徹底し、厳しい指導を行う	70	11.3%
集団回収を行う町会・自治会等への支援・協力体制をもっと充実させる	46	7.4%
古紙やアルミ缶などの資源の持ち去り対策を徹底する	43	7.0%
その他	22	3.6%
無回答	15	2.4%
全体回答者数	619	



### 【その他の内容】

- 容器やストローを自然に戻るものに
- 毎日自分で持ち込める施設があると嬉しい
- 焼却設備を充実させ、ごみ発電を利用する
- 管理人不在アパートのごみ出しに力を入れるなど

図表 2-68 区に行ってほしい取り組み（前回アンケート調査）



今回調査における属性別のクロス集計結果を図表 2-69 に示す。

性別では、「出しやすくするなど便利に」「不法投棄対策」という回答は、男性が女性より高くなっている。一方、「リサイクルの拡充」「情報発信の充実」「企業への働きかけ」「ごみ減量の取り組みの紹介」といった回答は、男性よりも女性の方が高い。

年齢別に見ると、「出しやすくするなど便利に」という回答は、20代～30代が高くなっている。また、「企業への働きかけ」は40代～50代に多い。

図表 2-69 区に行ってほしい取り組み（属性別のクロス集計結果）

		問5(4) 区に行ってほしい取り組み												
		合計	出しやす くする など便利 に	リサイク ルの拡 充	情報発 信の充 実	分別排 出ルー ルの徹 底	持ち去り 対策の 徹底	不法投 棄対策	企業へ の働き かけ	ごみ減 量の 取り組 みの紹 介	事業所 へのご み減 量の 働きか け	集団回 収実施 団体 への支 援充実	その他	
全体		619 (100%)	157 (25.4%)	129 (20.8%)	187 (30.2%)	70 (11.3%)	43 (6.9%)	163 (26.3%)	241 (38.9%)	89 (14.4%)	81 (13.1%)	46 (7.4%)	22 (3.6%)	
性別	男性	183 (100%)	59 (32.2%)	34 (18.6%)	46 (25.1%)	28 (15.3%)	18 (9.8%)	60 (32.8%)	61 (33.3%)	15 (8.2%)	24 (13.1%)	19 (10.4%)	10 (5.5%)	
	女性	436 (100%)	98 (22.5%)	95 (21.8%)	141 (32.3%)	42 (9.6%)	25 (5.7%)	103 (23.6%)	180 (41.3%)	74 (17.0%)	57 (13.1%)	27 (6.2%)	12 (2.8%)	
年齢	20～29歳	44 (100%)	19 (43.2%)	9 (20.5%)	12 (27.3%)	5 (11.4%)	1 (2.3%)	10 (22.7%)	10 (22.7%)	5 (11.4%)	6 (13.6%)	3 (6.8%)	3 (6.8%)	
	30～39歳	103 (100%)	42 (40.8%)	21 (20.4%)	31 (30.1%)	12 (11.7%)	8 (7.8%)	28 (27.2%)	33 (32.0%)	14 (13.6%)	15 (14.6%)	7 (6.8%)	1 (1.0%)	
	40～49歳	122 (100%)	32 (26.2%)	24 (19.7%)	41 (33.6%)	10 (8.2%)	7 (5.7%)	33 (27.0%)	53 (43.4%)	24 (19.7%)	12 (9.8%)	7 (5.7%)	9 (7.4%)	
	50～59歳	121 (100%)	24 (19.8%)	20 (16.5%)	39 (32.2%)	10 (8.3%)	9 (7.4%)	25 (20.7%)	62 (51.2%)	18 (14.9%)	19 (15.7%)	5 (4.1%)	5 (4.1%)	
	60～69歳	91 (100%)	15 (16.5%)	24 (26.4%)	24 (26.4%)	17 (18.7%)	8 (8.8%)	22 (24.2%)	33 (36.3%)	12 (13.2%)	10 (11.0%)	6 (6.6%)	2 (2.2%)	
	70歳以上	138 (100%)	25 (18.1%)	31 (22.5%)	40 (29.0%)	16 (11.6%)	10 (7.2%)	45 (32.6%)	50 (36.2%)	16 (11.6%)	19 (13.8%)	18 (13.0%)	2 (1.4%)	
職業	会社員・ 公務員	226 (100%)	72 (31.9%)	45 (19.9%)	65 (28.8%)	21 (9.3%)	16 (7.1%)	53 (23.5%)	88 (38.9%)	30 (13.3%)	28 (12.4%)	19 (8.4%)	13 (5.8%)	
	自営業	44 (100%)	9 (20.5%)	9 (20.5%)	13 (29.5%)	5 (11.4%)	4 (9.1%)	14 (31.8%)	17 (38.6%)	2 (4.5%)	2 (4.5%)	2 (4.5%)	3 (6.8%)	
	家事	115 (100%)	21 (18.3%)	26 (22.6%)	39 (33.9%)	12 (10.4%)	5 (4.3%)	31 (27.0%)	50 (43.5%)	24 (20.9%)	13 (11.3%)	6 (5.2%)	1 (0.9%)	
	無職(退職 者含む)	113 (100%)	26 (23.0%)	26 (23.0%)	29 (25.7%)	23 (20.4%)	8 (7.1%)	36 (31.9%)	35 (31.0%)	13 (11.5%)	15 (13.3%)	13 (11.5%)	3 (2.7%)	
	パート・アル バイト	76 (100%)	18 (23.7%)	16 (21.1%)	28 (36.8%)	4 (5.3%)	5 (6.6%)	12 (15.8%)	34 (44.7%)	14 (18.4%)	12 (15.8%)	4 (5.3%)	1 (1.3%)	
	大学生・ 専門学校生	4 (100%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (25.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	その他	39 (100%)	11 (28.2%)	6 (15.4%)	10 (25.6%)	5 (12.8%)	4 (10.3%)	15 (38.5%)	15 (38.5%)	5 (12.8%)	11 (28.2%)	2 (5.1%)	2 (2.6%)	
	居住 年数	1年未満	34 (100%)	17 (50.0%)	9 (26.5%)	10 (29.4%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)	8 (23.5%)	10 (29.4%)	3 (8.8%)	5 (14.7%)	4 (11.8%)	2 (5.9%)
5年未満		102 (100%)	33 (32.4%)	22 (21.6%)	29 (28.4%)	12 (11.8%)	8 (7.8%)	23 (22.5%)	38 (37.3%)	15 (14.7%)	15 (14.7%)	5 (4.9%)	3 (2.9%)	
10年未満		96 (100%)	28 (29.2%)	13 (13.5%)	23 (24.0%)	13 (13.5%)	4 (4.2%)	29 (30.2%)	40 (41.7%)	22 (22.9%)	13 (13.5%)	6 (6.3%)	2 (2.1%)	
20年未満		95 (100%)	23 (24.2%)	16 (16.8%)	36 (37.9%)	7 (7.4%)	8 (8.4%)	22 (23.2%)	36 (37.9%)	16 (16.8%)	7 (7.4%)	2 (2.1%)	8 (8.4%)	
30年未満		69 (100%)	12 (17.4%)	17 (24.6%)	23 (33.3%)	11 (15.9%)	3 (4.3%)	20 (29.0%)	28 (40.6%)	8 (11.6%)	7 (10.1%)	3 (4.3%)	3 (4.3%)	
30年以上		223 (100%)	44 (19.7%)	52 (23.3%)	66 (29.6%)	26 (11.7%)	20 (9.0%)	61 (27.4%)	89 (39.9%)	25 (11.2%)	34 (15.2%)	26 (11.7%)	4 (1.8%)	
世帯 人数		単身者	136 (100%)	47 (34.6%)	24 (17.6%)	36 (26.5%)	17 (12.5%)	5 (3.7%)	32 (23.5%)	54 (39.7%)	11 (8.1%)	16 (11.8%)	7 (5.1%)	12 (8.8%)
	2人	220 (100%)	44 (20.0%)	44 (20.0%)	73 (33.2%)	25 (11.4%)	17 (7.7%)	57 (25.9%)	88 (40.0%)	40 (18.2%)	34 (15.5%)	19 (8.6%)	4 (1.8%)	
	3人	126 (100%)	33 (26.2%)	25 (19.8%)	38 (30.2%)	14 (11.1%)	8 (6.3%)	40 (31.7%)	45 (35.7%)	17 (13.5%)	16 (12.7%)	11 (8.7%)	3 (2.4%)	
	4人	91 (100%)	24 (26.4%)	27 (29.7%)	31 (34.1%)	12 (13.2%)	6 (6.6%)	21 (23.1%)	33 (36.3%)	14 (15.4%)	9 (9.9%)	4 (4.4%)	0 (0.0%)	
	5人	34 (100%)	8 (23.5%)	8 (23.5%)	5 (14.7%)	1 (2.9%)	3 (8.8%)	10 (29.4%)	16 (47.1%)	4 (11.8%)	4 (11.8%)	3 (8.8%)	2 (5.9%)	
	6人以上	9 (100%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)	4 (44.4%)	0 (0.0%)	3 (33.3%)	2 (22.2%)	3 (33.3%)	1 (11.1%)	2 (22.2%)	2 (22.2%)	1 (11.1%)	
住居 形態	一戸建て (持家)	221 (100%)	51 (23.1%)	50 (22.6%)	62 (28.1%)	22 (10.0%)	19 (8.6%)	69 (31.2%)	86 (38.9%)	23 (10.4%)	26 (11.8%)	18 (8.1%)	5 (2.3%)	
	一戸建て (持家以外)	13 (100%)	3 (23.1%)	4 (30.8%)	5 (38.5%)	3 (23.1%)	0 (0.0%)	3 (23.1%)	5 (38.5%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)	2 (15.4%)	0 (0.0%)	
	集合住宅 (持家)	155 (100%)	32 (20.6%)	34 (21.9%)	45 (29.0%)	18 (11.6%)	14 (9.0%)	35 (22.6%)	64 (41.3%)	29 (18.7%)	22 (14.2%)	16 (10.3%)	7 (4.5%)	
	集合住宅 (持家以外)	218 (100%)	69 (31.7%)	40 (18.3%)	73 (33.5%)	25 (11.5%)	8 (3.7%)	52 (23.9%)	80 (36.7%)	35 (16.1%)	32 (14.7%)	9 (4.1%)	9 (4.1%)	
	その他	10 (100%)	2 (20.0%)	1 (10.0%)	1 (10.0%)	2 (20.0%)	1 (10.0%)	4 (40.0%)	6 (60.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	1 (10.0%)	
	町会 等への 加入	加入している	354 (100%)	77 (21.8%)	79 (22.3%)	106 (29.9%)	42 (11.9%)	31 (8.8%)	99 (28.0%)	134 (37.9%)	50 (14.1%)	43 (12.1%)	30 (8.5%)	10 (2.8%)
加入してい ない		255 (100%)	77 (30.2%)	47 (18.4%)	79 (31.0%)	28 (11.0%)	12 (4.7%)	63 (24.7%)	102 (40.0%)	38 (14.9%)	36 (14.1%)	16 (6.3%)	11 (4.3%)	



---

## 第3章 事業所アンケート調査

---

### 1 調査概要

#### (1) 調査目的

本調査は、事業者のごみ・資源の処理方法やごみ減量・リサイクルへの取り組み実態等を把握することにより、一般廃棄物処理基本計画を改定するための基礎資料を得ることを目的とする。

#### (2) 調査対象

区に事業系ごみの集積所収集の届け出を行っている事業所から無作為に 1,000 事業所を抽出した。

#### (3) 調査方法

調査票の送付・回収は郵送により行った。未回答者への督促は行っていない。

#### (4) 調査期間

令和元年 8 月 26 日～9 月 6 日

#### (5) 回収状況

発送数は 1,000 通、宛先不明等で 58 通が返送されたため有効発送数は 942 通である。有効回答数は 344 通で、回答率は 36.5%である。

#### (6) 集計結果の留意事項

回答者の属性別のクロス集計は、有効回答数が極端に少なくなることを避けるため、集計表は、業種、建物形態、従業者数の各カテゴリーをある程度統合した上で行った。

上段が回答者数、下段が構成比を示している。なお、構成比の合計値は四捨五入の関係で 100%にならない項目がある。

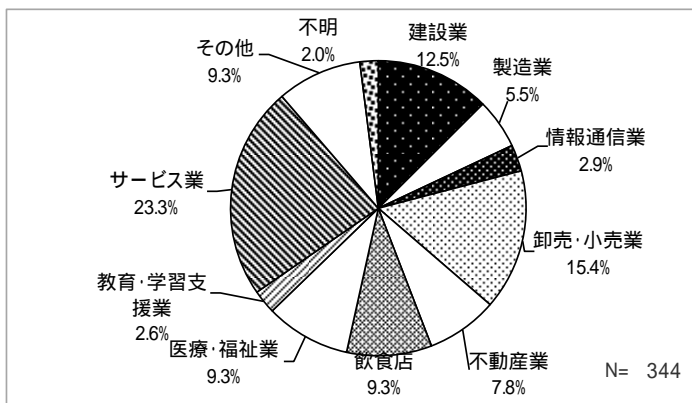
## 2 回答事業所の属性

### (1) 業種

「サービス業」が最も多く 23.3%、次いで「卸売・小売業」が 15.4%、建設業が 12.5% などの順となっている。

図表 3-1 業種

選択肢	回答数	割合
建設業	43	12.5%
製造業	19	5.5%
情報通信業	10	2.9%
卸売・小売業	53	15.4%
不動産業	27	7.8%
飲食店	32	9.3%
医療・福祉業	32	9.3%
教育・学習支援業	9	2.6%
サービス業	80	23.3%
その他	32	9.3%
不明	7	2.0%
合計	344	100.0%

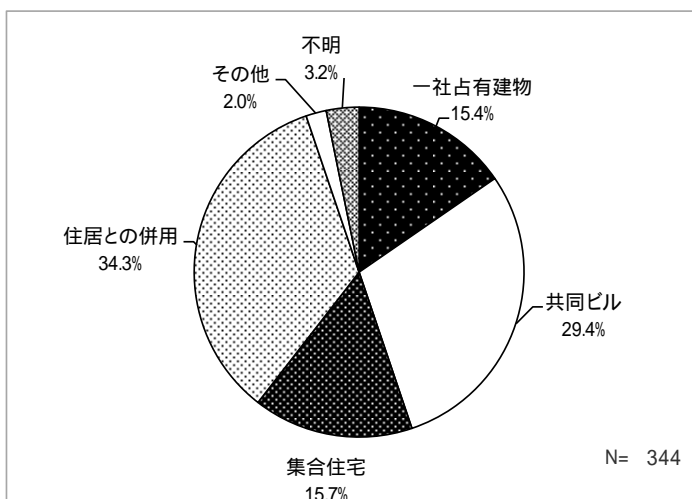


### (2) 建物の形態

「住居との併用」が最も多く 34.4%、次いで「共同ビル」20.4%、「一社専有建物」15.4% などとなっている。

図表 3-2 建物の形態

選択肢	回答数	割合
一社占有建物	53	15.4%
共同ビル	101	29.4%
集合住宅	54	15.7%
住居との併用	118	34.3%
その他	7	2.0%
不明	11	3.2%
合計	344	100.0%

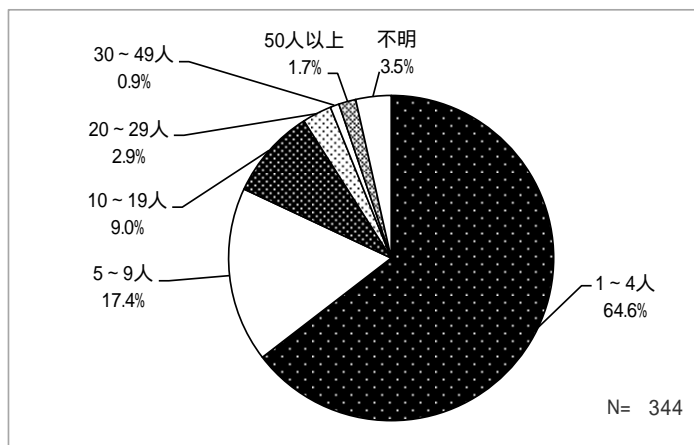


(3) 従業者数

「1～4人」が最も多く64.5%、「5～9人」が17.4%、「10～19人」が9.0%などとなっている。

図表 3-3 従業者数

選択肢	回答数	割合
1～4人	222	64.5%
5～9人	60	17.4%
10～19人	31	9.0%
20～29人	10	2.9%
30～49人	3	0.9%
50人以上	6	1.7%
不明	12	3.5%
合計	344	100.0%



### 3 調査結果

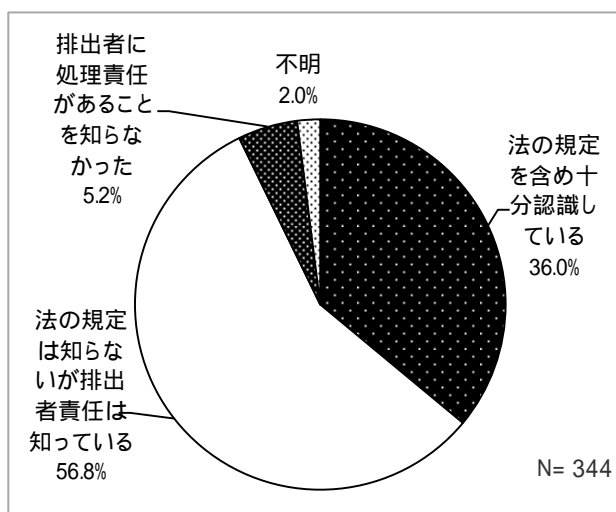
#### (1) 事業者責任について

問1 廃棄物処理法では、「事業者の排出者責任」について定められています。貴事業所ではそのことをご存じでしたか。

「法規制は知らないが認識」が最も多く 56.7%、次いで「法規制を含めて十分認識」が 36.0%、「知らなかった」が 5.2%の順である。

図表 3-4 事業者責任について

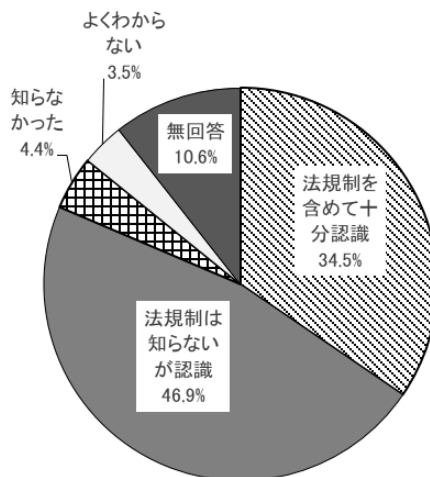
選択肢	回答数	割合
法の規定を含め十分認識している	124	36.0%
法の規定は知らないが排出者責任は知っている	195	56.7%
排出者に処理責任があることを知らなかった	18	5.2%
不明	7	2.0%
合計	344	100.0%



前回の一般廃棄物処理基本計画改定時に実施した平成 26 年度のアンケート調査結果を図表 3-5 に示す。前回アンケート調査対象事業所は、経済センサス活動調査名簿からの無作為抽出であるため単純な比較は出来ないが、今回のアンケート調査とほぼ同様の傾向となっている。

図表 3-5 事業者責任について (前回アンケート調査)

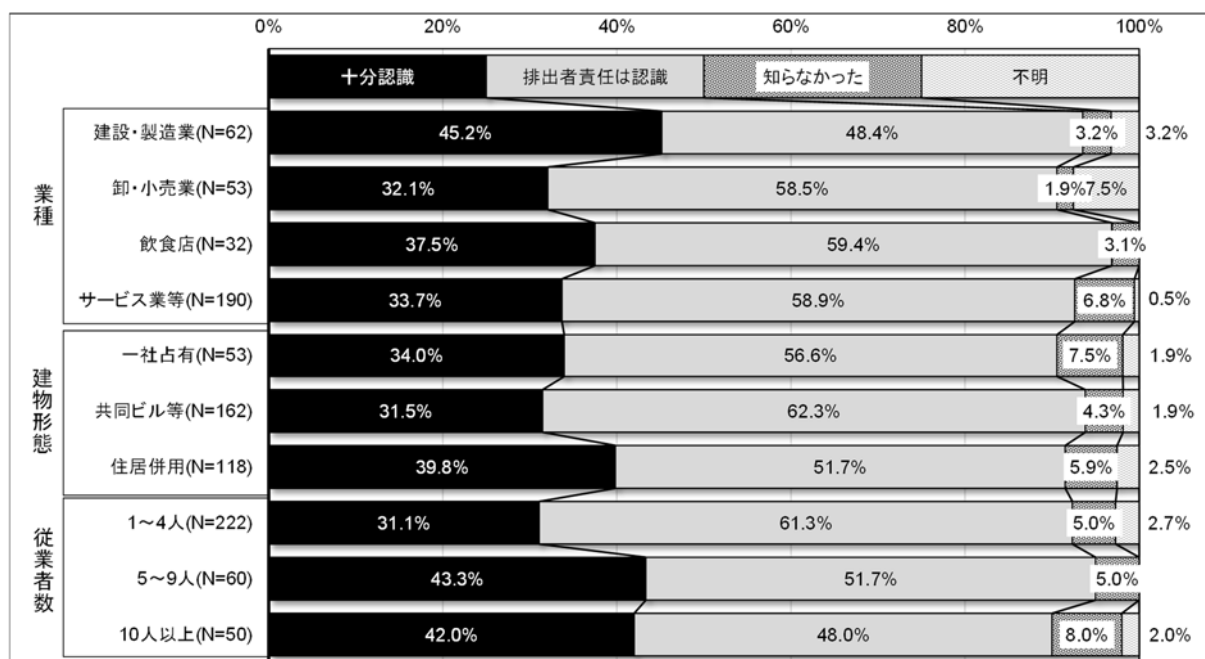
選択肢名	票数	割合
1 法律の規定を含め、十分に認識している	39	34.5%
2 法律の規定については知らないが、排出者に処理責任があることは知っている	53	46.9%
3 排出者に処理責任があることを知らなかった	5	4.4%
4 よくわからない	4	3.5%
無回答	12	10.6%
全体	113	100.0%



今回調査における属性別に見ると、「十分に認識している」という回答は、業種では「建設・製造業」に、建物形態別では「住居との併用」にて高くなっている。従業員規模別では5人未満の規模の事業所における「十分に認識している」という回答が低くなっている。

図表 3-6 事業者責任について（属性別のクロス集計結果）

		合計	問1 事業者責任について			
			十分認識	排出者責任は認識	知らなかった	不明
全体		344 (100%)	124 (36.0%)	195 (56.7%)	18 (5.2%)	7 (2.0%)
業種	建設・製造業	62 (100%)	28 (45.2%)	30 (48.4%)	2 (3.2%)	2 (3.2%)
	卸・小売業	53 (100%)	17 (32.1%)	31 (58.5%)	1 (1.9%)	4 (7.5%)
	飲食店	32 (100%)	12 (37.5%)	19 (59.4%)	1 (3.1%)	0 (0.0%)
	サービス業等	190 (100%)	64 (33.7%)	112 (58.9%)	13 (6.8%)	1 (0.5%)
建物形態	一社占有	53 (100%)	18 (34.0%)	30 (56.6%)	4 (7.5%)	1 (1.9%)
	共同ビル等	162 (100%)	51 (31.5%)	101 (62.3%)	7 (4.3%)	3 (1.9%)
	住居併用	118 (100%)	47 (39.8%)	61 (51.7%)	7 (5.9%)	3 (2.5%)
従業員数	1～4人	222 (100%)	69 (31.1%)	136 (61.3%)	11 (5.0%)	6 (2.7%)
	5～9人	60 (100%)	26 (43.3%)	31 (51.7%)	3 (5.0%)	0 (0.0%)
	10人以上	50 (100%)	21 (42.0%)	24 (48.0%)	4 (8.0%)	1 (2.0%)



(2) ごみの排出・処理状況

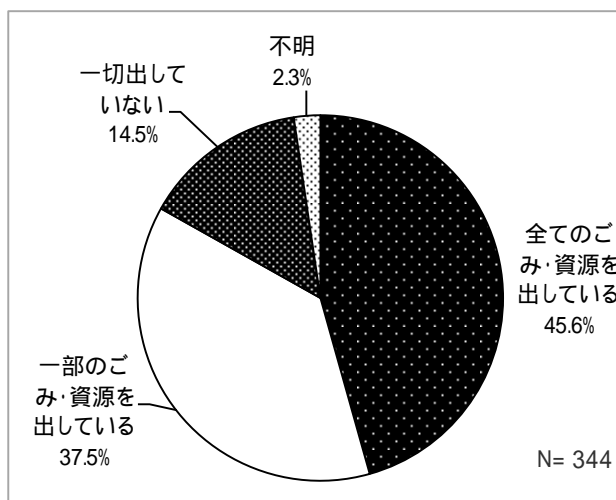
区収集への排出

問 2(1) 「燃やすごみ」や「陶器・ガラス・金属ごみ」、または「びん・缶・ペットボトル」といった資源を、区のごみ収集・資源回収に出していますか。

「全てのごみ・資源を出している」が45.6%、「一部のごみ・資源を出している」が37.5%、「一切出していない」が14.5%となっている。

図表 3-7 区収集への排出

選択肢	回答数	割合
全てのごみ・資源を出している	157	45.6%
一部のごみ・資源を出している	129	37.5%
一切出していない	50	14.5%
不明	8	2.3%
合計	344	100.0%



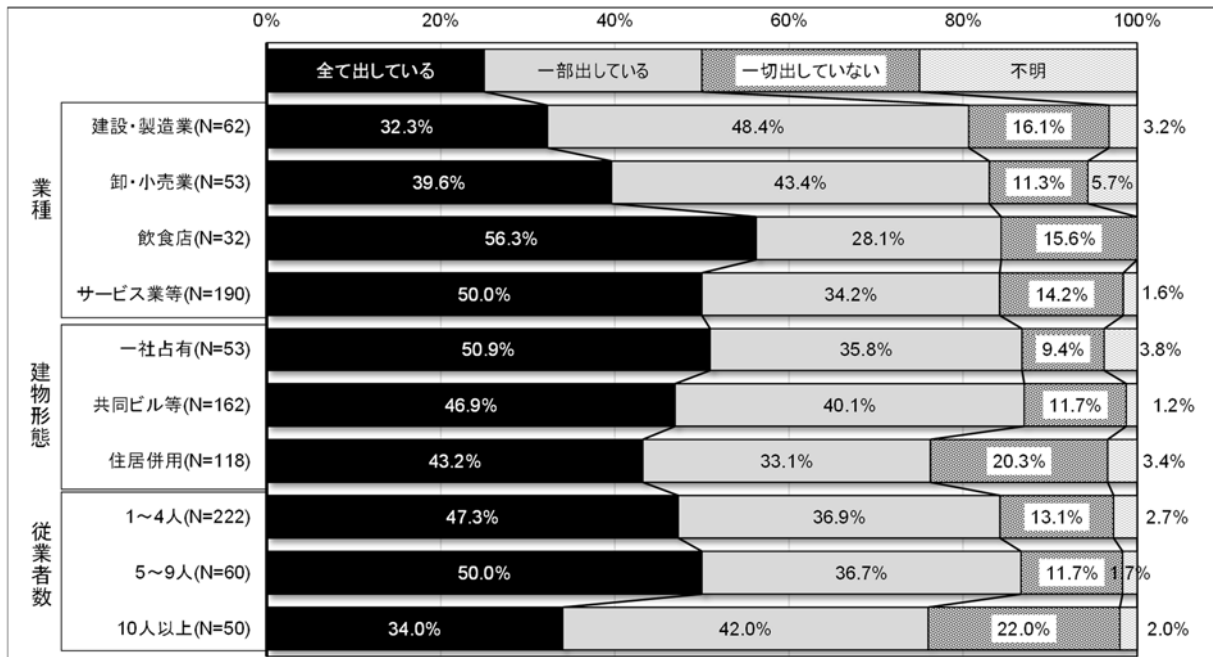
属性別に見ると(図表 3-8)業種別では建設業・製造業は「全てのごみ・資源を出している」割合が32.3%と低く、飲食店は56.3%と高い。

建物形態別では、「住居併用」が「一切出していない」という回答が多くなっているが、これは事業系ごみそのものの排出量がゼロであるものが含まれている。

一方、従業者数別では、10人以上の規模の事業者が「全てのごみ・資源を出している」割合が低く、「一切出していない」割合が高くなっているが、これは民間委託に全て出している事業所が多いものと思われる。

図表 3-8 区収集への排出（属性別のクロス集計結果）

		合計	問2(1) 区収集への排出			
			全て出している	一部出している	一切出していない	不明
全体		344 (100%)	157 (45.6%)	129 (37.5%)	50 (14.5%)	8 (2.3%)
業種	建設・製造業	62 (100%)	20 (32.3%)	30 (48.4%)	10 (16.1%)	2 (3.2%)
	卸・小売業	53 (100%)	21 (39.6%)	23 (43.4%)	6 (11.3%)	3 (5.7%)
	飲食店	32 (100%)	18 (56.3%)	9 (28.1%)	5 (15.6%)	0 (0.0%)
	サービス業等	190 (100%)	95 (50.0%)	65 (34.2%)	27 (14.2%)	3 (1.6%)
建物形態	一社占有	53 (100%)	27 (50.9%)	19 (35.8%)	5 (9.4%)	2 (3.8%)
	共同ビル等	162 (100%)	76 (46.9%)	65 (40.1%)	19 (11.7%)	2 (1.2%)
	住居併用	118 (100%)	51 (43.2%)	39 (33.1%)	24 (20.3%)	4 (3.4%)
従業者数	1～4人	222 (100%)	105 (47.3%)	82 (36.9%)	29 (13.1%)	6 (2.7%)
	5～9人	60 (100%)	30 (50.0%)	22 (36.7%)	7 (11.7%)	1 (1.7%)
	10人以上	50 (100%)	17 (34.0%)	21 (42.0%)	11 (22.0%)	1 (2.0%)



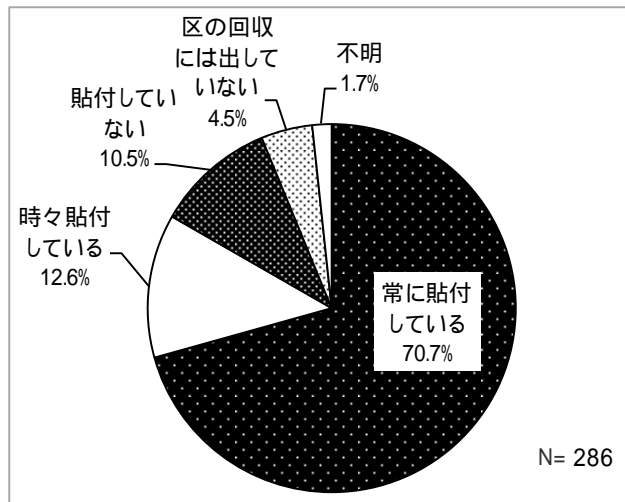
事業系有料ごみ処理券の貼付（ごみ）

問 2(2) 「燃やすごみ」や「陶器・ガラス・金属ごみ」を区の収集に排出する際、事業系有料ごみ処理券を貼付していますか。

前問で事業系ごみの全てまたは一部を区収集に排出している事業所を対象に、事業系有料ごみ処理券の貼付について尋ねたところ、「常に貼付している」70.6%である一方、「貼付していない」が10.5%あった。

図表 3-9 事業系有料ごみ処理券の貼付（ごみ）

選択肢	回答数	割合
常に貼付している	202	70.6%
時々貼付している	36	12.6%
貼付していない	30	10.5%
区の回収には出していない	13	4.5%
不明	5	1.7%
合計	286	100.0%



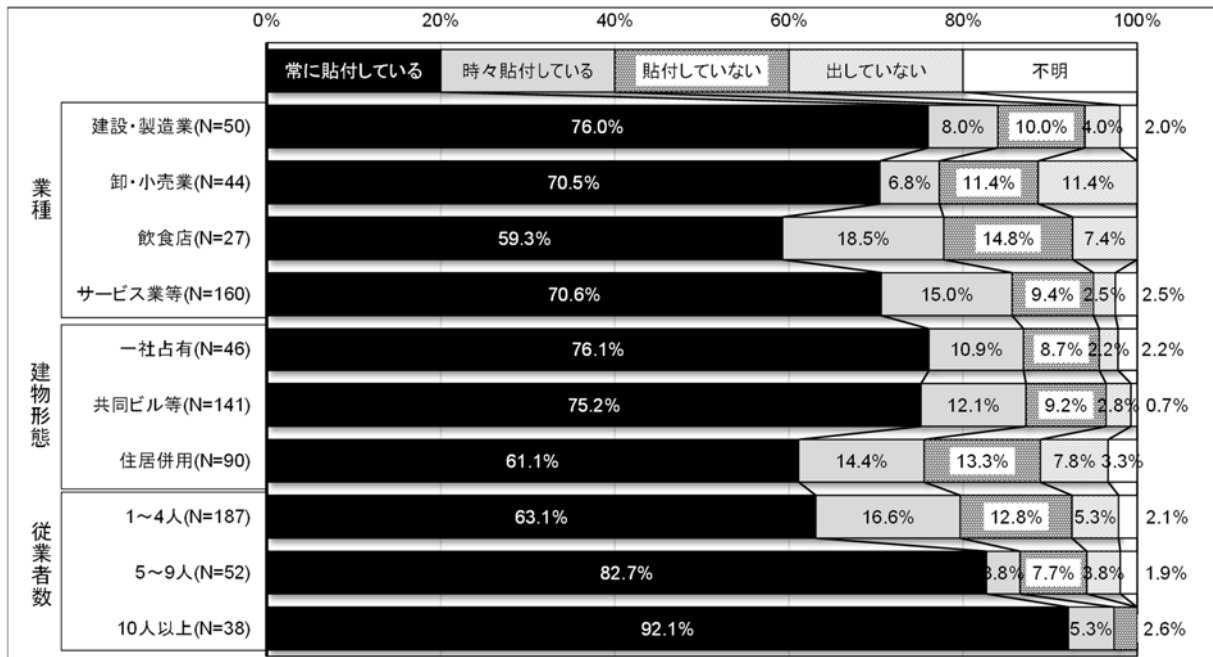
属性別のクロス集計結果(図表 3-10)を見ると、業種別で飲食店の「常に貼付している」の割合が59.3%とやや低くなっている。ただし、飲食店のサンプル数は27と少ないことに留意する必要がある。

また、建物形態別では「住居併用」が、従業者数では「1~4人」が、それぞれ「常に貼付している」の割合が低くなっている。



図表 3-10 事業系有料ごみ処理券の貼付（ごみ）（属性別のクロス集計結果）

		合計	問2(2) 事業系有料ごみ処理券の貼付（ごみ）				
			常に貼付している	時々貼付している	貼付していない	出していない	不明
全体		286 (100%)	202 (70.6%)	36 (12.6%)	30 (10.5%)	13 (4.5%)	5 (1.7%)
業種	建設・製造業	50 (100%)	38 (76.0%)	4 (8.0%)	5 (10.0%)	2 (4.0%)	1 (2.0%)
	卸・小売業	44 (100%)	31 (70.5%)	3 (6.8%)	5 (11.4%)	5 (11.4%)	0 (0.0%)
	飲食店	27 (100%)	16 (59.3%)	5 (18.5%)	4 (14.8%)	2 (7.4%)	0 (0.0%)
	サービス業等	160 (100%)	113 (70.6%)	24 (15.0%)	15 (9.4%)	4 (2.5%)	4 (2.5%)
建物形態	一社占有	46 (100%)	35 (76.1%)	5 (10.9%)	4 (8.7%)	1 (2.2%)	1 (2.2%)
	共同ビル等	141 (100%)	106 (75.2%)	17 (12.1%)	13 (9.2%)	4 (2.8%)	1 (0.7%)
	住居併用	90 (100%)	55 (61.1%)	13 (14.4%)	12 (13.3%)	7 (7.8%)	3 (3.3%)
従業者数	1～4人	187 (100%)	118 (63.1%)	31 (16.6%)	24 (12.8%)	10 (5.3%)	4 (2.1%)
	5～9人	52 (100%)	43 (82.7%)	2 (3.8%)	4 (7.7%)	2 (3.8%)	1 (1.9%)
	10人以上	38 (100%)	35 (92.1%)	2 (5.3%)	1 (2.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)



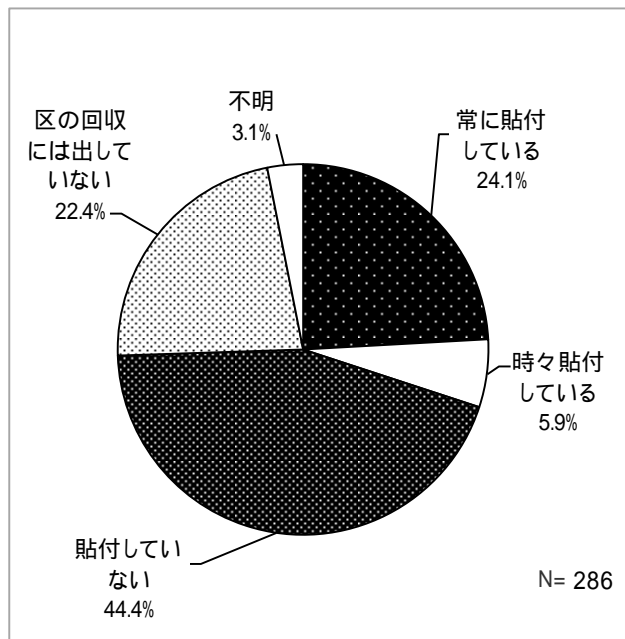
事業系有料ごみ処理券の貼付（資源）

問 2(3) びん・缶、ペットボトルといった資源を区の回収に排出する際、事業系有料ごみ処理券を貼付していますか。

前問と同様、事業系ごみの全てまたは一部を区収集に排出している事業所を対象に、資源を区回収に出す際の事業系有料ごみ処理券の貼付を尋ねたところ、「貼付していない」が44.4%と最も多く、次いで「常に貼付している」24.1%、「区の回収には出していない」22.4%であった。

図表 3-11 事業系有料ごみ処理券の貼付（資源）

選択肢	回答数	割合
常に貼付している	69	24.1%
時々貼付している	17	5.9%
貼付していない	127	44.4%
区の回収には出していない	64	22.4%
不明	9	3.1%
合計	286	100.0%

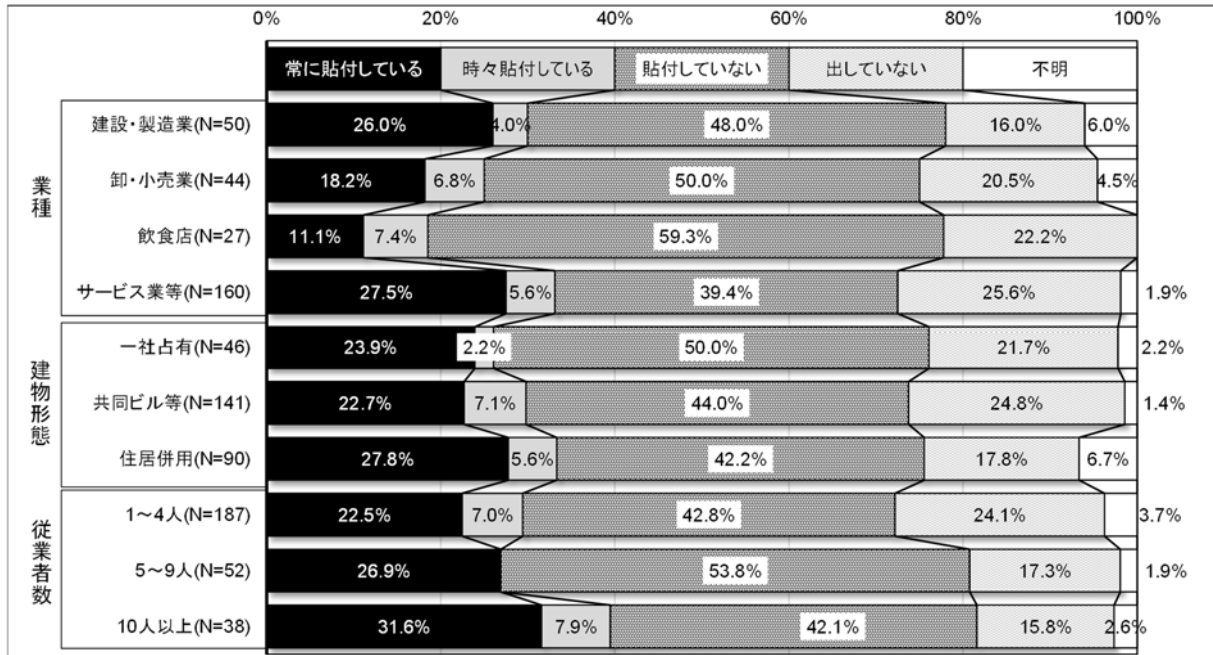


属性別のクロス集計結果（図表 3-12）を見ると、業種別では飲食店の「常に貼付している」の割合が11.1%と、卸・小売業においては18.2%と低くなっている。

また、従業者数では「1～4人」が22.5%低くなっている。

図表 3-12 事業系有料ごみ処理券の貼付（資源）(属性別のクロス集計結果)

		合計	問2(3) 事業系有料ごみ処理券の貼付（資源）				
			常に貼付している	時々貼付している	貼付していない	出していない	不明
全体		286 (100%)	69 (24.1%)	17 (5.9%)	127 (44.4%)	64 (22.4%)	9 (3.1%)
業種	建設・製造業	50 (100%)	13 (26.0%)	2 (4.0%)	24 (48.0%)	8 (16.0%)	3 (6.0%)
	卸・小売業	44 (100%)	8 (18.2%)	3 (6.8%)	22 (50.0%)	9 (20.5%)	2 (4.5%)
	飲食店	27 (100%)	3 (11.1%)	2 (7.4%)	16 (59.3%)	6 (22.2%)	0 (0.0%)
	サービス業等	160 (100%)	44 (27.5%)	9 (5.6%)	63 (39.4%)	41 (25.6%)	3 (1.9%)
建物形態	一社占有	46 (100%)	11 (23.9%)	1 (2.2%)	23 (50.0%)	10 (21.7%)	1 (2.2%)
	共同ビル等	141 (100%)	32 (22.7%)	10 (7.1%)	62 (44.0%)	35 (24.8%)	2 (1.4%)
	住居併用	90 (100%)	25 (27.8%)	5 (5.6%)	38 (42.2%)	16 (17.8%)	6 (6.7%)
従業者数	1～4人	187 (100%)	42 (22.5%)	13 (7.0%)	80 (42.8%)	45 (24.1%)	7 (3.7%)
	5～9人	52 (100%)	14 (26.9%)	0 (0.0%)	28 (53.8%)	9 (17.3%)	1 (1.9%)
	10人以上	38 (100%)	12 (31.6%)	3 (7.9%)	16 (42.1%)	6 (15.8%)	1 (2.6%)



1 週間当たりの排出量

問 2 (4) 1 週間当たりのごみや資源の量は、どの程度ですか。ごみや資源の種類ごとに、下表に概算の数字でお答えください。(出ない種類は「0」と記入してください。)

区収集に全部または一部の事業系ごみを排出している事業所の、1 週間当たりの排出量の平均値は、図表 3-13 に示すとおりである。

図表 3-13 数値回答単純平均

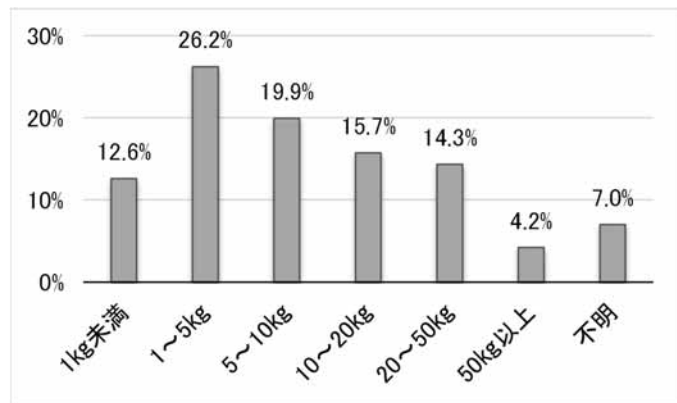
品目	週平均排出量(kg/週)
燃やすごみ	11.9
陶器・ガラス・金属ごみ	0.45
びん・缶・ペットボトル	1.22
プラスチック製容器包装	0.78

燃やすごみの排出量分布を見ると、1～5 kg / 週が 26.2%と最も多くなっている。

1 kg / 週未満の排出量の事業所も 12.6%ある。また、50 kg / 週以上排出する事業所は 4.2%あった。

図表 3-14 排出量分布 (燃やすごみ)

排出量 kg/週	燃やすごみ		
	回答数	割合	割合の累計
1kg未満	36	12.6%	12.6%
1～5kg	75	26.2%	38.8%
5～10kg	57	19.9%	58.7%
10～20kg	45	15.7%	74.5%
20～50kg	41	14.3%	88.8%
50kg以上	12	4.2%	93.0%
不明	20	7.0%	100.0%
合計	286	100.0%	

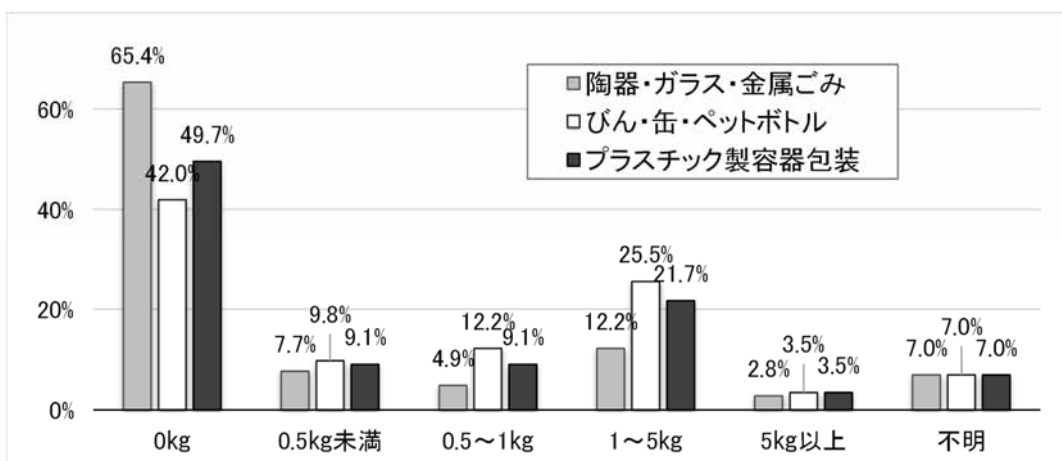


一方、「陶器・ガラス・金属ごみ」「びん・缶・ペットボトル」「プラスチック製容器包装」の週当たり排出量の分布を見ると、「0 kg / 週」(排出しない)が最も多くなっている。

これは、事業所内での発生量がゼロである場合のほか、「びん・缶・ペットボトル」などでは、資源回収業者等に排出している場合も含まれると思われる。

図表 3-15 排出量分布(燃やすごみ以外)

排出量 kg/週	陶器・ガラス・金属ごみ			びん・缶・ペットボトル			プラスチック製容器包装		
	回答数	割合	割合の累計	回答数	割合	割合の累計	回答数	割合	割合の累計
0kg	187	65.4%	65.4%	120	42.0%	42.0%	142	49.7%	49.7%
0.5kg未満	22	7.7%	73.1%	28	9.8%	51.8%	26	9.1%	58.7%
0.5～1kg	14	4.9%	78.0%	35	12.2%	64.0%	26	9.1%	67.8%
1～5kg	35	12.2%	90.2%	73	25.5%	89.5%	62	21.7%	89.5%
5kg以上	8	2.8%	93.0%	10	3.5%	93.0%	10	3.5%	93.0%
不明	20	7.0%	100.0%	20	7.0%	100.0%	20	7.0%	100.0%
合計	286	100.0%		286	100.0%		286	100.0%	

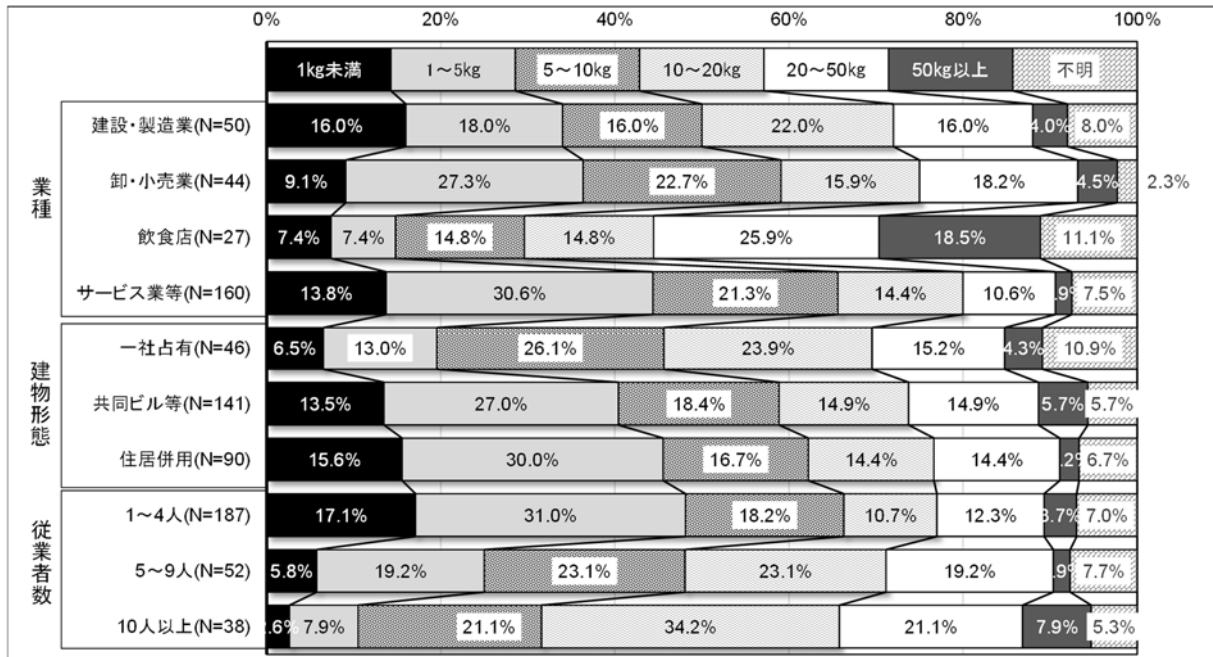


燃やすごみの属性別の排出量分布を図表 3-16 に示す。

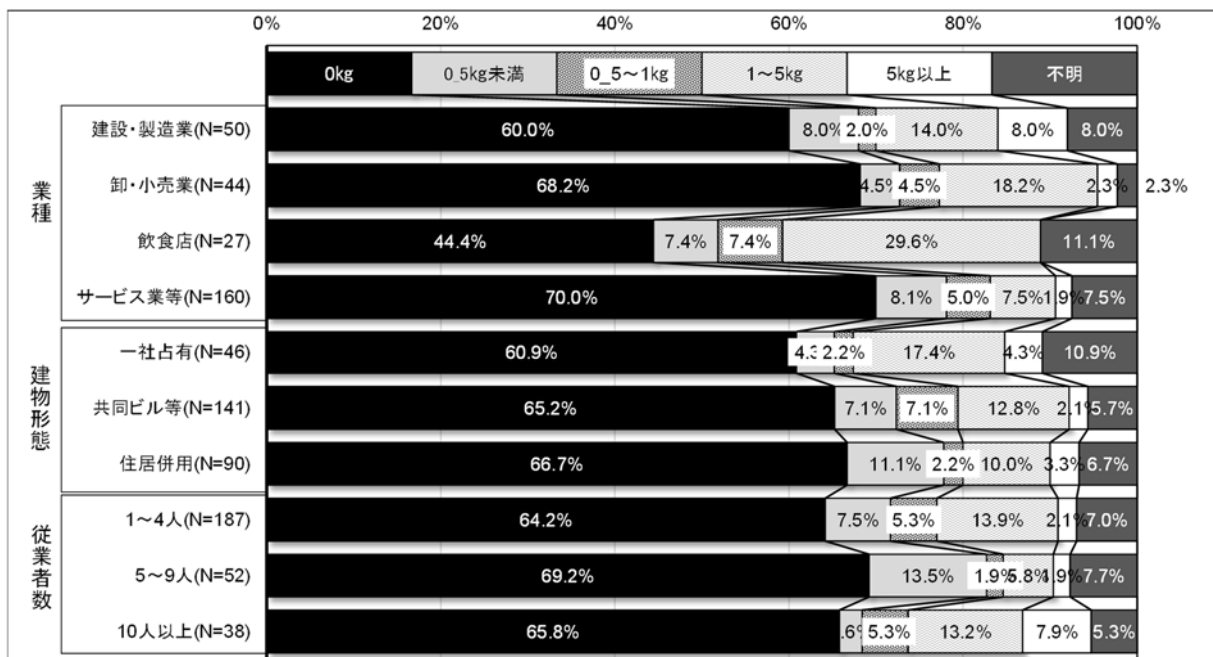
業種別に見た場合、「飲食店」は 50 kg / 週が 18.5%と他業種に比較して突出している。

同様に、「陶器・ガラス・金属ごみ」(図表 3-17)、「びん・缶・ペットボトル」(図表 3-18)及び「プラスチック製容器包装」(図表 3-19)においても、飲食店の排出量分布が多い方に偏っていることが分る。

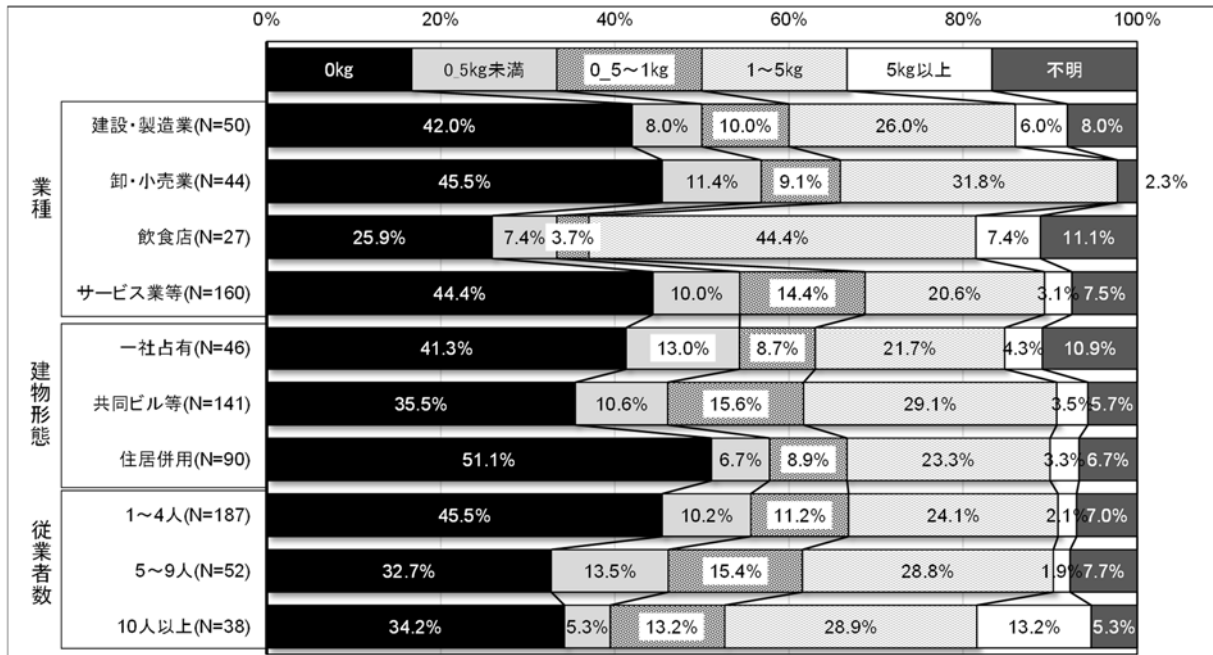
図表 3-16 排出量分布 (燃やすごみ)(属性別のクロス集計結果)



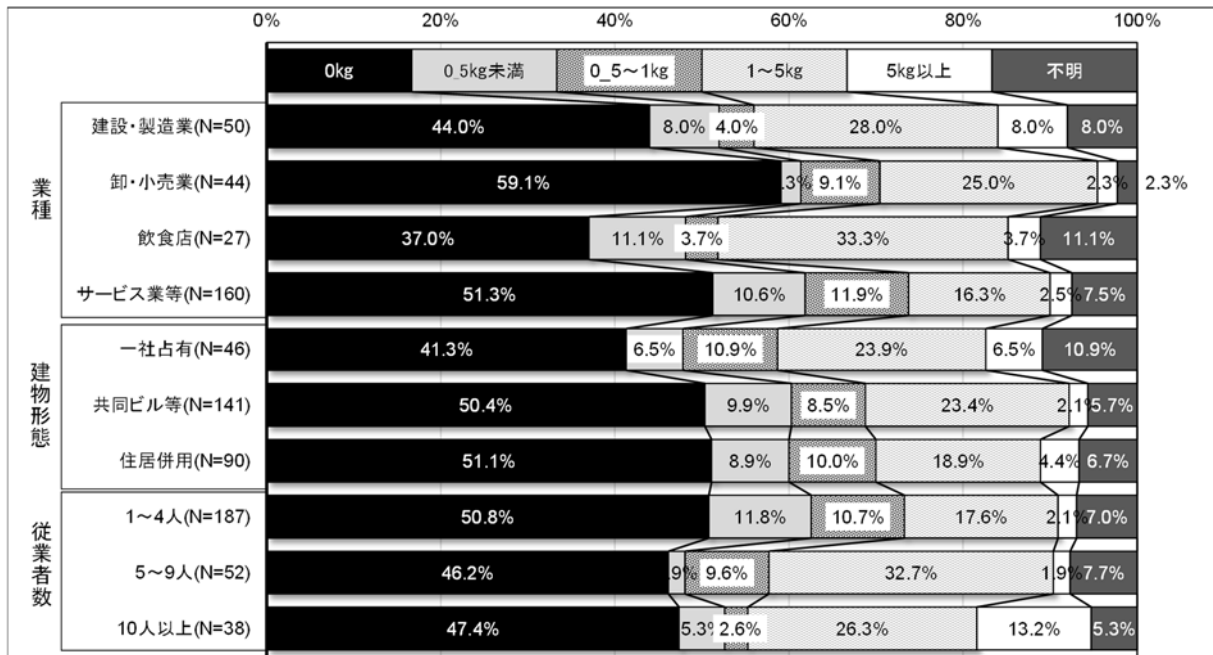
図表 3-17 排出量分布 (陶器・ガラス・金属ごみ)(属性別のクロス集計結果)



図表 3-18 排出量分布 (びん・缶・ペットボトル)(属性別のクロス集計結果)



図表 3-19 排出量分布 (プラスチック製容器包装)(属性別のクロス集計結果)



### 廃棄物処理業者に委託しない理由

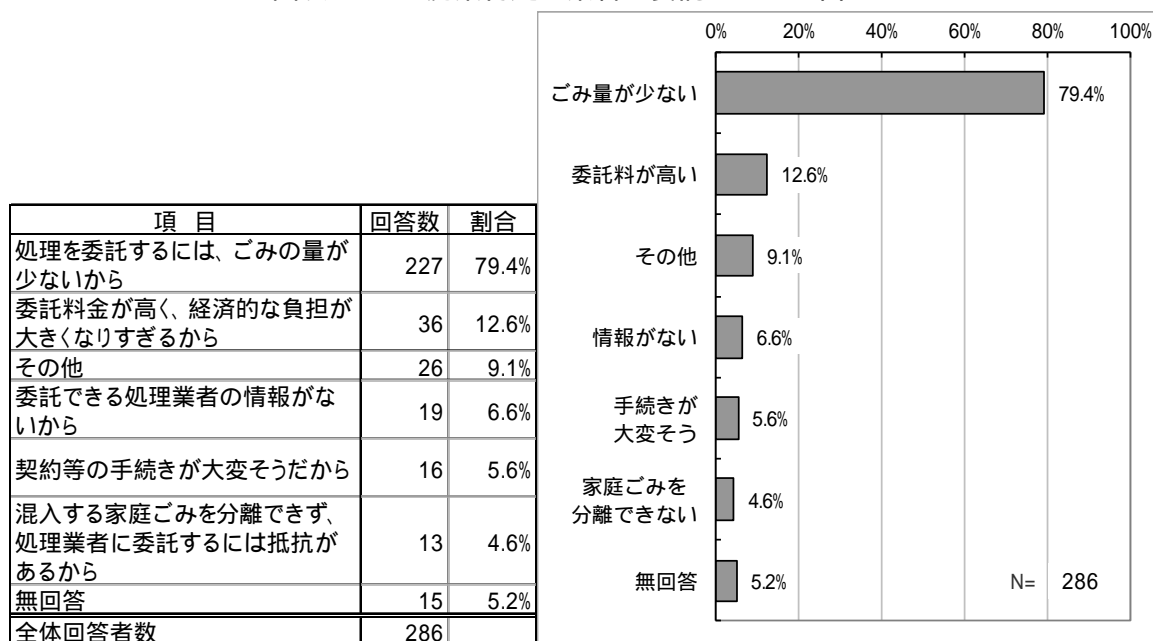
問 2(5) 廃棄物処理業者に委託せずに区の収集を利用する理由をお答えください。

(複数回答)

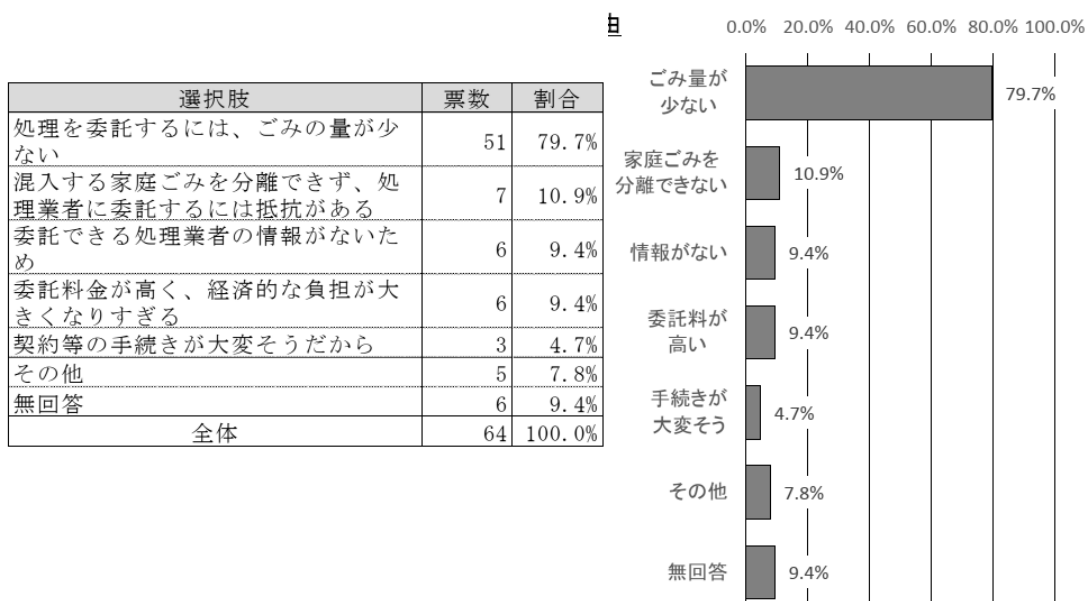
「ごみ量が少ない」が 79.4%と最も多くなっている。「その他」9.1%の記述も「休業しているようなものであるから」等、ごみ量が非常に少ない旨の記述がほとんどであった。

前回平成 26 年度のアンケート調査結果と比較すると同様の傾向であるが、「家庭ごみを分離できない」という回答は、前回 10.9%に対し、今回 4.6%と 6.3 ポイント減少している。

図表 3-20 廃棄物処理業者に委託しない理由



図表 3-21 廃棄物処理業者に委託しない理由（前回アンケート調査）





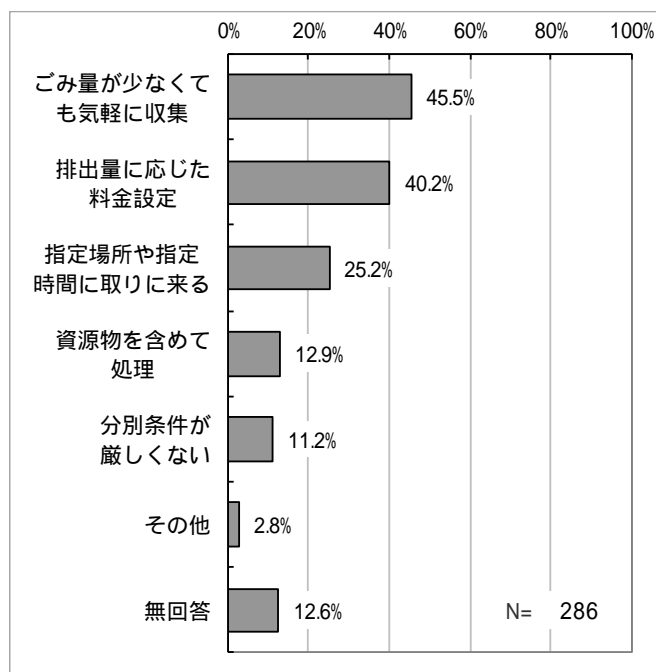
### 廃棄物処理業者への委託条件

問 2 (6) 仮に、処理業者に委託をする場合、サービス面でどのようなことを期待しますか。  
(複数回答)

廃棄物処理業者への委託条件としては、「ごみ量が少なくても気軽に収集」が 45.5%と最も多く、次いで「排出量に応じた料金設定」40.2%、「指定場所や指定時間に取りに来る」25.2%などとなっており、前回平成 26 年度調査と同様の傾向となっている。

図表 3-22 廃棄物処理業者への委託条件

項目	回答数	割合
ごみの量が少なくても気軽に収集に応じてくれること	130	45.5%
排出する量に応じて処理料金が設定されること	115	40.2%
こちらの指定場所や指定時間に収集に来てくれること	72	25.2%
資源物も含めて処理してくれること	37	12.9%
分別条件が厳しくないこと	32	11.2%
その他	8	2.8%
無回答	36	12.6%
全体回答者数	286	

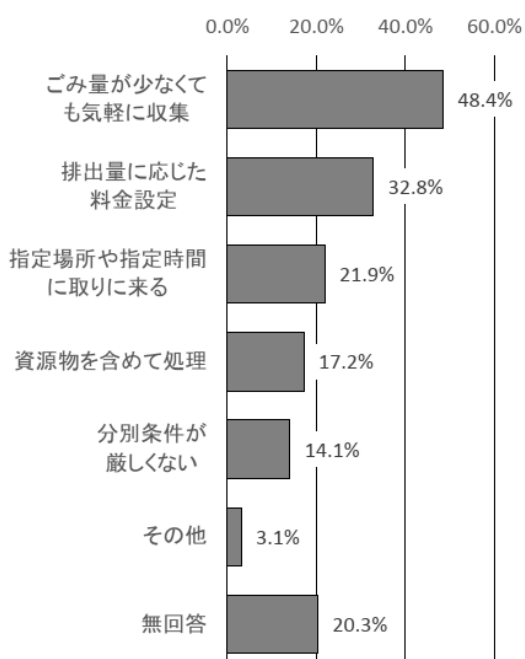


#### 【その他の内容】

- ごみが出ないので該当しないなど

図表 3-23 廃棄物処理業者への委託条件（前回アンケート調査）

選択肢	票数	割合
ごみの量が少なくても気軽に収集に応じてくれること	31	48.4%
排出する量に応じて処理料金が設定されること	21	32.8%
こちらの指定場所や指定時間に収集に来てくれること	14	21.9%
資源物も含めて処理してくれること	11	17.2%
分別条件が厳しくないこと	9	14.1%
その他	2	3.1%
無回答	13	20.3%
全体	64	100.0%



#### 【その他の主な意見】

- 安全確実に処理をしてくれること

(3) ごみ減量について

ごみ減量の余地の有無

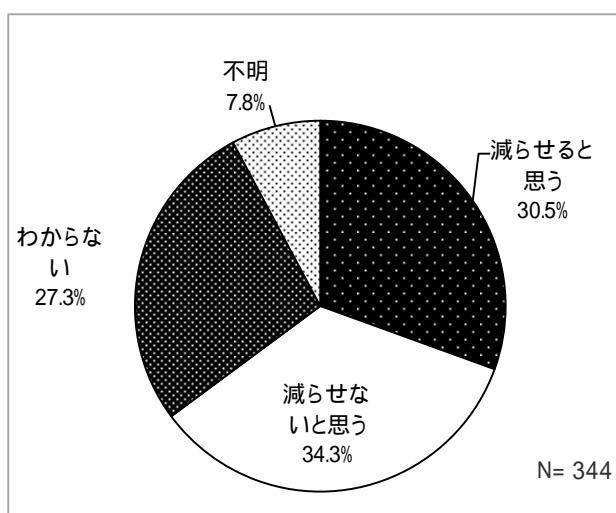
問3(1) 貴事業所から排出するごみの量について、今後減らす余地があると思いますか。

問3からは、再び全事業所を対象とした質問となる。

ごみ減量の余地については、「減らせないと思う」34.3%が、「減らせると思う」30.5%をわずかに上回っており、前回平成26年度調査と同様の傾向となっている。

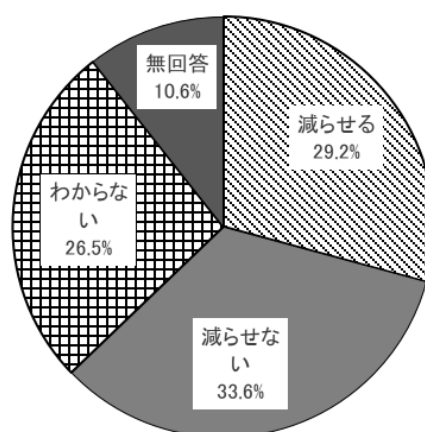
図表 3-24 ごみ減量の余地の有無

選択肢	回答数	割合
減らせると思う	105	30.5%
減らせないと思う	118	34.3%
わからない	94	27.3%
不明	27	7.8%
合計	344	100.0%



図表 3-25 ごみ減量の余地の有無（前回アンケート調査）

選択肢名	票数	割合
1 減らせる	33	29.2%
2 減らせない	38	33.6%
3 わからない	30	26.5%
無回答	12	10.6%
全体	113	100.0%



### リサイクル可能な資源

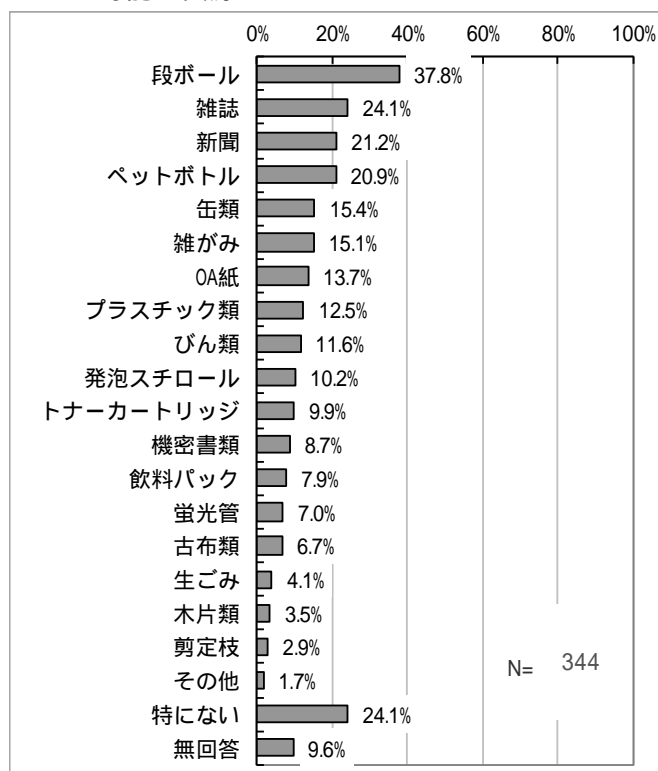
問 3(2) 貴事業所がごみとして捨てているものの中で、リサイクルルートがあればリサイクルできると考えられるものはありますか。(複数回答)

「段ボール」が37.8%、「雑誌」24.1%、「新聞」21.2%など、前回平成26年度調査と概ね同様の傾向となっている。

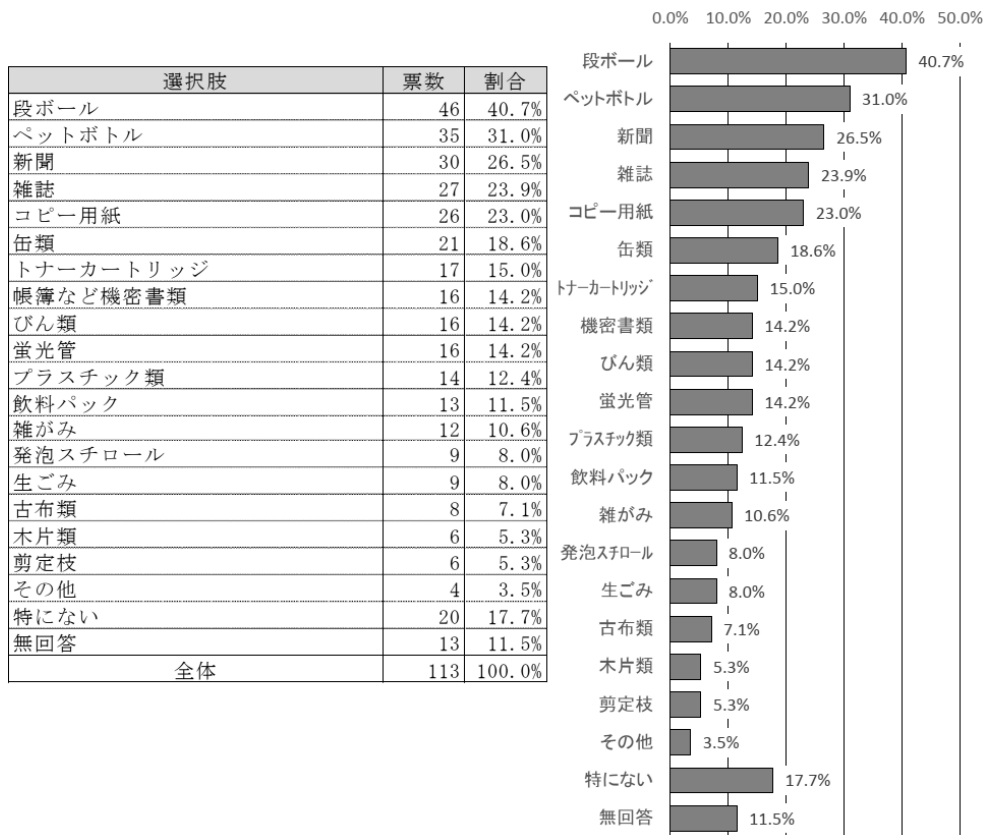
ただし、前回調査と異なり、今回は区収集にごみを出している比較的小規模な事業者が対象となっているため、全体的な比率は前回調査よりも低くなっている。

図表 3-26 リサイクル可能な資源

項目	回答数	割合
段ボール	130	37.8%
雑誌	83	24.1%
新聞	73	21.2%
ペットボトル	72	20.9%
缶類	53	15.4%
雑がみ	52	15.1%
OA紙	47	13.7%
プラスチック類	43	12.5%
びん類	40	11.6%
発泡スチロール	35	10.2%
トナーカートリッジ	34	9.9%
機密書類	30	8.7%
飲料パック	27	7.9%
蛍光管	24	7.0%
古布類	23	6.7%
生ごみ	14	4.1%
木片類	12	3.5%
剪定枝	10	2.9%
その他	6	1.7%
特にない	83	24.1%
無回答	33	9.6%
全体回答者数	344	



図表 3-27 リサイクル可能な資源（前回アンケート調査）



今回調査における属性別のクロス集計結果を図表 3-28 に示す。

業種別に見ると、「建設・製造業」が新聞、雑誌、段ボール、OA紙といった古紙類を挙げる比率が高くなっている。

また、飲食店で「生ごみ」を挙げている比率は32件中5件(15.6%)である。

図表 3-28 リサイクル可能な資源(属性別のクロス集計結果)

	合計	問3(2) リサイクル可能な資源										
		新聞	雑誌	段ボール	OA紙	機密書類	雑がみ	飲料パック	古布類	プラスチック類	ペットボトル	
全体	344 (100%)	73 (21.2%)	83 (24.1%)	130 (37.8%)	47 (13.7%)	30 (8.7%)	52 (15.1%)	27 (7.8%)	23 (6.7%)	43 (12.5%)	72 (20.9%)	
業種	建設・製造業	62 (100%)	19 (30.6%)	20 (32.3%)	31 (50.0%)	14 (22.6%)	9 (14.5%)	13 (21.0%)	7 (11.3%)	5 (8.1%)	8 (12.9%)	19 (30.6%)
	卸・小売業	53 (100%)	12 (22.6%)	13 (24.5%)	19 (35.8%)	5 (9.4%)	2 (3.8%)	7 (13.2%)	5 (9.4%)	4 (7.5%)	7 (13.2%)	8 (15.1%)
	飲食店	32 (100%)	8 (25.0%)	6 (18.8%)	15 (46.9%)	1 (3.1%)	0 (0.0%)	4 (12.5%)	6 (18.8%)	2 (6.3%)	7 (21.9%)	12 (37.5%)
	サービス業等	190 (100%)	32 (16.8%)	42 (22.1%)	63 (33.2%)	24 (12.6%)	19 (10.0%)	25 (13.2%)	8 (4.2%)	10 (5.3%)	19 (10.0%)	31 (16.3%)
建物形態	一社占有	53 (100%)	12 (22.6%)	14 (26.4%)	18 (34.0%)	7 (13.2%)	4 (7.5%)	11 (20.8%)	5 (9.4%)	3 (5.7%)	7 (13.2%)	7 (13.2%)
	共同ビル等	162 (100%)	29 (17.9%)	37 (22.8%)	64 (39.5%)	18 (11.1%)	14 (8.6%)	21 (13.0%)	15 (9.3%)	8 (4.9%)	17 (10.5%)	40 (24.7%)
	住居併用	118 (100%)	30 (25.4%)	29 (24.6%)	44 (37.3%)	20 (16.9%)	11 (9.3%)	17 (14.4%)	7 (5.9%)	10 (8.5%)	16 (13.6%)	21 (17.8%)
従業者数	1~4人	222 (100%)	48 (21.6%)	52 (23.4%)	79 (35.6%)	27 (12.2%)	20 (9.0%)	29 (13.1%)	15 (6.8%)	14 (6.3%)	27 (12.2%)	33 (14.9%)
	5~9人	60 (100%)	11 (18.3%)	15 (25.0%)	26 (43.3%)	7 (11.7%)	6 (10.0%)	8 (13.3%)	7 (11.7%)	5 (8.3%)	5 (8.3%)	19 (31.7%)
	10人以上	50 (100%)	11 (22.0%)	14 (28.0%)	23 (46.0%)	11 (22.0%)	4 (8.0%)	13 (26.0%)	5 (10.0%)	3 (6.0%)	9 (18.0%)	18 (36.0%)

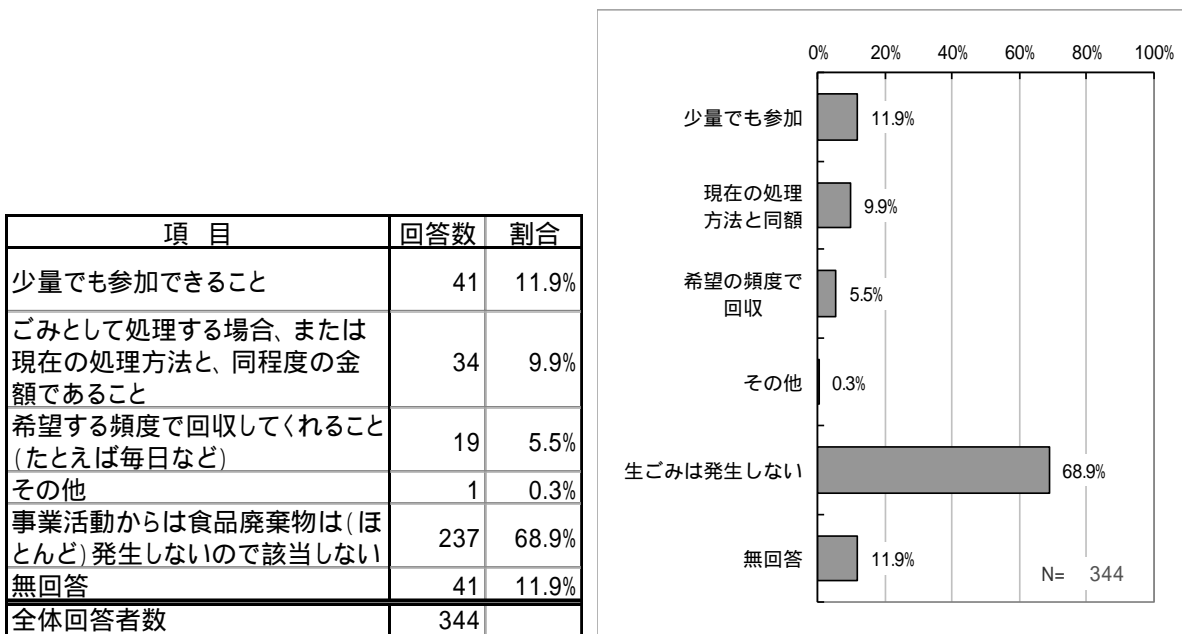
		問3(2) リサイクル可能な資源									
		発泡スチロール	びん類	缶類	木片類	生ごみ	剪定枝	トナーカートリッジ	蛍光管	その他	特にない
全体		35 (10.2%)	40 (11.6%)	53 (15.4%)	12 (3.5%)	14 (4.1%)	10 (2.9%)	34 (9.9%)	24 (7.0%)	6 (1.7%)	83 (24.1%)
業種	建設・製造業	8 (12.9%)	10 (16.1%)	14 (22.6%)	5 (8.1%)	3 (4.8%)	2 (3.2%)	11 (17.7%)	6 (9.7%)	1 (1.6%)	13 (21.0%)
	卸・小売業	5 (9.4%)	5 (9.4%)	8 (15.1%)	2 (3.8%)	1 (1.9%)	2 (3.8%)	3 (5.7%)	6 (11.3%)	2 (3.8%)	13 (24.5%)
	飲食店	6 (18.8%)	8 (25.0%)	11 (34.4%)	2 (6.3%)	5 (15.6%)	1 (3.1%)	1 (3.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (25.0%)
	サービス業等	14 (7.4%)	15 (7.9%)	18 (9.5%)	2 (1.1%)	5 (2.6%)	4 (2.1%)	19 (10.0%)	12 (6.3%)	2 (1.1%)	49 (25.8%)
建物形態	一社占有	7 (13.2%)	5 (9.4%)	8 (15.1%)	1 (1.9%)	4 (7.5%)	4 (7.5%)	4 (7.5%)	5 (9.4%)	1 (1.9%)	8 (15.1%)
	共同ビル等	11 (6.8%)	22 (13.6%)	28 (17.3%)	3 (1.9%)	5 (3.1%)	4 (2.5%)	16 (9.9%)	10 (6.2%)	5 (3.1%)	39 (24.1%)
	住居併用	16 (13.6%)	11 (9.3%)	15 (12.7%)	8 (6.8%)	5 (4.2%)	2 (1.7%)	13 (11.0%)	9 (7.6%)	0 (0.0%)	34 (28.8%)
従業者数	1~4人	20 (9.0%)	20 (9.0%)	26 (11.7%)	7 (3.2%)	9 (4.1%)	5 (2.3%)	20 (9.0%)	15 (6.8%)	3 (1.4%)	56 (25.2%)
	5~9人	7 (11.7%)	11 (18.3%)	12 (20.0%)	2 (3.3%)	0 (0.0%)	2 (3.3%)	7 (11.7%)	4 (6.7%)	2 (3.3%)	16 (26.7%)
	10人以上	6 (12.0%)	8 (16.0%)	14 (28.0%)	3 (6.0%)	5 (10.0%)	3 (6.0%)	7 (14.0%)	5 (10.0%)	1 (2.0%)	9 (18.0%)

(4) 食品リサイクルについて

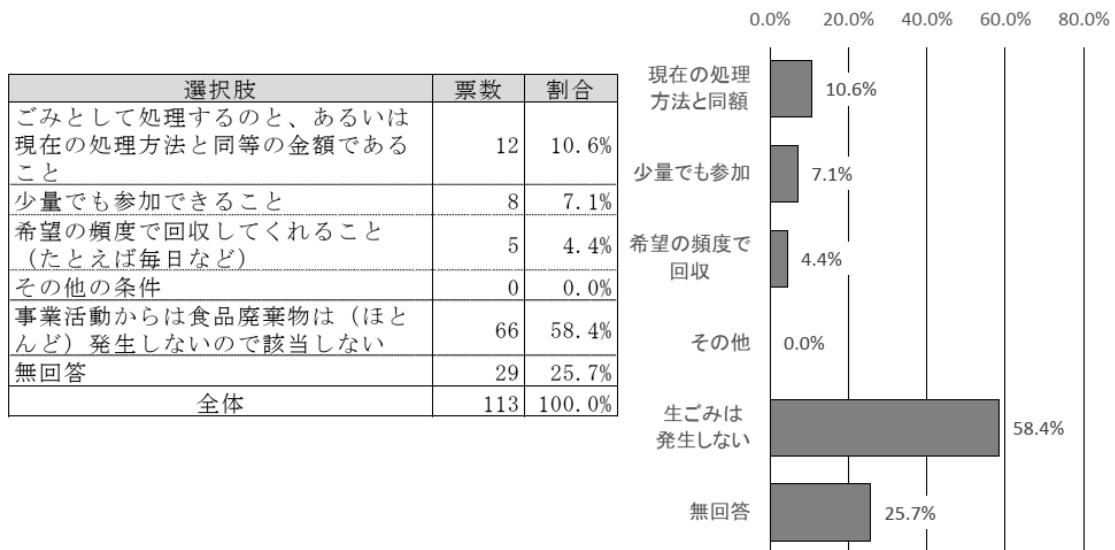
問4 令和元年5月に「食品ロス削減推進法」が公布され、食品廃棄物について関心が高まっています。現在、中野区内にも飲食店や小売店などから出される食品廃棄物についていくつかの民間ルートがあります。貴社ではどのような条件が整えばこうしたルートを活用することを考えますか。

本問は業種を限定せずに質問したため、「生ごみは発生しない」が最も多くなっているが、その他の項目では、「少量でも参加できること」11.9%、「現状の処理方法と同額」9.9%などとなっている。

図表 3-29 食品リサイクルの民間ルート活用の条件



図表 3-30 食品リサイクルの民間ルート活用の条件（前回アンケート調査）



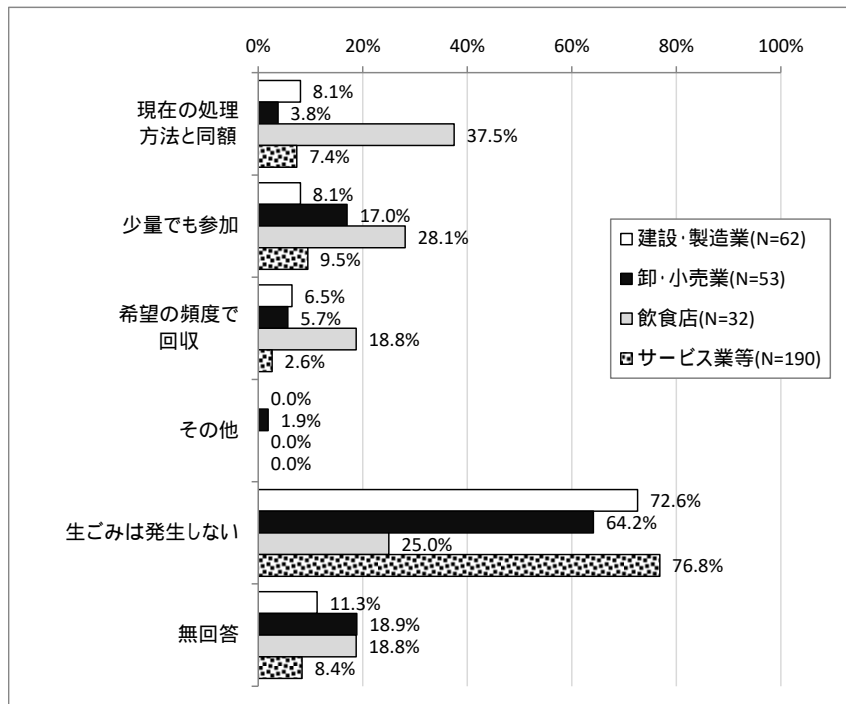
今回調査における業種別クロス集計結果を図表 3-31 に示す。

飲食店は 32 件とサンプルが少ないため参考値となるが、「現在の処理方法と同額」が 37.5%、「少量でも参加可能」28.1%、「希望の頻度で回収」18.8%などとなっている。

図表 3-31 食品リサイクルの民間ルート活用の条件（属性別のクロス集計結果）

		合計	問4 食品リサイクルの民間ルート活用の条件					無回答
			現在の処理方法と同額	少量でも参加	希望の頻度で回収	その他	生ごみは発生しない	
全体		344 (100%)	34 (9.9%)	41 (11.9%)	19 (5.5%)	1 (0.3%)	237 (68.9%)	41 (11.9%)
業種	建設・製造業	62 (100%)	5 (8.1%)	5 (8.1%)	4 (6.5%)	0 (0.0%)	45 (72.6%)	7 (11.3%)
	卸・小売業	53 (100%)	2 (3.8%)	9 (17.0%)	3 (5.7%)	1 (1.9%)	34 (64.2%)	10 (18.9%)
	飲食店	32 (100%)	12 (37.5%)	9 (28.1%)	6 (18.8%)	0 (0.0%)	8 (25.0%)	6 (18.8%)
	サービス業等	190 (100%)	14 (7.4%)	18 (9.5%)	5 (2.6%)	0 (0.0%)	146 (76.8%)	16 (8.4%)
建物形態	一社占有	53 (100%)	3 (5.7%)	6 (11.3%)	2 (3.8%)	0 (0.0%)	37 (69.8%)	8 (15.1%)
	共同ビル等	162 (100%)	22 (13.6%)	23 (14.2%)	12 (7.4%)	1 (0.6%)	111 (68.5%)	13 (8.0%)
	住居併用	118 (100%)	7 (5.9%)	11 (9.3%)	3 (2.5%)	0 (0.0%)	82 (69.5%)	19 (16.1%)
従業者数	1～4人	222 (100%)	18 (8.1%)	27 (12.2%)	13 (5.9%)	0 (0.0%)	151 (68.0%)	32 (14.4%)
	5～9人	60 (100%)	6 (10.0%)	5 (8.3%)	2 (3.3%)	0 (0.0%)	43 (71.7%)	6 (10.0%)
	10人以上	50 (100%)	7 (14.0%)	6 (12.0%)	2 (4.0%)	1 (2.0%)	36 (72.0%)	2 (4.0%)

図表 3-32 食品リサイクルの民間ルート活用の条件（業種別）



(5) 事業系古紙について

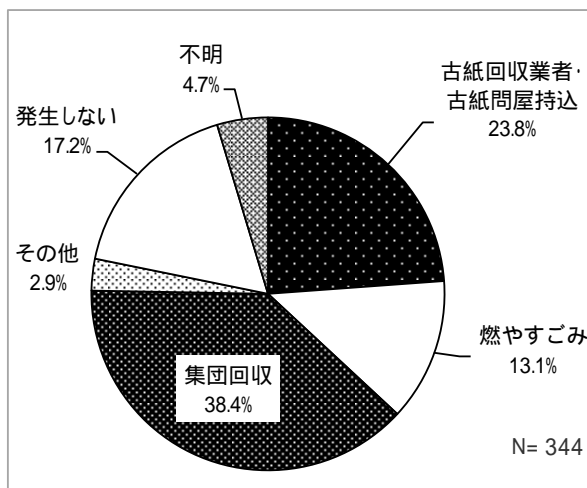
古紙類の処分方法

問 5(1) 古紙類はどのように処分していますか。

古紙類の処分方法で最も多いのは、「集団回収」で 38.4%、次いで「古紙回収業者等」が 23.8%となっている。「燃やすごみに出す」は 13.1%であった。

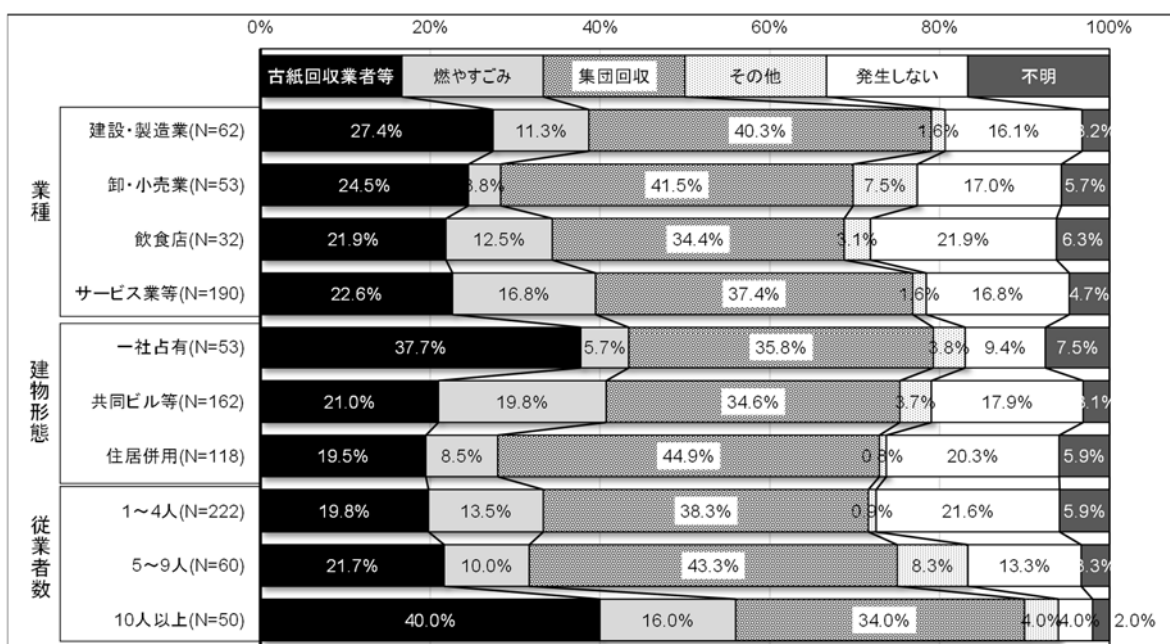
図表 3-33 古紙類の処分方法

選択肢	回答数	割合
古紙回収業者・古紙問屋持込	82	23.8%
燃やすごみ	45	13.1%
集団回収	132	38.4%
その他	10	2.9%
発生しない	59	17.2%
不明	16	4.7%
合計	344	100.0%



属性別のクロス集計結果(図表 3-34)を見ると、業種別では飲食店、サービス業が「燃やすごみに出す」という回答が多くなっている。建物形態では「共同ビル」が「燃やすごみに出す」という回答の割合が 19.8%と多くなっている。

図表 3-34 古紙類の処分方法(属性別のクロス集計結果)





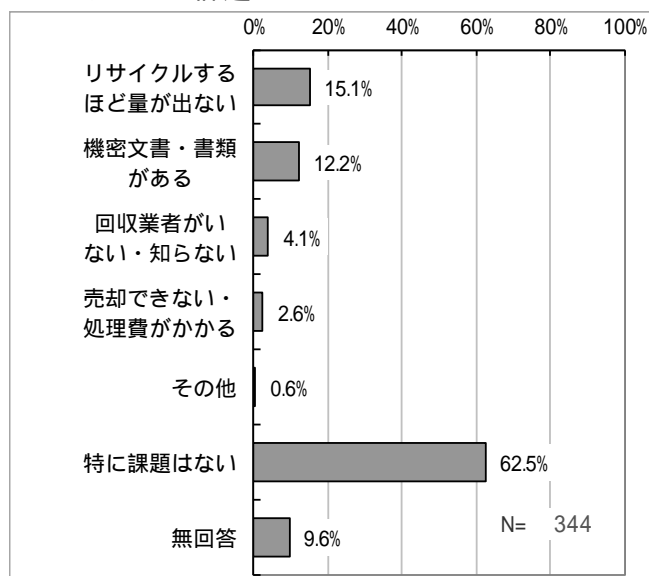
### 古紙リサイクル上の課題

問5(2) 古紙のリサイクルを進める上で困っていることはありますか。(複数回答)

古紙リサイクルを進める上での課題を聞いたところ、「特に課題はない」が62.5%と最も多く、次いで「リサイクルするほど量が出ない」15.1%、「機密文書・書類がある」12.2%などとなっている。

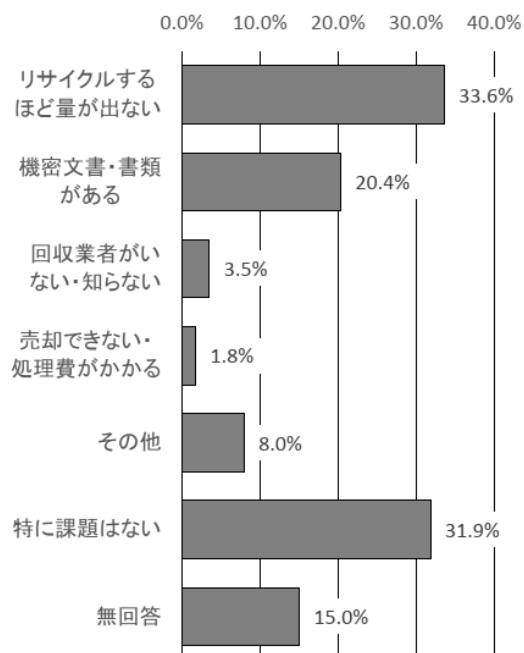
図表 3-35 古紙リサイクル上の課題

項目	回答数	割合
リサイクルするほど量が出ない	52	15.1%
機密文書・書類があり取り扱いにくい	42	12.2%
回収業者がない・回収業者を知らない	14	4.1%
売却できない・処理費がかかる	9	2.6%
その他	2	0.6%
特に課題はない	215	62.5%
無回答	33	9.6%
全体回答者数	344	



図表 3-36 古紙リサイクル上の課題（前回アンケート調査）

選択肢	票数	割合
リサイクルするほど量が出ない	38	33.6%
機密文書・書類があり取り扱いにくい	23	20.4%
回収業者がない・回収業者を知らない	4	3.5%
売却できない・処理費がかかる	2	1.8%
その他	9	8.0%
特に課題はない	36	31.9%
無回答	17	15.0%
全体	113	100.0%



【その他の主な意見】

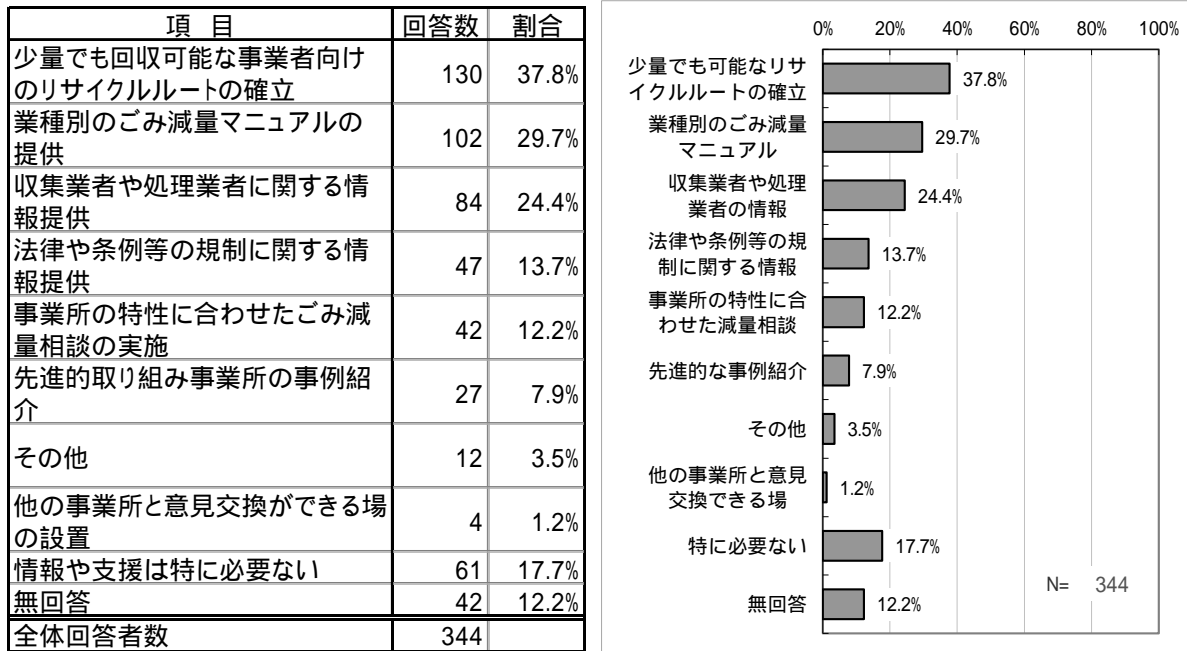
- 溜めておく場所がない

(6) 必要な情報や支援

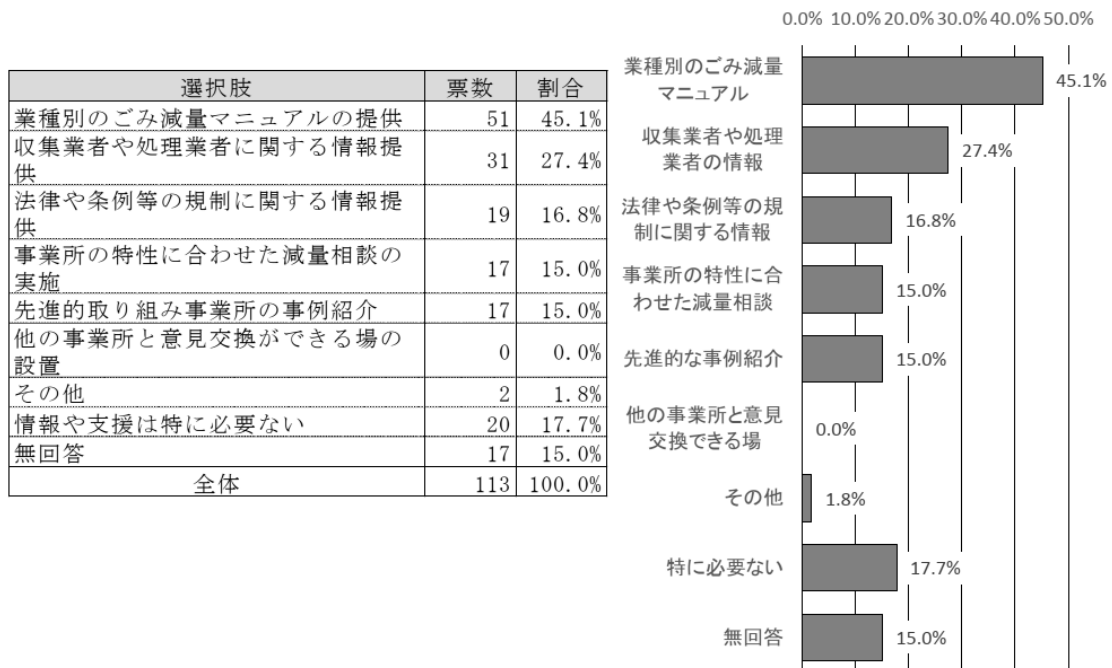
問6 ごみの減量を進めるためにどのような情報や支援が必要だと思いますか。  
(複数回答)

「少量でも回収可能な事業者向けのリサイクルルートの確立」が37.8%と最も多く、次いで「業種別のごみ減量マニュアル」29.7%、「収集業者や処理業者の情報」24.4%などとなっている。

図表 3-37 必要な情報や支援



図表 3-38 必要な情報や支援（前回アンケート調査）



今回調査における属性別のクロス集計結果は下表のとおりである。

「少量でも回収可能なリサイクルルートの確立」は、「共同ビル」や「従業員 10 人以上の事業所」で要望が高くなっている。

また、「業種別のごみ減量マニュアル」は、業種では「飲食店」、建物形態では「一社占有」、従業員規模では「10 人以上の事業所」で要望が高くなっている。

図表 3-39 必要な情報や支援（属性別のクロス集計結果）

		合計	問5(2) 古紙リサイクル上の課題									
			業種別のごみ減量マニュアル	法律や条例等の規制に関する情報	収集業者や処理業者の情報	事業所の特性に合わせた減量相談	先進的な事例紹介	他の事業所と意見交換できる場	少量でも可能なリサイクルルートの確立	特に必要ない	その他	無回答
全体		344 (100%)	102 (29.7%)	47 (13.7%)	84 (24.4%)	42 (12.2%)	27 (7.8%)	4 (1.2%)	130 (37.8%)	61 (17.7%)	12 (3.5%)	42 (12.2%)
業種	建設・製造業	62 (100%)	17 (27.4%)	7 (11.3%)	15 (24.2%)	6 (9.7%)	5 (8.1%)	0 (0.0%)	26 (41.9%)	7 (11.3%)	2 (3.2%)	14 (22.6%)
	卸・小売業	53 (100%)	10 (18.9%)	6 (11.3%)	11 (20.8%)	6 (11.3%)	6 (11.3%)	0 (0.0%)	20 (37.7%)	12 (22.6%)	3 (5.7%)	8 (15.1%)
	飲食店	32 (100%)	12 (37.5%)	6 (18.8%)	6 (18.8%)	3 (9.4%)	2 (6.3%)	0 (0.0%)	12 (37.5%)	3 (9.4%)	2 (6.3%)	4 (12.5%)
	サービス業等	190 (100%)	63 (33.2%)	28 (14.7%)	52 (27.4%)	27 (14.2%)	14 (7.4%)	4 (2.1%)	71 (37.4%)	38 (20.0%)	4 (2.1%)	12 (6.3%)
建物形態	一社占有	53 (100%)	22 (41.5%)	7 (13.2%)	13 (24.5%)	6 (11.3%)	6 (11.3%)	0 (0.0%)	20 (37.7%)	10 (18.9%)	2 (3.8%)	5 (9.4%)
	共同ビル等	162 (100%)	53 (32.7%)	26 (16.0%)	43 (26.5%)	20 (12.3%)	16 (9.9%)	3 (1.9%)	73 (45.1%)	28 (17.3%)	6 (3.7%)	9 (5.6%)
	住居併用	118 (100%)	25 (21.2%)	14 (11.9%)	27 (22.9%)	15 (12.7%)	5 (4.2%)	1 (0.8%)	35 (29.7%)	22 (18.6%)	4 (3.4%)	22 (18.6%)
従業員数	1～4人	222 (100%)	58 (26.1%)	28 (12.6%)	45 (20.3%)	26 (11.7%)	15 (6.8%)	3 (1.4%)	84 (37.8%)	44 (19.8%)	8 (3.6%)	32 (14.4%)
	5～9人	60 (100%)	19 (31.7%)	10 (16.7%)	22 (36.7%)	6 (10.0%)	5 (8.3%)	0 (0.0%)	22 (36.7%)	9 (15.0%)	1 (1.7%)	3 (5.0%)
	10人以上	50 (100%)	22 (44.0%)	9 (18.0%)	16 (32.0%)	8 (16.0%)	7 (14.0%)	1 (2.0%)	22 (44.0%)	6 (12.0%)	3 (6.0%)	2 (4.0%)

## 第4章 ごみ組成分析調査

### 1 調査概要

#### (1) 調査目的

本調査は区内の家庭から排出された燃やすごみと陶器・ガラス・金属ごみの組成を調査することにより、分別状況や排出割合を分析し、一般廃棄物処理基本計画の改定及び今後の排出指導や新たなごみ減量施策を検討する基礎資料とすることを目的に実施した。

#### (2) 調査の対象地域及び期間

調査対象には、住居形態の特性に基づいて、家族向け集合住宅の多い地域、単身者向け集合住宅の多い地域、戸建住宅の多い地域、戸建住宅の多い地域の戸別収集、商業地域の5つに区分して、それぞれの区分から2地域ずつ合計10地域を選定し、各集積所に排出される燃やすごみ、陶器・ガラス・金属ごみを対象とした。なお、事業系有料ごみ処理券が貼付されているもの及び明らかに事業系と判断できるごみについては、家庭ごみとは分けて分析を行った。

調査期間は、令和元年12月2日(月)から14日(土)までのうち、12月8日(日)を除く12日間とした。

図表 4-1 調査対象地域及び調査日程

収集区分	地域特性	町丁名	日時	
燃やすごみ	家族向け集合住宅の多い地域	中野6丁目	12月2日(月)	12月5日(木)
		新井2丁目	12月3日(火)	12月6日(金)
	単身者向け住宅の多い地域	東中野2丁目	12月2日(月)	12月5日(木)
		本町2丁目	12月9日(月)	12月12日(木)
	戸建住宅の多い地域	鷺宮5丁目	12月3日(火)	12月6日(金)
		弥生町5丁目	12月4日(水)	12月7日(土)
	戸建住宅の多い地域の戸別収集	鷺宮6丁目	12月10日(火)	12月13日(金)
		沼袋4丁目	12月7日(土)	12月11日(水)
商業地域	鷺宮3丁目	12月10日(火)	12月13日(金)	
		本町4丁目	12月9日(月)	12月12日(木)
陶器・ガラス・金属ごみ	家族向け集合住宅の多い地域	中野6丁目	12月13日(金)	
		新井2丁目	12月14日(土)	
	単身者向け住宅の多い地域	東中野2丁目	12月3日(火)	
		本町2丁目	12月10日(火)	
	戸建住宅の多い地域	鷺宮5丁目	12月11日(水)	
		弥生町5丁目	12月5日(木)	
	戸建住宅の多い地域の戸別収集	鷺宮6丁目	12月11日(水)	
		沼袋4丁目	12月9日(月)	
商業地域	鷺宮3丁目	12月4日(水)		
		本町4丁目	12月6日(金)	

### (3) 調査内容

調査地域から、燃やすごみ 100kg、陶器・ガラス・金属ごみ 50kg を目安に回収した。回収したごみは、組成分類項目に従い 60 種に分別した。分析したサンプル量は、燃やすごみが家庭ごみ 2,180.60kg、事業系ごみ 224.65kg、小計 2,405.25kg、陶器・ガラス・金属ごみが家庭ごみ 762.24kg、事業系ごみ 62.44kg、小計 824.68kg、合計 3,229.93kg を分析した。なお、事業系ごみについては、サンプル量が少ないため、参考値として調査結果のみを掲載した。

図表 4-2 サンプル量

		家庭ごみ		事業系ごみ		燃やすごみ小計	陶器・ガラス・金属ごみ小計	合計
		燃やすごみ	陶器・ガラス・金属ごみ	燃やすごみ	陶器・ガラス・金属ごみ			
家族向け集合住宅の多い地域	中野6丁目	221.83	87.01	8.06		229.89	87.01	316.90
	新井2丁目	222.89	85.44			222.89	85.44	308.33
単身者向け住宅の多い地域	東中野2丁目	220.27	57.96	24.02	35.96	244.29	93.92	338.21
	本町2丁目	191.49	48.55			191.49	48.55	240.04
戸建住宅の多い地域	鷺宮5丁目	215.62	102.21			215.62	102.21	317.83
	弥生町5丁目	201.55	75.27			201.55	75.27	276.82
戸建住宅の多い地域の戸別収集	鷺宮6丁目	229.67	79.96			229.67	79.96	309.63
	沼袋4丁目	239.32	85.04			239.32	85.04	324.36
商業地域	鷺宮3丁目	203.64	39.03	98.11	15.39	301.75	54.42	356.17
	本町4丁目	234.32	101.77	94.46	11.09	328.78	112.86	441.64
合計		2,180.60	762.24	224.65	62.44	2,405.25	824.68	3,229.93

### (4) 分析場所

中野区清掃事務所南中野事業所

### (5) 調査方法

調査は下記の手順で行った。調査結果を基に組成割合、分別適合割合を算定した。

ごみの受け入れ：集積所で採取したごみの受入

事業系ごみの抽出：事業系有料ごみ処理券が貼付されているもしくは事業系と判断できるごみを抽出

簡易縮分：燃やすごみ 100kg、陶器・ガラス・金属ごみ 50kg を目安に縮分

組成分析：破袋して全量を分類項目（図表 4-3）に従って分類

組成ごとの重量測定：分類項目ごとに重量測定

サンプルの廃棄：区の分別区分に従い分別後に処分

外袋とは、ごみを排出するために使用したレジ袋やポリ袋のことである。外袋については、袋回収を実施しているために必然的に使用されるものであることから「ごみ排出時外装」として区分した。

図表 4-3 分類項目

No	大分類	中分類	細分類	代表品目	資源化可能物	
1	燃やすごみ	厨芥類	未使用食品	未開封の食品、賞味期限切れの食品等		
2			調理くず、残飯等	生ごみ、コーヒーかす等		
3		紙類	容器包装	段ボール	ボール紙製の緩衝芯のあるもの	
4				紙バック	牛乳、ジュースなどのバックで内側にアルミが貼っていないもの	
5				紙製容器	菓子箱、ボール箱等	
6				紙製包装	紙袋、包装紙等	
7			以外包装	新聞紙・チラシ	きれいなもの	
8				雑誌・書籍類	週刊誌、月刊誌、パンフレット、ノート等	
9				雑がみ	ダイレクトメール、はがきなど名刺以上のリサイクル可能紙類	
10				オフィス系紙類	コピー用紙、伝票などの事業所から出された紙類のみ	
11				その他紙類	ティッシュペーパー、写真、感熱紙、汚れがあるもの、臭いのついたものなど	
12				草木類	剪定枝・落ち葉	
13		その他草木類	木箱、割りばし、麻ひも、コルク等			
14		繊維類		古着、シャツ、セーター、タオル等		
15		紙おむつ類		紙おむつ、生理用品		
16		プラスチック製品		プラスチックのおもちゃ、CDケース、歯ブラシ、プランターなど		
17		汚れのあるプラスチック製容器包装		プラスチック製容器包装のうち、油などの汚れがあるもの(容器包装が中身の付着でべつしている、強い異臭がある、複数の容器包装が中身により固まっている状態)		
18		ゴム・皮革類		かばん、靴、ベルト等(合成樹脂は除く)		
19		その他可燃物		たばこの吸殻、湿布、乾燥剤、紙製のペットの砂等		
20	プラスチック製容器包装	容器包装	ペットボトル	飲料・酒、醤油等のペットボトル		
21			その他ボトル	シャンプー、洗剤、調味料などのボトル等		
22			チューブ	マヨネーズ、歯磨き粉などの容器		
23			発泡トレイ(白)	発泡系トレイ(白色のみ)		
24			その他発泡トレイ(色・柄)	発泡系トレイ(色・柄付き)		
25			発泡スチロール			
26			カップ	カップめんの容器等		
27			レジ袋(内袋)	ごみを入れる内袋として利用されるレジ袋等		
28			レジ袋(ごみ)	ごみとして出されたレジ袋等		
29			その他容器	弁当、卵パック、惣菜等を入れる透明ビニール袋、ペットボトルのキャップ等		
30			その他包装	包装袋、ラップ、フィルム、ペットボトルのラベル等		
31	半透明・不透明の袋	洋服店でもらう袋などレジ袋以外の袋				
32	陶器・ガラス・金属ごみ	陶磁器				
33		金属類	容器	アルミ缶	アルミ製の飲食缶	
34			装器	スチール缶	スチール製の飲食缶	
35			包	その他の金属容器	塗料の缶、自動車オイルの缶、一斗缶等の大きな缶等	
36			金属製調理用品	なべ、やかん類		
37		その他金属製品	ハンガー、アルミ箔等			
38		びん	容器包装	リターナブルびん	一升びん、ビールびん等	
39				無色雑びん		
40				茶色雑びん		
41				その他色雑びん		
42				薬品等のびん		
43				化粧品等のびん		
44		土砂・残土・灰・石類				
45	有害・危険物		蛍光管			
46			乾電池(筒型)			
47			乾電池(ボタン電池・二次電池)			
48			体温計・温度計			
49			スプレー缶(中身あり)			
50			スプレー缶(中身なし)			
51			使い捨てライター(中身あり)			
52	使い捨てライター(中身なし)					
53	インクカートリッジ					
54	小型家電製品(9品目)		携帯電話、携帯音楽プレーヤー、携帯ゲーム機器、デジタルカメラ、ポータブルビデオカメラ、ポータブルカーナビ、電子辞書、卓上計算機、ACアダプター・コード類			
55	小型家電製品(9品目以外)					
56	医療系廃棄物					
57	その他不燃物		かさ、携帯用カイロ、ガラス製品、植木鉢、ペット砂等			
58	ごみ排出時外装	レジ袋				
59		プラスチック製の袋(レジ袋以外)				
60		その他				

## 2 燃やすごみの調査結果

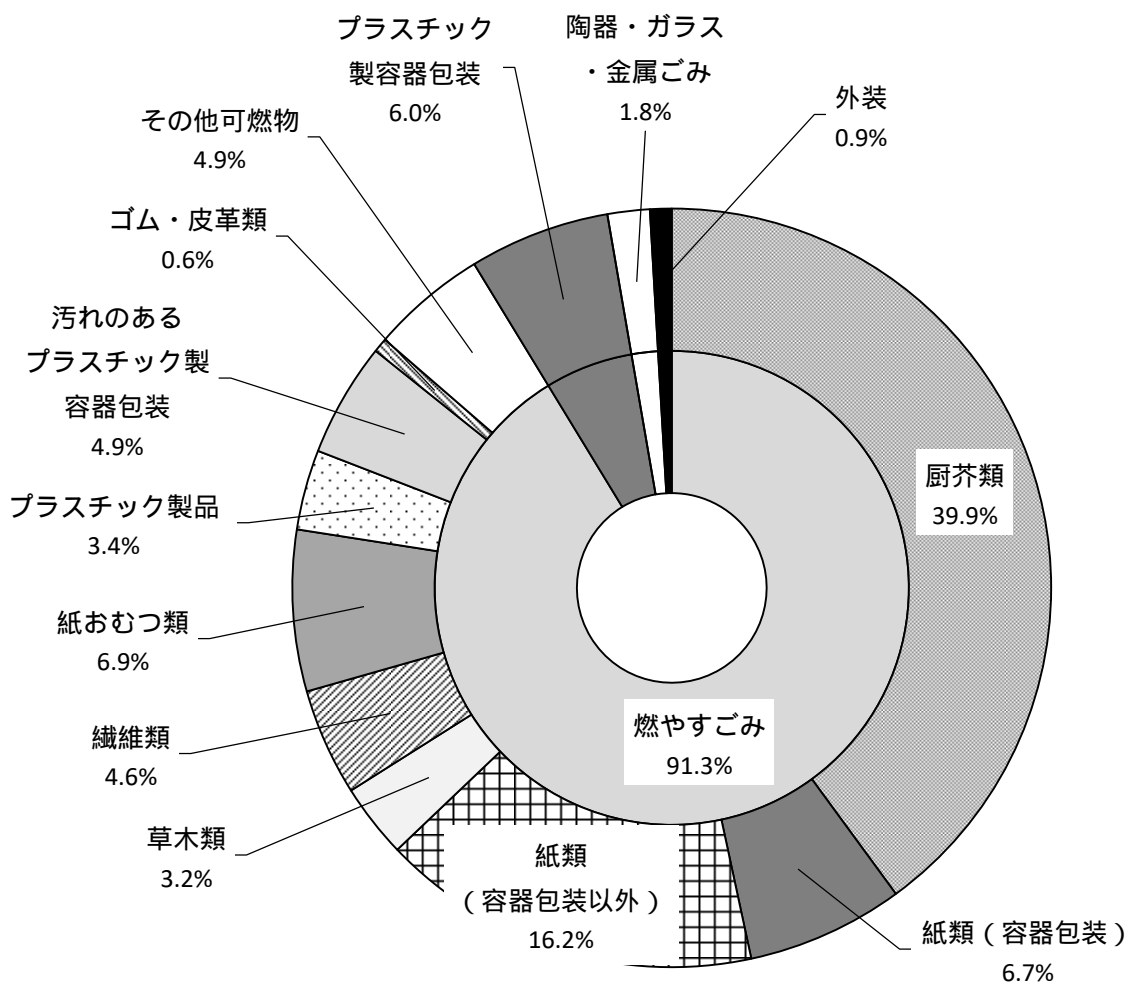
### (1) 組成割合

全体

大分類では「燃やすごみ」が91.3%、「プラスチック製容器包装」が6.0%、「陶器・ガラス・金属ごみ」が1.8%、「外装」が0.9%である。

「燃やすごみ」の内訳では、「厨芥類」が最も多く39.9%、次いで、「紙類（容器包装以外）」（16.2%）、「紙おむつ類」（6.9%）、「プラスチック製容器包装」（6.0%）、「汚れのあるプラスチック製容器包装」（4.9%）の順で多かった。

図表 4-4 燃やすごみの組成（中分類）



図表 4-5 地域特性別の燃やすごみの組成（細分類）

No	大分類	中分類	細分類	家族向け集合住宅の多い地域	単身者向け集合住宅の多い地域	戸建住宅の多い地域	戸建住宅の多い地域の戸別収集	商業地域	全体	
1	燃やすごみ	厨芥類	未使用食品	3.2%	4.3%	3.4%	5.1%	2.7%	3.7%	
2			調理くず、残飯等	41.7%	32.4%	35.4%	37.4%	33.7%	36.2%	
3		紙類	容器包装	段ボール	0.6%	2.4%	1.5%	0.6%	1.5%	1.3%
4				紙パック	0.5%	0.9%	0.9%	0.8%	0.7%	0.7%
5			紙製容器	3.5%	3.7%	3.2%	2.5%	4.0%	3.4%	
6			紙製包装	1.2%	1.6%	1.0%	1.1%	1.6%	1.3%	
7			容器包装	新聞紙・チラシ	1.3%	3.8%	3.2%	2.4%	2.1%	2.5%
8				雑誌・書籍類	2.4%	4.5%	3.2%	2.9%	4.6%	3.5%
9				雑がみ	2.7%	3.0%	2.7%	2.8%	2.8%	2.8%
10				オフィス系紙類	0.6%	0.7%	0.5%	0.7%	0.8%	0.7%
11				その他紙類	6.6%	7.6%	4.4%	7.5%	7.5%	6.7%
12			草木類	剪定枝・落ち葉	0.6%	1.1%	6.6%	2.7%	0.5%	2.3%
13				その他草木類	1.6%	0.8%	0.7%	0.6%	0.8%	0.9%
14		繊維類		5.2%	4.6%	2.1%	3.6%	7.3%	4.6%	
15		紙おむつ類		7.9%	3.0%	9.9%	8.5%	4.8%	6.9%	
16		プラスチック製品		4.0%	3.0%	2.0%	3.7%	4.2%	3.4%	
17		汚れのあるプラスチック製容器包装		4.4%	5.3%	4.9%	4.5%	5.2%	4.9%	
18		ゴム・皮革類		0.7%	0.7%	0.5%	0.4%	0.8%	0.6%	
19		その他可燃物		4.2%	4.9%	5.6%	5.5%	4.5%	4.9%	
20	プラスチック製容器包装	容器包装	ペットボトル	0.2%	0.8%	0.2%	0.1%	0.7%	0.4%	
21			その他ボトル	0.2%	0.2%	0.2%	0.0%	0.1%	0.2%	
22			チューブ	0.0%	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	
23			発泡トレイ(白)	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	
24			その他発泡トレイ(色・柄)	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	
25			発泡スチロール	0.1%	0.2%	0.2%	0.1%	0.2%	0.1%	
26			カップ	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
27			レジ袋(内袋)	1.5%	1.5%	1.2%	1.4%	1.2%	1.4%	
28			レジ袋(ごみ)	0.2%	0.3%	0.1%	0.1%	0.3%	0.2%	
29			その他容器	0.8%	1.4%	1.1%	0.7%	1.1%	1.0%	
30			その他包装	2.0%	2.7%	2.5%	2.1%	2.8%	2.4%	
31	半透明・不透明の袋	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%			
32	陶磁器						0.0%	0.0%		
33	金属類	容器包装	アルミ缶		0.3%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	
34			スチール缶	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	
35			その他の金属容器	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	
36		金属製調理用品			0.0%	0.0%		0.0%		
37	その他金属製品		0.3%	0.4%	0.2%	0.1%	0.3%	0.2%		
38	びん	容器包装	リターナブルびん							
39			無色雑びん	0.1%	0.8%	0.1%	0.2%	0.2%	0.3%	
40			茶色雑びん		0.1%	0.2%	0.0%	0.4%	0.1%	
41			その他色雑びん	0.0%	0.1%			0.1%	0.0%	
42			薬品等のびん			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
43	化粧品等のびん	0.0%	0.0%	0.0%		0.1%	0.0%			
44	土砂・残土・灰・石類			0.3%	0.7%		0.2%	0.2%		
45	有害・危険物		蛍光管							
46			乾電池(筒型)	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%	0.0%	
47			乾電池(ボタン電池・二次電池)			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
48			体温計・温度計							
49			スプレー缶(中身あり)							
50			スプレー缶(中身なし)			0.0%	0.1%		0.1%	0.0%
51			使い捨てライター(中身あり)			0.0%				0.0%
52			使い捨てライター(中身なし)	0.0%	0.0%	0.0%				0.0%
53			インクカートリッジ			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
54			小型家電製品(9品目)			0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
55	小型家電製品(9品目以外)		0.2%	0.3%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%		
56	医療系廃棄物									
57	その他不燃物		0.4%	0.5%	0.2%	0.5%	0.3%	0.4%		
58	ごみ排出時外装		レジ袋	0.1%	0.5%	0.6%	0.3%	0.3%	0.3%	
59			プラスチック製の袋(レジ袋以外)	0.6%	0.5%	0.5%	0.5%	0.7%	0.6%	
60			その他		0.1%					0.0%
		合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	



地域特性別

「燃やすごみ」は、「戸建住宅の多い地域の戸別収集」(93.2%)が最も多く、「単身者向け集合住宅の多い地域」(88.3%)が最も少なかった。

「燃やすごみ」の中で最も割合の高い「厨芥類」を見ると、「家族向け集合住宅の多い地域」(44.9%)が多く、「商業地域」(36.4%)が少なかった。

次いで割合の高かった「紙類(容器包装以外)」では、「単身者向け集合住宅の多い地域」(19.6%)が多く、「家族向け集合住宅の多い地域」(13.6%)が少なかった。

「紙おむつ」は、「戸建住宅の多い地域」(9.9%)が多く、「単身者向け集合住宅の多い地域」(3.0%)が少なかった。

「プラスチック製容器包装」は、「単身者向け集合住宅の多い地域」(7.5%)が多く、「戸建住宅の多い地域の戸別収集」(4.9%)が少なかった。

「汚れのあるプラスチック製容器包装」は、「単身者向け集合住宅の多い地域」(5.3%)が多く、「家族向け集合住宅の多い地域」(4.4%)が少なかった。

図表 4-6 地域特性別の燃やすごみの組成(大分類・中分類)

大分類	中分類	家族向け集合住宅の多い地域	単身者向け集合住宅の多い地域	戸建住宅の多い地域	戸建住宅の多い地域の戸別収集	商業地域	全体
燃やすごみ	厨芥類	44.9%	36.7%	38.8%	42.4%	36.4%	39.9%
	紙類(容器包装)	5.8%	8.5%	6.6%	5.1%	7.8%	6.7%
	紙類(容器包装以外)	13.6%	19.6%	14.0%	16.3%	17.8%	16.2%
	草木類	2.1%	1.9%	7.3%	3.3%	1.2%	3.2%
	繊維類	5.2%	4.6%	2.1%	3.6%	7.3%	4.6%
	紙おむつ類	7.9%	3.0%	9.9%	8.5%	4.8%	6.9%
	プラスチック製品	4.0%	3.0%	2.0%	3.7%	4.2%	3.4%
	汚れのあるプラスチック製容器包装	4.4%	5.3%	4.9%	4.5%	5.2%	4.9%
	ゴム・皮革類	0.7%	0.7%	0.5%	0.4%	0.8%	0.6%
	その他可燃物	4.2%	4.9%	5.6%	5.5%	4.5%	4.9%
プラスチック製容器包装	5.4%	7.5%	5.7%	4.9%	6.7%	6.0%	
陶器・ガラス・金属ごみ	陶磁器					0.0%	0.0%
	金属類(容器包装)	0.0%	0.4%	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%
	金属製調理用品		0.0%	0.0%			0.0%
	その他金属製品	0.3%	0.4%	0.2%	0.1%	0.3%	0.2%
	びん(容器包装)	0.1%	1.0%	0.4%	0.2%	0.8%	0.5%
	土砂・残土・灰・石類		0.3%	0.7%		0.2%	0.2%
	有害・危険物	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%
	インクカートリッジ		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	小型家電製品(9品目)		0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
	小型家電製品(9品目以外)	0.2%	0.3%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%
医療系廃棄物							
その他不燃物	0.4%	0.5%	0.2%	0.5%	0.3%	0.4%	
ごみ排出時外装	0.7%	1.0%	1.1%	0.8%	1.0%	0.9%	
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
燃やすごみ		92.9%	88.3%	91.5%	93.2%	90.2%	91.3%
プラスチック製容器包装		5.4%	7.5%	5.7%	4.9%	6.7%	6.0%
陶器・ガラス・金属ごみ		1.1%	3.2%	1.7%	1.1%	2.1%	1.8%
ごみ排出時外装		0.7%	1.0%	1.1%	0.8%	1.0%	0.9%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

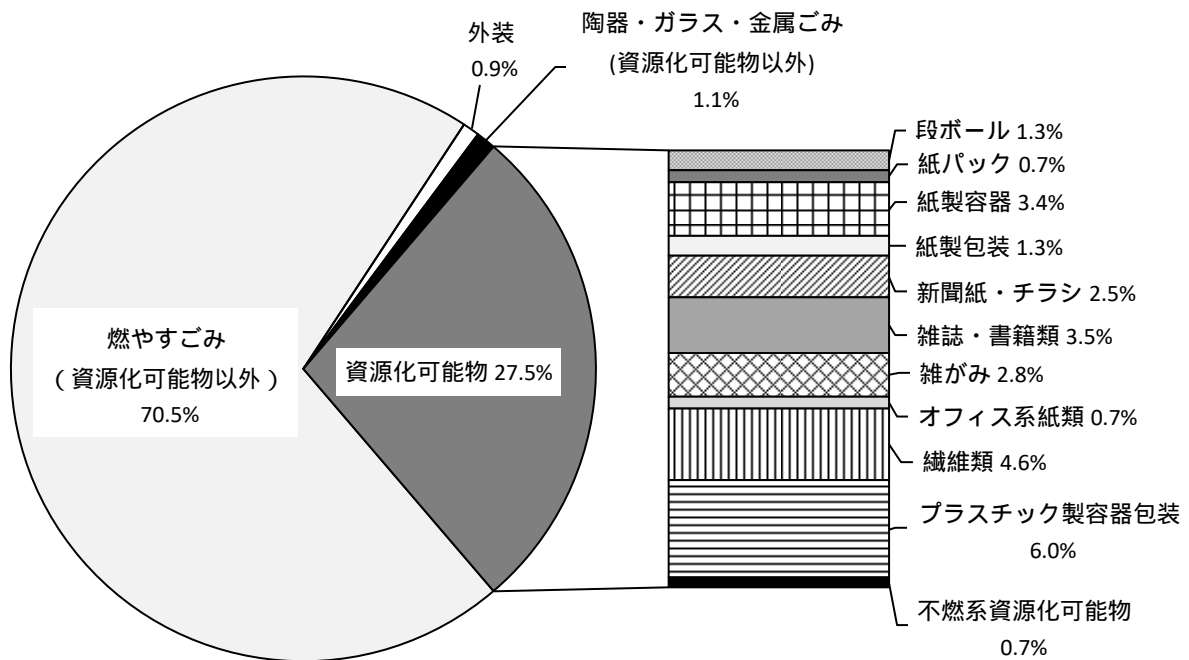
(2) 資源化可能物・対象外品目の混入率

燃やすごみへの資源化可能物の混入率は 27.5%、陶器・ガラス・金属ごみ(資源化可能物以外)の混入率は 1.1%であった。資源化可能物の内訳は、「可燃系資源化可能物」が 20.8%、「プラスチック製容器包装」が 6.0%、「不燃系資源化可能物」が 0.7%であった。

「可燃系資源化可能物」の内訳を見ると、「繊維類」(4.6%)が最も高く、次いで「雑誌」(3.5%)、「紙製容器」(3.4%)、「雑がみ」(2.8%)、「新聞紙・チラシ」(2.5%)となっている。

地域特性別を見ると、資源化可能物の混入率が最も高かったのは「単身者向け集合住宅の多い地域」(34.2%)、最も低かったのは「戸建住宅の多い地域の戸別収集」(22.7%)であった。

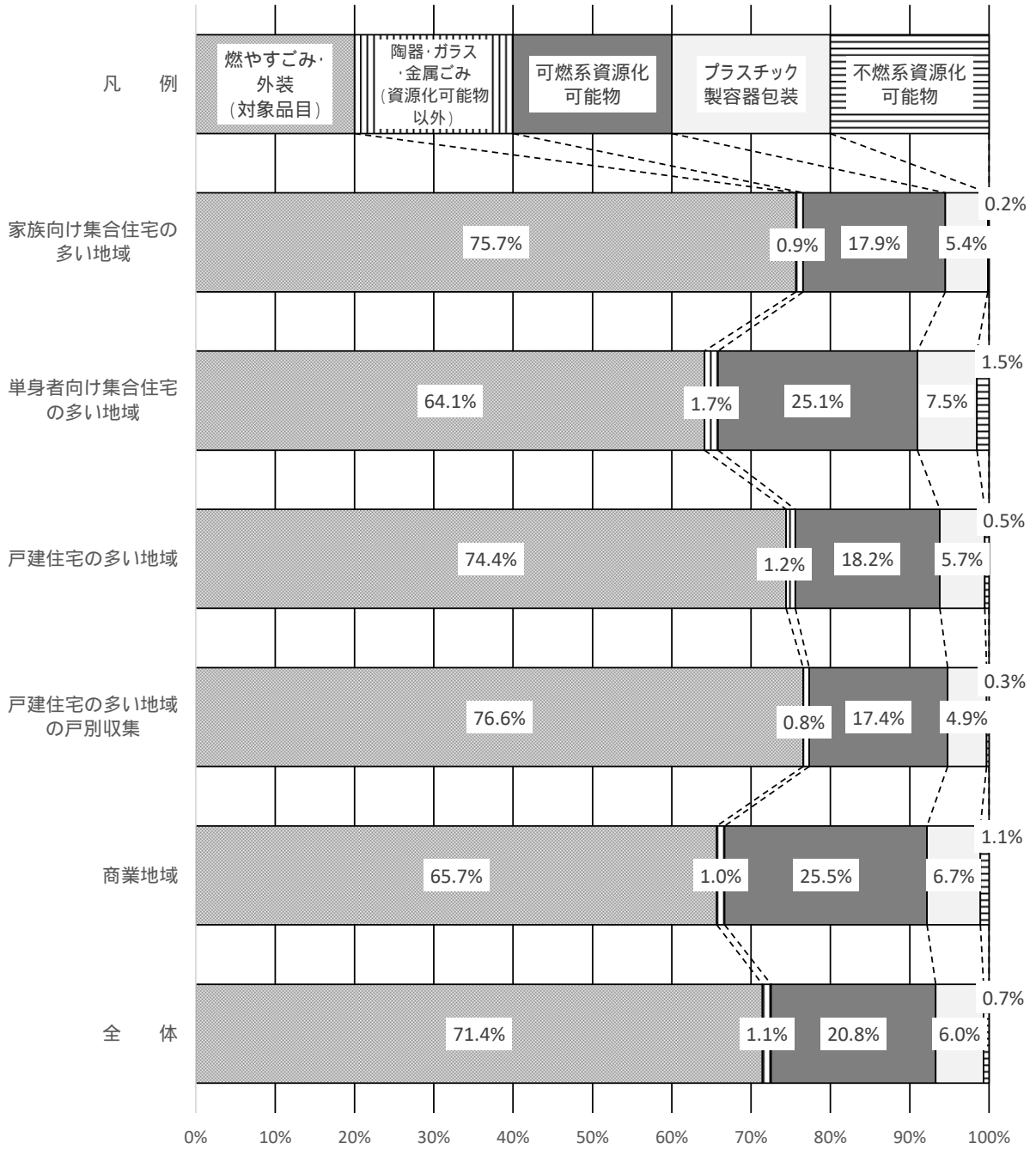
図表 4-7 燃やすごみの資源化可能物・対象外品目の混入率



図表 4-8 地域特性別の燃やすごみの資源化可能物・対象外品目の混入率（詳細）

		家族向け 集合住宅 の多い地 域	単身者向 け集合住 宅の多い 地域	戸建住宅 の多い地 域	戸建住宅 の多い地 域の戸別 収集	商業地域	全 体	
燃やすごみ(資源化可能物以外)		75.0%	63.1%	73.3%	75.8%	64.6%	70.5%	
陶器・ガラス・金属ごみ(資源化可能物以外)		0.9%	1.7%	1.2%	0.8%	1.0%	1.1%	
資源化可能物	可燃系	段ボール	0.6%	2.4%	1.5%	0.6%	1.5%	1.3%
		紙パック	0.5%	0.9%	0.9%	0.8%	0.7%	0.7%
		紙製容器	3.5%	3.7%	3.2%	2.5%	4.0%	3.4%
		紙製包装	1.2%	1.6%	1.0%	1.1%	1.6%	1.3%
		新聞紙・チラシ	1.3%	3.8%	3.2%	2.4%	2.1%	2.5%
		雑誌・書籍類	2.4%	4.5%	3.2%	2.9%	4.6%	3.5%
		雑がみ	2.7%	3.0%	2.7%	2.8%	2.8%	2.8%
		オフィス系紙類	0.6%	0.7%	0.5%	0.7%	0.8%	0.7%
		繊維類	5.2%	4.6%	2.1%	3.6%	7.3%	4.6%
	プラスチック製容器包装	ペットボトル	0.2%	0.8%	0.2%	0.1%	0.7%	0.4%
		その他ボトル	0.2%	0.2%	0.2%	0.0%	0.1%	0.2%
		チューブ	0.0%	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%
		発泡トレイ(白)	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
		その他発泡トレイ(色・柄)	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%
		発泡スチロール	0.1%	0.2%	0.2%	0.1%	0.2%	0.1%
		カップ	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		レジ袋(内袋)	1.5%	1.5%	1.2%	1.4%	1.2%	1.4%
		レジ袋(ごみ)	0.2%	0.3%	0.1%	0.1%	0.3%	0.2%
		その他容器	0.8%	1.4%	1.1%	0.7%	1.1%	1.0%
		その他包装	2.0%	2.7%	2.5%	2.1%	2.8%	2.4%
	半透明・不透明の袋	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%	
	不燃系	アルミ缶		0.3%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%
		スチール缶	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%
		リターナブルびん						
		無色雑びん	0.1%	0.8%	0.1%	0.2%	0.2%	0.3%
		茶色雑びん		0.1%	0.2%	0.0%	0.4%	0.1%
		その他色雑びん	0.0%	0.1%			0.1%	0.0%
蛍光管								
乾電池(筒型)		0.0%	0.0%	0.0%		0.0%	0.0%	
スプレー缶(中身なし)			0.0%	0.1%		0.1%	0.0%	
インクカートリッジ		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
小型家電製品(9品目)		0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%		
ごみ排出時外装	0.7%	1.0%	1.1%	0.8%	1.0%	0.9%		
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
燃やすごみ+ごみ排出時外装(対象品目)		75.7%	64.1%	74.4%	76.6%	65.7%	71.4%	
陶器・ガラス・金属ごみ(資源化可能物以外)		0.9%	1.7%	1.2%	0.8%	1.0%	1.1%	
資源化可能物		23.4%	34.2%	24.4%	22.7%	33.3%	27.5%	
可燃系資源化可能物		17.9%	25.1%	18.2%	17.4%	25.5%	20.8%	
プラスチック製容器包装		5.4%	7.5%	5.7%	4.9%	6.7%	6.0%	
不燃系資源化可能物		0.2%	1.5%	0.5%	0.3%	1.1%	0.7%	
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

図表 4-9 地域特性別の燃やすごみの資源化可能物・対象外品目の混入率



### 3 陶器・ガラス・金属ごみの調査結果

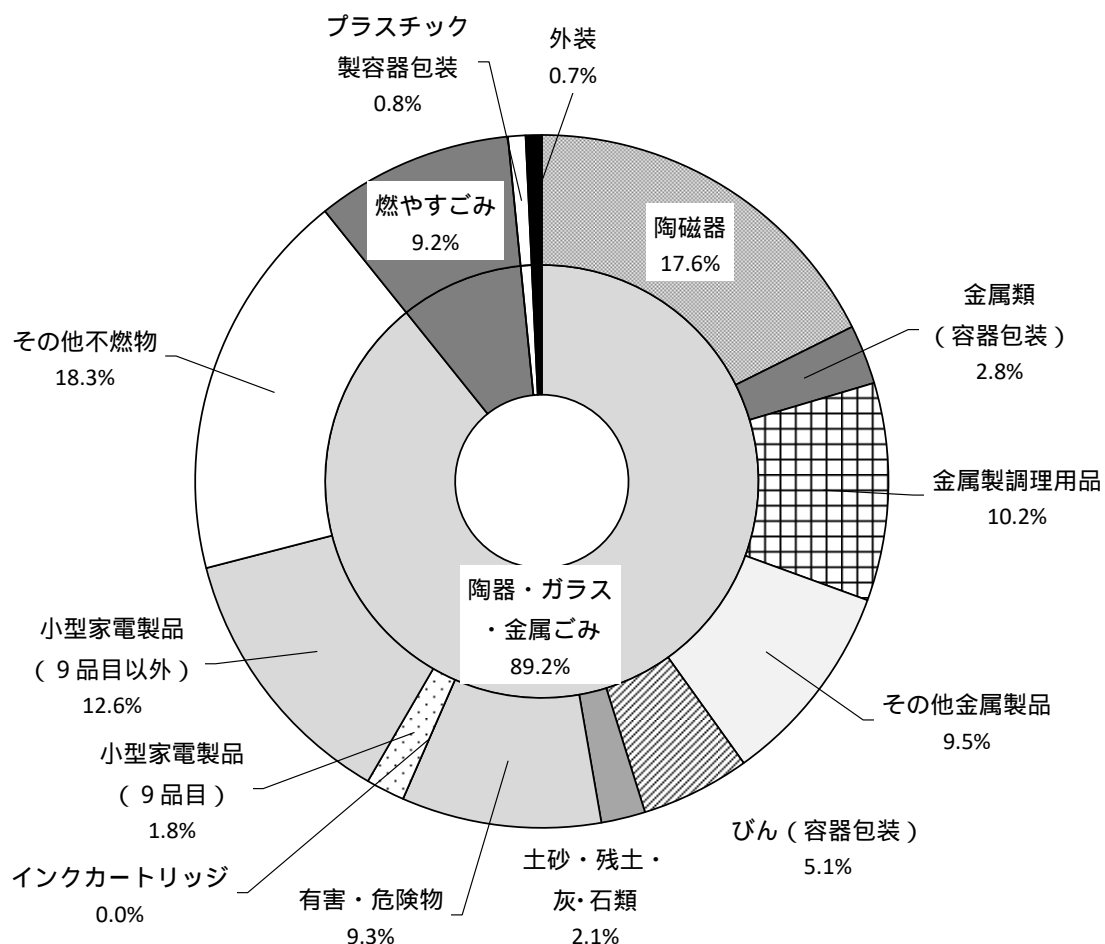
#### (1) 組成割合

全体

大分類では「陶器・ガラス・金属ごみ」が89.2%、「燃やすごみ」が9.2%、「プラスチック製容器包装」が0.8%、「外装」が0.7%であった。

「陶器・ガラス・金属ごみ」の内訳は、「その他不燃物」が18.3%で最も多く、次いで「陶磁器」(17.6%)、「小型家電製品(9品目以外)」(12.6%)、「金属製調理用品」(10.2%)、「その他金属製品」(9.5%)の順で多かった。

図表 4-10 陶器・ガラス・金属ごみの組成(中分類)



図表 4-11 地域特性別の陶器・ガラス・金属ごみの組成（細分類）

No	大分類	中分類	細分類	家族向け 集合住宅 の多い地 域	単身者向 け集合住 宅の多い 地域	戸建住宅 の多い地 域	戸建住宅 の多い地 域の戸別 収集	商業地域	全体	
1	燃やすごみ	厨芥類	未使用食品		2.5%				0.3%	
2			調理くず、残飯等							
3		紙類	容器包装	段ボール	0.3%		0.7%	1.1%	0.1%	0.5%
4				紙パック			0.0%			0.0%
5				紙製容器			0.0%		0.2%	
6			紙製包装	0.0%						0.0%
7			容器包装 以外包装	新聞紙・チラシ	0.1%	0.2%	0.8%	0.2%	0.2%	0.3%
8				雑誌・書籍類		0.2%				0.0%
9				雑がみ	0.0%	1.2%				0.2%
10		オフィス系紙類		0.0%					0.0%	
11		その他紙類	0.6%	0.0%			0.0%	0.0%	0.1%	
12		草木類	剪定枝・落ち葉							
13			その他草木類	0.1%		1.2%	1.3%			0.6%
14		繊維類		0.0%		0.2%	0.7%		0.2%	
15		紙おむつ類								
16		プラスチック製品		4.3%	7.0%	6.5%	7.2%	4.0%	5.8%	
17		汚れのあるプラスチック製容器包装								
18		ゴム・皮革類				1.1%		1.2%	0.0%	0.4%
19		その他可燃物		1.1%	0.7%	0.2%	1.0%	0.1%	0.6%	
20	プラスチック製容器包装	容器包装	ペットボトル		0.0%	0.0%			0.0%	
21			その他ボトル	0.8%	0.1%	0.2%	0.1%	0.3%	0.3%	
22			チューブ			0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%
23			発泡トレイ(白)							
24			その他発泡トレイ(色・柄)							
25			発泡スチロール	0.0%				0.0%		0.0%
26			カップ							
27			レジ袋(内袋)	0.2%	0.5%	0.3%	0.4%	0.2%	0.3%	
28			レジ袋(ごみ)	0.0%			0.0%			0.0%
29			その他容器	0.1%					0.0%	0.0%
30			その他包装	0.2%	0.0%			0.0%		0.1%
31	半透明・不透明の袋									
32	陶器・ガラス・金属ごみ	陶磁器		15.5%	15.0%	27.9%	15.5%	11.9%	17.6%	
33		金属類	容器包装	アルミ缶		0.6%	0.3%	0.2%	0.6%	0.3%
34				スチール缶	0.9%	4.6%	0.7%	1.1%	1.8%	1.6%
35				その他の金属容器	0.5%	3.1%	0.2%	0.4%	1.2%	0.9%
36		金属製調理用品	5.1%	11.0%	13.7%	13.4%	7.4%	10.2%		
37		その他金属製品	12.2%	6.2%	6.4%	11.8%	10.0%	9.5%		
38		びん	容器包装	リターナブルびん						
39				無色雑びん	1.0%	4.9%	0.7%	3.3%	3.7%	2.5%
40				茶色雑びん	0.1%	0.5%	0.1%	0.5%	0.5%	0.3%
41				その他色雑びん	0.7%	0.6%	0.3%	0.5%	1.4%	0.7%
42				薬品等のびん	0.6%	0.1%	0.3%	0.6%	0.2%	0.4%
43		化粧品等のびん	2.0%	0.6%	0.3%	2.0%	0.9%	1.2%		
44		土砂・残土・灰・石類		1.4%		0.9%	3.7%	4.0%	2.1%	
45		有害・危険物	容器包装	蛍光管	6.7%	2.8%	1.7%	1.3%	1.4%	2.8%
46				乾電池(筒型)	4.0%	2.9%	0.7%	1.1%	2.4%	2.2%
47				乾電池(ボタン電池・二次電池)	0.1%			0.0%		0.0%
48				体温計・温度計	0.1%		0.0%			0.0%
49				スプレー缶(中身あり)	0.6%	0.9%	0.1%	2.0%	1.0%	0.9%
50				スプレー缶(中身なし)	3.6%	5.9%	2.3%	2.1%	3.0%	3.2%
51	使い捨てライター(中身あり)						0.1%	0.1%	0.0%	
52	使い捨てライター(中身なし)	0.3%	0.0%		0.1%	0.1%	0.1%			
53	インクカートリッジ									
54	小型家電製品(9品目)		2.0%	4.7%	1.4%	1.3%	0.5%	1.8%		
55	小型家電製品(9品目以外)		11.7%	7.4%	8.9%	11.9%	23.1%	12.6%		
56	医療系廃棄物									
57	その他不燃物		22.4%	13.0%	22.1%	12.6%	19.1%	18.3%		
58	ごみ排出時外装	容器包装	レジ袋	0.4%	0.8%	0.3%	0.6%	0.7%	0.5%	
59			プラスチック製の袋(レジ袋以外)	0.2%	0.4%	0.2%	0.1%	0.0%	0.2%	
60			その他	0.1%	0.2%		0.1%		0.0%	
		合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

地域特性別

大分類の「陶器・ガラス・金属ごみ」は、「商業地域」(94.2%)が最も多く、「単身者向け集合住宅の多い地域」(84.8%)が最も少なかった。

「陶器・ガラス・金属ごみ」の中で最も割合の高い「其他不燃物」を見ると、「家族向け集合住宅の多い地域」(22.4%)が高く、「戸建住宅の多い地域の戸別収集」(12.6%)が低かった。

次いで高かった「陶磁器」では、「戸建住宅の多い地域」(27.9%)が多く、「商業地域」(11.9%)が少なかった。

「小型家電製品(9品目以外)」は、「商業地域」(23.1%)が多く、「単身者向け集合住宅の多い地域」(7.4%)が少なかった。

「金属製調理用品」は、「戸建住宅の多い地域」(13.7%)が多く、「家族向け集合住宅の多い地域」(5.1%)が少なかった。

「其他金属製品」は、「家族向け集合住宅の多い地域」(12.2%)が多く、「単身者向け集合住宅の多い地域」(6.2%)が少なかった。

図表 4-12 地域特性別の陶器・ガラス・金属ごみの組成(大分類・中分類)

大分類	中分類	家族向け集合住宅の多い地域	単身者向け集合住宅の多い地域	戸建住宅の多い地域	戸建住宅の多い地域の戸別収集	商業地域	全体
燃やすごみ	厨芥類		2.5%				<b>0.3%</b>
	紙類(容器包装)	0.3%	0.0%	0.7%	1.3%	0.1%	<b>0.6%</b>
	紙類(容器包装以外)	0.8%	1.6%	0.8%	0.2%	0.2%	<b>0.7%</b>
	草木類	0.1%		1.2%	1.3%		<b>0.6%</b>
	繊維類	0.0%		0.2%	0.7%		<b>0.2%</b>
	紙おむつ類						
	プラスチック製品	4.3%	7.0%	6.5%	7.2%	4.0%	<b>5.8%</b>
	汚れのあるプラスチック製容器包装						
	ゴム・皮革類		1.1%		1.2%	0.0%	<b>0.4%</b>
	其他可燃物	1.1%	0.7%	0.2%	1.0%	0.1%	<b>0.6%</b>
プラスチック製容器包装	1.3%	0.9%	0.6%	0.7%	0.6%	<b>0.8%</b>	
陶器・ガラス・金属ごみ	陶磁器	15.5%	15.0%	27.9%	15.5%	11.9%	<b>17.6%</b>
	金属類(容器包装)	1.4%	8.3%	1.1%	1.6%	3.6%	<b>2.8%</b>
	金属製調理用品	5.1%	11.0%	13.7%	13.4%	7.4%	<b>10.2%</b>
	其他金属製品	12.2%	6.2%	6.4%	11.8%	10.0%	<b>9.5%</b>
	びん(容器包装)	4.4%	6.7%	1.8%	7.0%	6.7%	<b>5.1%</b>
	土砂・残土・灰・石類	1.4%		0.9%	3.7%	4.0%	<b>2.1%</b>
	有害・危険	15.4%	12.5%	4.9%	6.7%	8.0%	<b>9.3%</b>
	インクカートリッジ						
	小型家電製品(9品目)	2.0%	4.7%	1.4%	1.3%	0.5%	<b>1.8%</b>
	小型家電製品(9品目以外)	11.7%	7.4%	8.9%	11.9%	23.1%	<b>12.6%</b>
医療系廃棄物							
其他不燃物	22.4%	13.0%	22.1%	12.6%	19.1%	<b>18.3%</b>	
ごみ排出時外装	0.6%	1.3%	0.5%	0.7%	0.7%	<b>0.7%</b>	
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	<b>100.0%</b>	

燃やすごみ	6.5%	12.9%	9.7%	13.0%	4.4%	<b>9.2%</b>
プラスチック製容器包装	1.3%	0.9%	0.6%	0.7%	0.6%	<b>0.8%</b>
陶器・ガラス・金属ごみ	91.5%	84.8%	89.1%	85.5%	94.2%	<b>89.2%</b>
ごみ排出時外装	0.6%	1.3%	0.5%	0.7%	0.7%	<b>0.7%</b>
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	<b>100.0%</b>

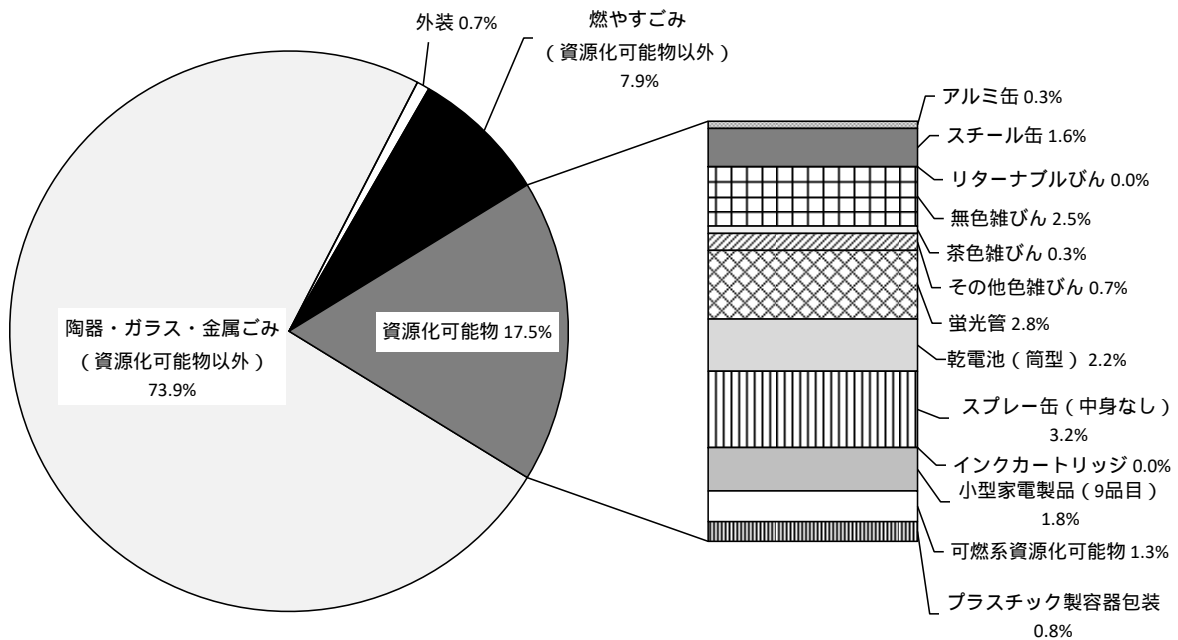
(2) 資源化可能物・対象外品目の混入率

陶器・ガラス・金属ごみへの資源化可能物の混入率は17.5%、燃やすごみ(資源化可能物以外)の混入率は7.9%であった。資源化可能物の内訳は、「可燃系資源化可能物」が1.3%、「プラスチック製容器包装」が0.8%、「不燃系資源化可能物」が15.4%であった。

「不燃系資源化可能物」の内訳を見ると、「スプレー缶(中身なし)」(3.2%)が最も多く、次いで「蛍光管」(2.8%)、「無色雑びん」(2.5%)、「乾電池(筒型)」(2.2%)、「小型家電製品(9品目)」(1.8%)となっている。

地域特性別を見ると、資源化可能物の混入率が最も多かったのは、「単身者向け集合住宅の多い地域」(27.4%)、最も少なかったのは「戸建住宅の多い地域」(8.3%)であった。

図表 4-13 陶器・ガラス・金属ごみの資源化可能物・対象外品目の混入率



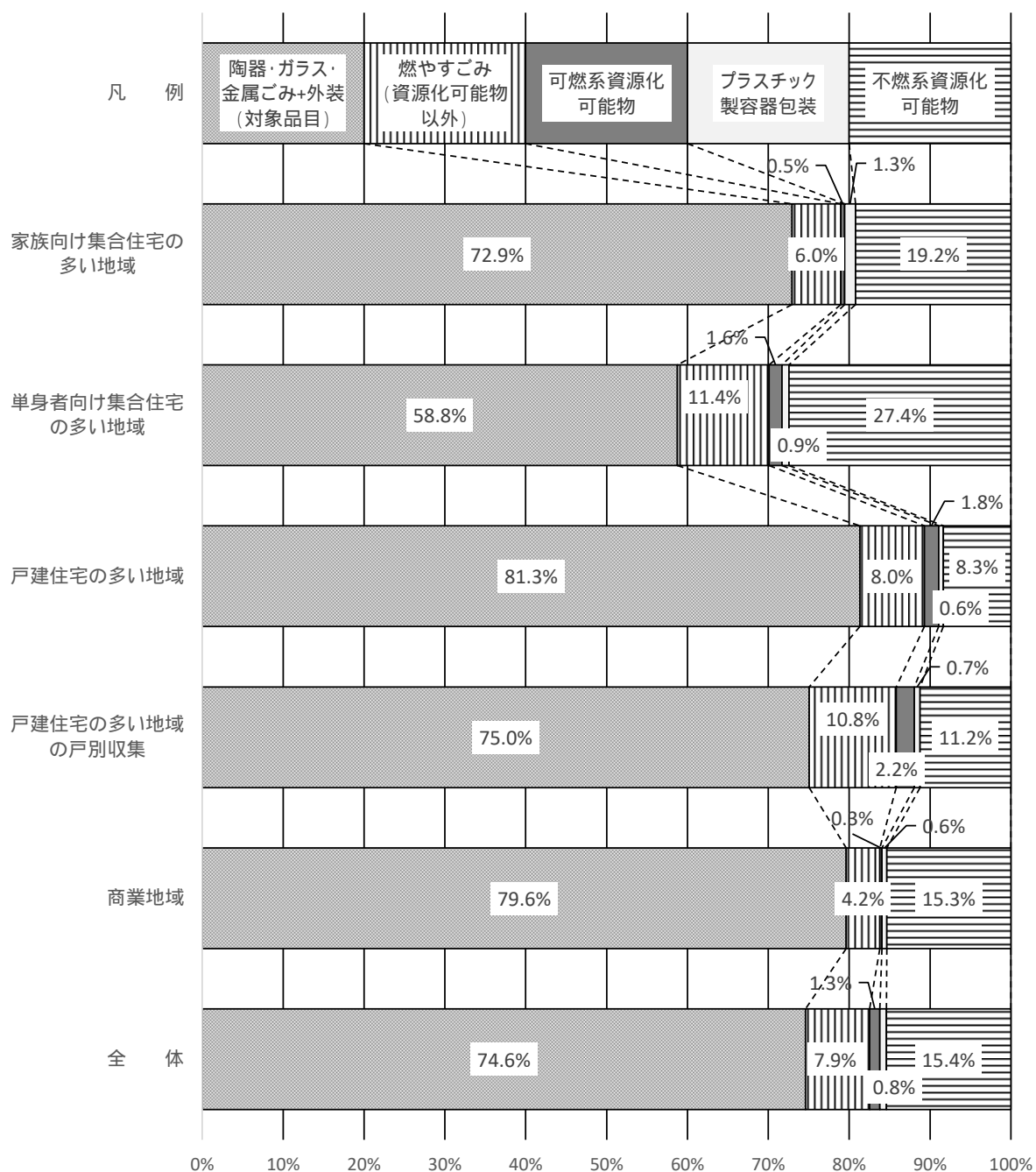


図表 4-14 地域特性別の陶器・ガラス・金属ごみの資源化可能物・対象外品目の混入率(詳細)

		家族向け 集合住宅 の多い地 域	単身者向 け集合住 宅の多い 地域	戸建住宅 の多い地 域	戸建住宅 の多い地 域の戸別 収集	商業地域	全 体	
燃やすごみ(資源化可能物以外)		6.0%	11.4%	8.0%	10.8%	4.2%	7.9%	
陶器・ガラス・金属ごみ(資源化可能物以外)		72.3%	57.4%	80.8%	74.3%	78.9%	73.9%	
資源化可能物	可燃系	段ボール	0.3%		0.7%	1.1%	0.1%	0.5%
		紙バック			0.0%			0.0%
		紙製容器		0.0%		0.2%		0.0%
		紙製包装	0.0%					0.0%
		新聞紙・チラシ	0.1%	0.2%	0.8%	0.2%	0.2%	0.3%
		雑誌・書籍類		0.2%				0.0%
		雑がみ	0.0%	1.2%				0.2%
		オフィス系紙類	0.0%					0.0%
		繊維類	0.0%		0.2%	0.7%		0.2%
	プラスチック製容器包装	ペットボトル		0.0%	0.0%			0.0%
		その他ボトル	0.8%	0.1%	0.2%	0.1%	0.3%	0.3%
		チューブ		0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%
		発泡トレイ(白)						
		その他発泡トレイ(色・柄)						
		発泡スチロール	0.0%			0.0%		0.0%
		カップ						
		レジ袋(内袋)	0.2%	0.5%	0.3%	0.4%	0.2%	0.3%
		レジ袋(ごみ)	0.0%			0.0%		0.0%
		その他容器	0.1%				0.0%	0.0%
	その他包装	0.2%	0.0%		0.0%		0.1%	
	半透明・不透明の袋							
	不燃系	アルミ缶		0.6%	0.3%	0.2%	0.6%	0.3%
		スチール缶	0.9%	4.6%	0.7%	1.1%	1.8%	1.6%
		リターナブルびん						
		無色雑びん	1.0%	4.9%	0.7%	3.3%	3.7%	2.5%
		茶色雑びん	0.1%	0.5%	0.1%	0.5%	0.5%	0.3%
		その他色雑びん	0.7%	0.6%	0.3%	0.5%	1.4%	0.7%
		蛍光管	6.7%	2.8%	1.7%	1.3%	1.4%	2.8%
		乾電池(筒型)	4.0%	2.9%	0.7%	1.1%	2.4%	2.2%
		スプレー缶(中身なし)	3.6%	5.9%	2.3%	2.1%	3.0%	3.2%
インクカートリッジ								
小型家電製品(9品目)	2.0%	4.7%	1.4%	1.3%	0.5%	1.8%		
ごみ排出時外装		0.6%	1.3%	0.5%	0.7%	0.7%	0.7%	
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

対象品目(陶器・ガラス・金属ごみ+ごみ排出時外装)	72.9%	58.8%	81.3%	75.0%	79.6%	74.6%
燃やすごみ(資源化可能物以外)	6.0%	11.4%	8.0%	10.8%	4.2%	7.9%
資源化可能物	21.0%	29.9%	10.7%	14.2%	16.2%	17.5%
可燃系資源化可能物	0.5%	1.6%	1.8%	2.2%	0.3%	1.3%
プラスチック製容器包装	1.3%	0.9%	0.6%	0.7%	0.6%	0.8%
不燃系資源化可能物	19.2%	27.4%	8.3%	11.2%	15.3%	15.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

図表 4-15 地域特性別の陶器・ガラス・金属ごみの資源化可能物・対象外品目の混入率



#### 4 事業系ごみの組成

事業系有料ごみ処理券が貼付されているもの及び明らかに事業系と判断できるごみについては、家庭ごみと分けて分析を行った。なお、分析した量が少ないため、本データは区全体の事業系ごみの排出実態を反映したものではないことに留意する必要がある。

図表 4-16 事業系ごみの組成（詳細）

全地域			燃やすごみ		陶器・ガラス・金属ごみ			
No	大分類	中分類	細分類	ごみ量(kg)	割合	ごみ量(kg)	割合	
1	燃やすごみ	厨芥類	未使用食品	12.69	5.6%			
2			調理くず、残飯等	88.02	39.2%			
3		紙類	容器包装	段ボール	2.33	1.0%		
4				紙パック	2.36	1.1%		
5				紙製容器	2.52	1.1%	0.05	0.1%
6				紙製包装	2.04	0.9%	0.02	0.0%
7			容器以外包装	新聞紙・チラシ	0.06	0.0%	0.05	0.1%
8				雑誌・書籍類	2.18	1.0%		
9				雑がみ	7.32	3.3%	0.01	0.0%
10			オフィス系紙類	10.55	4.7%			
11			その他紙類	13.63	6.1%	1.03	1.6%	
12		草木類	剪定枝・落ち葉	0.24	0.1%			
13			その他草木類	3.46	1.5%	0.01	0.0%	
14		繊維類		3.92	1.7%			
15		紙おむつ類		10.81	4.8%			
16		プラスチック製品		13.38	6.0%	0.59	0.9%	
17		汚れのあるプラスチック製容器包装		9.75	4.3%			
18		ゴム・皮革類		0.84	0.4%	0.38	0.6%	
19		その他可燃物		30.16	13.4%	0.49	0.8%	
20	プラスチック製容器包装	プラスチック類	ペットボトル	0.38	0.2%			
21			その他ボトル	0.97	0.4%			
22			チューブ					
23			発泡トレイ(白)					
24			その他発泡トレイ(色・柄)					
25			発泡スチロール	0.25	0.1%			
26			カップ	0.02	0.0%			
27			レジ袋(内袋)	0.98	0.4%			
28			レジ袋(ごみ)	0.33	0.1%			
29			その他容器	1.01	0.4%			
30			その他包装	1.75	0.8%			
31			半透明・不透明の袋	0.05	0.0%			
32	陶器・ガラス・金属ごみ	陶磁器						
33		金属類	容器包装	アルミ缶				
34				スチール缶				
35			その他の金属容器	0.16	0.1%			
36			金属製調理用品			0.88	1.4%	
37		その他金属製品	0.18	0.1%	38.15	61.1%		
38		びん	容器包装	リターナブルびん				
39				無色雑びん				
40				茶色雑びん				
41				その他色雑びん				
42				薬品等のびん				
43		化粧品等のびん	0.08	0.0%				
44		土砂・残土・灰・石類						
45		有害・危険物	蛍光管					
46			乾電池(筒型)	0.09	0.0%	0.38	0.6%	
47	乾電池(ボタン電池・二次電池)							
48	体温計・温度計							
49	スプレー缶(中身あり)		0.08	0.0%				
50	スプレー缶(中身なし)				0.26	0.4%		
51	使い捨てライター(中身あり)							
52	使い捨てライター(中身なし)							
53	インクカートリッジ	0.04	0.0%					
54	小型家電製品(9品目)							
55	小型家電製品(9品目以外)							
56	医療系廃棄物							
57	その他不燃物				19.76	31.6%		
58	ごみ排出時外装	レジ袋	0.05	0.0%	0.21	0.3%		
59		プラスチック製の袋(レジ袋以外)	1.97	0.9%	0.17	0.3%		
60		その他						
合計				224.65	100.0%	62.44	100.0%	

## 5 過去の調査結果との比較

### (1) 燃やすごみ

#### 中分類による比較

燃やすごみの過去調査と中分類で比較した。平成30年度と本年度を比較すると、草木類が4.1ポイント減少しているが、その他はおよそ同じような傾向である。

図表 4-17 燃やすごみの中分類による組成比較

	平成26年度 調査	平成27年度 調査	平成28年度 調査	平成29年度 調査	平成30年度 調査	本年度 調査
厨芥類	43.4%	42.1%	37.7%	37.0%	39.1%	39.9%
紙類(容器包装)	3.5%	6.3%	6.0%	7.2%	6.5%	6.7%
紙類(容器包装以外)	15.4%	18.4%	20.5%	19.5%	17.0%	16.2%
草木類	9.3%	4.0%	3.9%	5.6%	7.3%	3.2%
繊維類	3.4%	5.2%	5.7%	5.7%	5.7%	4.6%
紙おむつ類	8.7%	7.1%	7.2%	6.1%	6.7%	6.9%
プラスチック製品	4.3%	2.3%	2.5%	2.7%	2.3%	3.4%
汚れのあるプラスチック製容器包装	0.6%	1.8%	0.6%	1.6%	4.5%	4.9%
ゴム・皮革類	1.3%	2.6%	1.1%	1.1%	1.0%	0.6%
その他可燃物	4.2%	3.2%	3.0%	3.6%	3.9%	4.9%
プラスチック製容器包装	4.9%	5.5%	8.9%	8.0%	3.8%	6.0%
陶器・ガラス・金属ごみ	0.6%	0.7%	2.2%	1.4%	1.8%	1.8%
外装	0.4%	0.8%	0.7%	0.6%	0.4%	0.9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

#### 資源化可能物・対象外品目の混入率による比較

燃やすごみの過去調査と資源化可能物・対象外品目の混入率で比較した。

平成30年度調査と本年度調査を比べると、「プラスチック製容器包装」が2.2ポイント増加し、「可燃系資源化可能物」が2.3ポイント減少した。

図表 4-18 燃やすごみの資源化可能物・対象外品目の混入率比較

	平成26年度 調査	平成27年度 調査	平成28年度 調査	平成29年度 調査	平成30年度 調査	本年度 調査
燃やすごみ+ごみ排出時外装(対象品目)	79.9%	71.7%	65.5%	66.0%	71.3%	71.4%
陶器・ガラス・金属ごみ(資源化可能物以外)	0.3%	0.6%	1.9%	1.1%	1.5%	1.1%
可燃系資源化可能物	14.6%	22.1%	23.4%	24.6%	23.1%	20.8%
プラスチック製容器包装	4.9%	5.5%	8.9%	8.0%	3.8%	6.0%
不燃系資源化可能物	0.3%	0.1%	0.3%	0.3%	0.3%	0.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 陶器・ガラス・金属ごみ

中分類による比較

陶器・ガラス・金属ごみの過去調査と中分類で比較した。平成30年度と本年度を比較すると、金属製調理用品が5.0ポイント、有害・危険物が3.2ポイント増加し、その他金属製品が6.8ポイント減少しているが、その他はおよそ同じような傾向である。

図表 4-19 陶器・ガラス・金属ごみの中分類による組成比較

	平成26年度 調査	平成27年度 調査	平成28年度 調査	平成29年度 調査	平成30年度 調査	本年度 調査
陶磁器	13.6%	19.3%	18.1%	16.0%	19.0%	17.6%
金属類(容器包装)	9.7%	4.0%	2.2%	3.6%	5.0%	2.8%
金属製調理用品	3.0%	4.5%	4.5%	4.5%	5.2%	10.2%
その他金属製品	12.5%	13.6%	14.4%	12.7%	16.3%	9.5%
びん(容器包装)	7.8%	7.4%	7.3%	7.7%	6.7%	5.1%
土砂・残土・灰・石類		1.2%	0.4%	2.4%	2.6%	2.1%
有害・危険物	7.7%	8.7%	10.0%	8.5%	6.1%	9.3%
インクカートリッジ	0.0%	0.1%		0.7%	0.0%	
小型家電製品(9品目)	0.5%	2.2%	1.8%	3.1%	2.3%	1.8%
小型家電製品(9品目以外)	15.6%	10.3%	11.0%	11.0%	10.2%	12.6%
医療系廃棄物		0.1%				
その他不燃物	18.7%	12.2%	20.6%	16.8%	15.4%	18.3%
燃やすごみ	9.8%	12.5%	7.7%	10.5%	10.1%	9.2%
プラスチック製容器包装	0.8%	3.0%	1.1%	2.3%	0.7%	0.8%
外装	0.4%	0.9%	0.8%	0.3%	0.5%	0.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

資源化可能物・対象外品目の混入率による比較

陶器・ガラス・金属ごみの過去調査と資源化可能物・対象外品目の混入率で比較した。

平成30年度調査と本年度調査を比べると、「燃やすごみ(資源化可能物以外)」が1.7ポイント減少しているが、その他はおよそ同じような傾向である。

図表 4-20 陶器・ガラス・金属ごみの資源化可能物・対象外品目の混入率比較

	平成26年度 調査	平成27年度 調査	平成28年度 調査	平成29年度 調査	平成30年度 調査	本年度 調査
陶器・ガラス・金属ごみ+ごみ排出時外装(対象品目)	74.4%	66.3%	73.7%	68.0%	74.6%	74.6%
燃やすごみ(資源化可能物以外)	9.0%	11.9%	6.8%	9.1%	9.6%	7.9%
可燃系資源化可能物	0.8%	0.6%	0.9%	1.4%	0.5%	1.3%
プラスチック製容器包装	0.8%	3.0%	1.1%	2.3%	0.7%	0.8%
不燃系資源化可能物	15.0%	18.2%	17.5%	19.3%	14.6%	15.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

---

## 第 5 章 排出原単位調査

---

### 1 調査の概要

#### (1) 調査目的

本調査は、区内の家庭から排出されたごみの重量を調査し、1人1日当たりのごみ量（排出原単位）を把握し、一般廃棄物処理基本計画の改定及び今後の排出指導や新たなごみ減量施策を検討する基礎資料とすることを目的に実施した。

#### (2) 対象地域及び調査日程

対象地域は燃やすごみの収集曜日別に、月曜・木曜地域から3か所、火曜・金曜地域及び水曜・土曜地域から各2か所を選んだ。また、住居形態に偏りがないように戸建住宅の多い地域から3か所、家族向け集合住宅、単身者向けアパート混在地域から各2か所を選定した。調査は9月7日～9月30日の間に行った。

図表 5-1 調査対象地域及び調査日程

月日	曜日	調査地点	地域特性
9月7日	土曜日	丸山1丁目	戸建住宅の多い地域
9月10日	火曜日	新井2丁目	家族向け集合住宅
9月11日	水曜日	弥生町2丁目	単身者向けアパート混在地域
9月12日	木曜日	上高田1丁目	単身者向けアパート混在地域
9月13日	金曜日	白鷺3丁目	戸建住宅の多い地域
9月14日	土曜日	弥生町5丁目	戸建住宅の多い地域
9月30日	月曜日	中央2丁目	家族向け集合住宅

#### (3) 調査方法

調査員をごみ集積所に配置し、燃やすごみを排出する区民の世帯人数と何日分のごみかを聞き取り、そのごみの重量を測定した。

#### (4) 分析方法

調査結果を家族人数等別に、1人世帯、2人世帯、3人世帯、4人以上世帯に分けて集計し、区の属性別の人口を加味して加重平均することで、燃やすごみの平均的な排出原単位を推計した。

## 2 調査結果

### (1) サンプル数

図表 5-2 に示すとおり、サンプル数は合計で 711 世帯である。

図表 5-2 家族人数別、地域種別のサンプル数

世帯属性	戸建住宅の多い地域	家族向け集合住宅	単身者向けアパート混在地域	全体
1人世帯	43	63	76	182
2人世帯	55	92	44	191
3人世帯	42	110	15	167
4人以上世帯	28	130	13	171
全体	168	395	148	711

### (2) 調査結果

燃やすごみの排出原単位は平均で 316.4g/人日であった。地域特性別に見ると、戸建て住宅の多い地域では 335.9g/人日、家族向け集合住宅地域では 300.9g/人日、単身者向けアパート混在地域は 335.6g/人日となっている。

参考として、平成 26 年度に実施した排出原単位調査結果を図表 5-4 に示す。

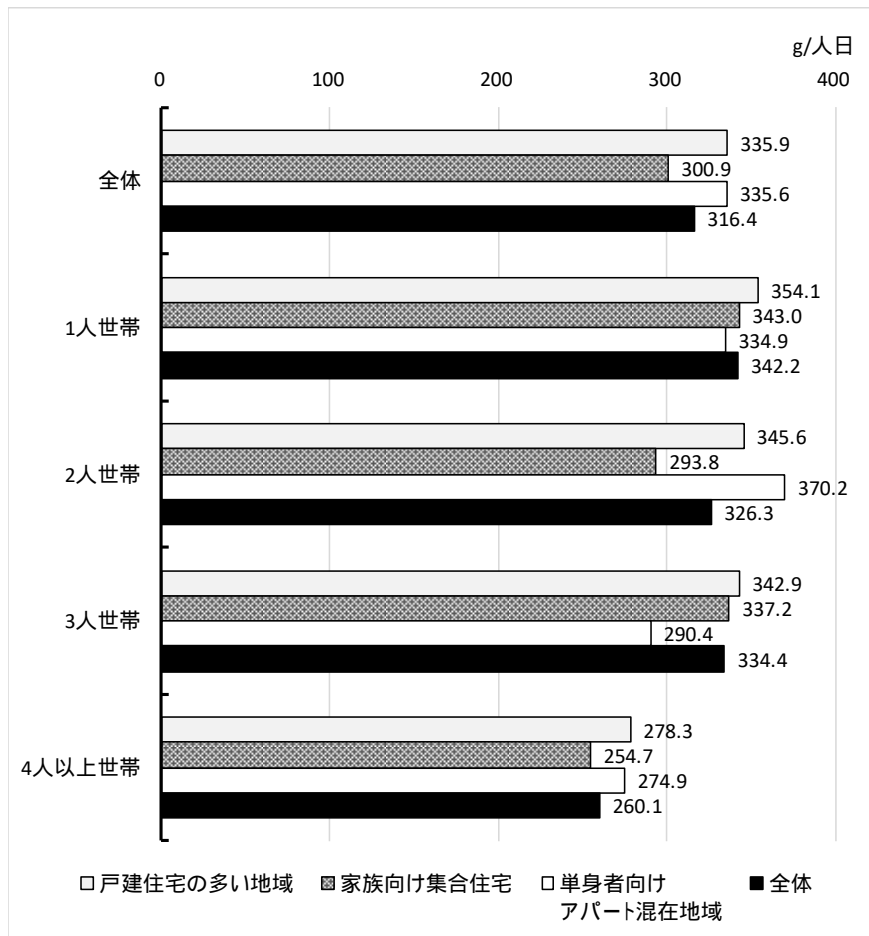
図表 5-3 属性別の燃やすごみの排出原単位

世帯属性	戸建住宅の多い地域	家族向け集合住宅	単身者向けアパート混在地域	全体
1人世帯	354.1	343.0	334.9	342.2
2人世帯	345.6	293.8	370.2	326.3
3人世帯	342.9	337.2	290.4	334.4
4人以上世帯	278.3	254.7	274.9	260.1
全体	335.9	300.9	335.6	316.4

図表 5-4 (参考) 前回排出原単位調査

	戸建住宅の多い地域	家族向け集合住宅	単身者向けアパート混在地域	全体
1人世帯(～30歳)	299	-	195	215
1人世帯(30歳～)	417	175	412	394
2人世帯	429	336	309	367
3人世帯	341	356	329	345
4人以上世帯	300	298	301	300
全体	369	321	304	333

図表 5-5 属性別の燃やすごみの排出原単位（グラフ）



(3) 排出原単位の推計

調査で得られた家族人数等の燃やすごみの排出原単位と、平成 27 年国勢調査で得られた世帯人数別の人口割合から、家庭系の燃やすごみの排出原単位を推計した。

下表のとおり、全区拡大推計した燃やすごみ排出原単位は 319.8g/人日となった。前回平成 26 年度の排出原単位調査では 343g/人日であったため、燃やすごみの排出原単位は減少しているものと考えられる。

図表 5-6 家庭系の燃やすごみの排出原単位の推計

世帯属性	人口割合	排出原単位 (g/人日)
1人世帯	37.0%	342.2
2人世帯	23.7%	326.3
3人世帯	18.4%	334.4
4人以上世帯	20.9%	260.1
加重平均		319.8

平成27年国勢調査



## 第6章 考察

### 1 家庭ごみと事業系ごみの推計

排出原単位調査で得た燃やすごみの排出原単位より、純家庭ごみ排出量（燃やすごみ、陶器・ガラス・金属ごみ）を推計した。さらに、ごみ組成分析調査から得た組成割合を乗じ、家庭ごみの品目別の量と割合を推計した。

また、平成30年度の区収集ごみ量から純家庭ごみ排出量を差し引き、区収集に排出されている事業系ごみ量を推計した。

#### (1) 令和元年度の収集ごみ量の推計

平成30年度前半、通年、及び令和元年度前半のごみ量実績により、令和元年度の通年の燃やすごみ量と陶器・ガラス・金属ごみ量を推計した。

計算式

令和元年度通年ごみ量 =

令和元年度前半ごみ量 ÷ 平成30年度前半ごみ量 × 平成30年度通年ごみ量

図表 6-1 令和元年度の通年収集ごみ量推計

	令和元年度	平成30年度		令和元年度
	前半 A	前半 B	通年 C	通年(推計) D=A ÷ B × C
燃やすごみ	27,193	26,974	53,764	54,201
陶器・ガラス・金属ごみ	107	702	1,412	216
合計	27,300	27,676	55,176	54,417

(2) 家庭ごみと事業系ごみの量推計

排出原単位調査で推計した燃やすごみの排出原単位（319.8g/人日）に、令和元年10月1日の中野区の人口334,923人乗じて、家庭から排出される燃やすごみの量を39,202tと推計した。

計算式

$$319.8 \text{ (g/人日)} \times 334,923 \text{ 人} \times 366 \text{ 日/年} \div 1,000,000 \text{ (g/t)} = 39,202\text{t/年}$$

次いで、令和元年度の燃やすごみ推計量（54,201t）から純家庭系の燃やすごみ推計量（39,202t）を差し引くことにより、事業系の燃やすごみ量は14,999tと推計された。

陶器・ガラス・金属ごみについては、家庭ごみと事業系ごみの割合が燃やすごみと同じと仮定し、令和元年度の陶器・ガラス・金属ごみ推計量（216t）に72.3%を乗じて純家庭系の金属・陶器・ガラスごみ量（156t）を推計し、全体から家庭ごみ量を差し引いて事業系ごみ量（60t）を推計した。

図表 6-2 令和元年度の家庭・事業系収集ごみ量推計

	令和元年度 収集ごみ量 (注) A	家庭 ごみ量 B	事業系 ごみ量 C=A-B	家庭ごみ 割合 D=B÷A	事業系ごみ 割合 E=C÷A
燃やすごみ	54,201	39,202	14,999	72.3%	27.7%
陶器・ガラス・金属ごみ	216	156	60		
合計	54,417	39,358	15,059		

(注)平成30年度および令和元年度4月～9月のごみ量からの令和元年度の推計値

(3) 品目別の家庭収集ごみ量

図表 6-2 で推計した家庭収集ごみ量に、組成分析調査で得られた細分類組成割合（図表 4-5、図表 4-11）を乗じ、家庭ごみの品目別ごみ量を推計した。同様に、図表 4-8 図表 4-14 を用いて、資源・対象外品目の量を推計した。推計結果を図表 6-3、図表 6-4 に示す。

図表 6-3 に見るように、品目別では生ごみが最も多く、未使用食品 1,463t、調理くず、残飯等 14,196t の合計で 15,658t が排出されていると推定される。一方、図表 6-4 の下段に見るように、資源化可能物は合計で 10,797t がごみとして排出されていると推定される。

図表 6-3 家庭ごみの品目別の量（推計）

品目			燃やすごみ		陶器・ガラス・金属ごみ		合計		
			量(t/年)	割合	量(t/年)	割合	量(t/年)	割合	
燃やすごみ	厨芥類	未使用食品	1,462	3.7%	1	0.3%	1,463	3.7%	
		調理くず、残飯等	14,196	36.2%			14,196	36.1%	
	紙類	容器包装	段ボール	515	1.3%	1	0.5%	516	1.3%
			紙パック	288	0.7%	0	0.0%	288	0.7%
			紙製容器	1,316	3.4%	0	0.0%	1,316	3.3%
			紙製包装	507	1.3%	0	0.0%	507	1.3%
		容器外包装	新聞紙・チラシ	990	2.5%	0	0.3%	991	2.5%
			雑誌・書籍類	1,376	3.5%	0	0.0%	1,376	3.5%
			雑誌がみ	1,093	2.8%	0	0.2%	1,093	2.8%
	その他紙類	262	0.7%	0	0.0%	262	0.7%		
	草木類	剪定枝・落ち葉	889	2.3%			889	2.3%	
		その他草木類	349	0.9%	1	0.6%	350	0.9%	
	繊維類		1,793	4.6%	0	0.2%	1,793	4.6%	
	紙おむつ類		2,691	6.9%			2,691	6.8%	
	プラスチック製品		1,339	3.4%	9	5.8%	1,348	3.4%	
	汚れのあるプラスチック製容器包装		1,907	4.9%			1,907	4.8%	
	ゴム・皮革類		238	0.6%	1	0.4%	238	0.6%	
その他可燃物		1,933	4.9%	1	0.6%	1,934	4.9%		
プラスチック製容器包装	プラスチック類	容器包装	ペットボトル	147	0.4%	0	0.0%	147	0.4%
			その他ボトル	62	0.2%	1	0.3%	62	0.2%
			チューブ	5	0.0%	0	0.1%	5	0.0%
			発泡トレイ(白)	27	0.1%			27	0.1%
			その他発泡トレイ(色・柄)	24	0.1%			24	0.1%
			発泡スチロール	58	0.1%	0	0.0%	58	0.1%
			カップ	16	0.0%			16	0.0%
			レジ袋(内袋)	534	1.4%	0	0.3%	535	1.4%
			レジ袋(ごみ)	75	0.2%	0	0.0%	75	0.2%
			その他容器	401	1.0%	0	0.0%	401	1.0%
			その他包装	939	2.4%	0	0.1%	939	2.4%
			半透明・不透明の袋	63	0.2%			63	0.2%
陶器・ガラス・金属ごみ	陶磁器		3	0.0%	28	17.6%	30	0.1%	
			36	0.1%	0	0.3%	36	0.1%	
	金属類	容器包装	アルミ缶	19	0.0%	2	1.6%	21	0.1%
			スチール缶	20	0.1%	1	0.9%	22	0.1%
			その他の金属容器	5	0.0%	16	10.2%	21	0.1%
		金属製調理用品	93	0.2%	15	9.5%	108	0.3%	
	びん	容器包装	リターナブルびん						
			無色雑びん	104	0.3%	4	2.5%	108	0.3%
			茶色雑びん	56	0.1%	0	0.3%	57	0.1%
			その他色雑びん	20	0.0%	1	0.7%	21	0.1%
			薬品等のびん	3	0.0%	1	0.4%	3	0.0%
			化粧品等のびん	12	0.0%	2	1.2%	14	0.0%
	土砂・残土・灰・石類		83	0.2%	3	2.1%	87	0.2%	
	有害・危険物		蛍光管			4	2.8%	4	0.0%
			乾電池(筒型)	4	0.0%	3	2.2%	8	0.0%
			乾電池(ボタン電池・二次電池)	2	0.0%	0	0.0%	2	0.0%
			体温計・温度計			0	0.0%	0	0.0%
			スプレー缶(中身あり)			1	0.9%	1	0.0%
			スプレー缶(中身なし)	14	0.0%	5	3.2%	19	0.0%
			使い捨てライター(中身あり)	1	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
使い捨てライター(中身なし)			2	0.0%	0	0.1%	2	0.0%	
インクカートリッジ		5	0.0%			5	0.0%		
小型家電製品(9品目)		21	0.1%	3	1.8%	24	0.1%		
小型家電製品(9品目以外)		52	0.1%	20	12.6%	72	0.2%		
医療系廃棄物									
その他不燃物		149	0.4%	28	18.3%	177	0.5%		
ごみ排出時外装		レジ袋	131	0.3%	1	0.5%	131	0.3%	
		プラスチック製の袋(レジ袋以外)	226	0.6%	0	0.2%	226	0.6%	
		その他	4	0.0%	0	0.0%	4	0.0%	
合計			39,202	100.0%	156	100.0%	39,358	100.0%	

図表 6-4 家庭ごみの資源・対象外品目の量（推計）

品目		燃やすごみ		陶器・ガラス・金属ごみ		合計		
		量(t/年)	割合	量(t/年)	割合	量(t/年)	割合	
燃やすごみ(資源化可能物以外)		27,646	70.5%	12	7.9%	27,658	70.3%	
陶器・ガラス・金属ごみ(資源化可能物以外)		425	1.1%	115	73.9%	540	1.4%	
資源化可能物	可燃系	古紙類	6,347	16.2%	2	1.1%	6,348	16.1%
		段ボール	515	1.3%	1	0.5%	516	1.3%
		紙パック	288	0.7%	0	0.0%	288	0.7%
		紙製容器	1,316	3.4%	0	0.0%	1,316	3.3%
		紙製包装	507	1.3%	0	0.0%	507	1.3%
		新聞紙・チラシ	990	2.5%	0	0.3%	991	2.5%
		雑誌・書籍類	1,376	3.5%	0	0.0%	1,376	3.5%
		雑がみ	1,093	2.8%	0	0.2%	1,093	2.8%
		オフィス系紙類	262	0.7%	0	0.0%	262	0.7%
	繊維類	1,793	4.6%	0	0.2%	1,793	4.6%	
	プラスチック製容器包装	ペットボトル	147	0.4%	0	0.0%	147	0.4%
		その他プラスチック製容器包装	2,204	5.6%	1	0.8%	2,206	5.6%
		その他ボトル	62	0.2%	1	0.3%	62	0.2%
		チューブ	5	0.0%	0	0.1%	5	0.0%
		発泡トレイ(白)	27	0.1%			27	0.1%
		その他発泡トレイ(色・柄)	24	0.1%			24	0.1%
		発泡スチロール	58	0.1%	0	0.0%	58	0.1%
		カップ	16	0.0%			16	0.0%
		レジ袋(内袋)	534	1.4%	0	0.3%	535	1.4%
		レジ袋(ごみ)	75	0.2%	0	0.0%	75	0.2%
		その他容器	401	1.0%	0	0.0%	401	1.0%
		その他包装	939	2.4%	0	0.1%	939	2.4%
		半透明・不透明の袋	63	0.2%			63	0.2%
	不燃系	缶	54	0.1%	3	1.9%	57	0.1%
		アルミ缶	36	0.1%	0	0.3%	36	0.1%
		スチール缶	19	0.0%	2	1.6%	21	0.1%
		びん	180	0.5%	5	3.5%	186	0.5%
リターナブルびん								
無色雑びん		104	0.3%	4	2.5%	108	0.3%	
茶色雑びん		56	0.1%	0	0.3%	57	0.1%	
その他色雑びん		20	0.0%	1	0.7%	21	0.1%	
蛍光管				4	2.8%	4	0.0%	
乾電池(筒型)		4	0.0%	3	2.2%	8	0.0%	
スプレー缶(中身なし)		14	0.0%	5	3.2%	19	0.0%	
インクカートリッジ	5	0.0%			5	0.0%		
小型家電製品(9品目)	21	0.1%	3	1.8%	24	0.1%		
ごみ排出時外装	361	0.9%	1	0.7%	362	0.9%		
合計	39,202	100.0%	156	100.0%	39,358	100.0%		
対象品目	28,007	71.4%	116	74.6%	28,123	71.5%		
燃やすごみ + 外装	28,007	71.4%	-	-	28,007	71.2%		
陶器・ガラス・金属ごみ + 外装	-	-	116	74.6%	116	0.3%		
資源・対象外品目	11,195	28.6%	40	25.4%	11,235	28.5%		
燃やすごみ(資源化可能物以外)	-	-	12	7.9%	12	0.0%		
陶器・ガラス・金属ごみ(資源化可能物以外)	425	1.1%	-	-	425	1.1%		
資源(小計)	10,770	27.5%	27	17.5%	10,797	27.4%		
可燃系資源化可能物	8,140	20.8%	2	1.3%	8,142	20.7%		
プラスチック製容器包装	2,351	6.0%	1	0.8%	2,352	6.0%		
不燃系資源化可能物	280	0.7%	24	15.4%	304	0.8%		
合計	39,202	100.0%	156	100.0%	39,358	100.0%		

(4) ごみ排出構造推計のまとめ

前項(1)～(3)までの家庭ごみ量・事業系ごみ量の推計結果、及び家庭ごみの品目別内訳の推計結果の概要を、図表 6-5 にまとめた。

ごみの中の資源物の品目別推定量については、参考として、平成 30 年度の品目別資源回収実績（ステーション回収、拠点回収、集団回収）を付している。資源品目別の主な排出特性は以下のとおりである。

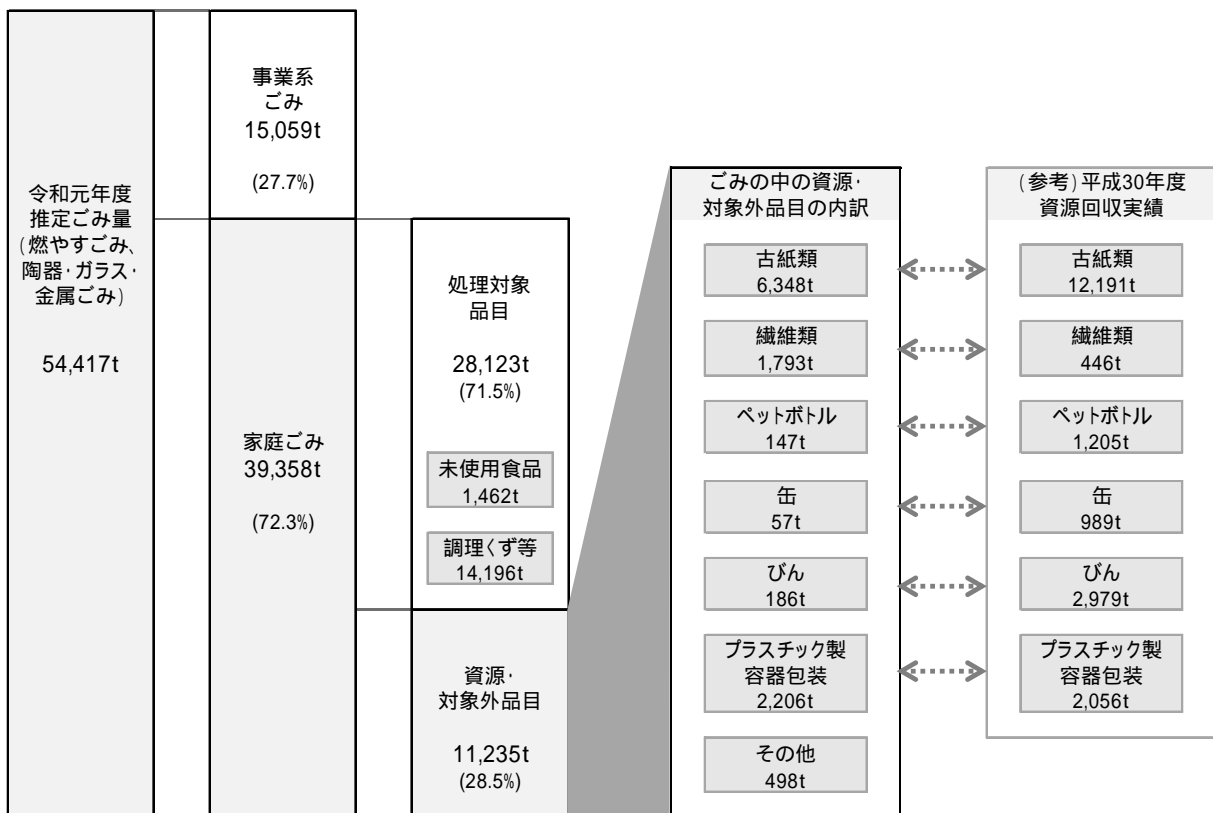
ごみの中の古紙類の量は推定 6,348t である。平成 30 年度の集団回収・拠点回収実績は 12,158t であるため、古紙全体の 1 / 3 程度がごみに排出されていると推定される（販売店回収など把握されていない古紙リサイクル量は除く）。

繊維類は、ごみの中に排出される量 1,793t に対し、平成 30 年度の集団回収・拠点回収実績は 446t であり、リサイクル促進の余地が大きい。

びん・缶・ペットボトルは、いずれも資源回収実績に対し、ごみとして排出される量は少量であり、分別の徹底がなされていると考えられる。

プラスチック製容器包装は、ごみに排出される量と資源として排出される量が半々程度と推定される。

図表 6-5 令和元年度のごみ排出構造の推定（概要）



区民アンケート調査では、回答者の 19.6% が新聞の販売店回収を利用していると回答している。(図表 2-12)

## 2 排出実態調査から得られた知見

### (1) 家庭ごみの課題

#### 生ごみの排出抑制

品目別にごみの中で最も大きな割合を占める生ごみは、それだけ排出抑制効果が大きい品目である。組成分析調査からの推定では生ごみの年間排出量は 15,658t であり、そのうち未使用食品が 1,462t と推定される（図表 6-5）。

区民アンケート調査では、「食品ロス問題」に関心があるという回答が 73.5% に上り（図表 2-15）、「使い切れる量を食べる」「残さず食べる」といった食品ロスを減らすための行動も、7 割以上が「行っている」と回答している（図表 2-21）。一方で、「賞味期限切れ等の食品を捨ててしまうことがあるか」という質問に対しては、44.6% が「よくある」「たまにある」と回答している（図表 2-24）。

したがって、食品ロス削減の行動を促すための PR 啓発は、調理くず等の水切りの徹底と合わせ、引き続き必要と考えられる。また、フードドライブに対しては 54.1% が「機会があれば協力したい」と回答している（図表 2-29）ので、フードドライブを体験する機会を増やす取り組みも有効と考えられる。

#### レジ袋等の削減

区民アンケート調査では、国が令和 2 年 7 月にもレジ袋有料化を制度化することに対し、区民の約 7 割が「関心がある」と回答しており（図表 2-15）制度化する是非については「導入もやむを得ない」が 56.1%、「導入すべき」が 30.0% となっている（図表 2-65）。

昨今、地球温暖化や海洋プラスチックごみ問題などの環境問題を受け、企業の側でも CSR（企業の社会的責任）の一環として、無駄なプラスチック容器包装を止めたり、紙製品に代替したりするなどの動きが盛んになりつつある。区民の関心も高いことから、レジ袋有料化制度の導入を一つのきっかけにしつつ、環境に配慮した取り組みを行っている店を選ぶなど、区民に対し使い捨てプラスチック等の削減を引き続き訴えていく必要がある。

#### 販売店回収の促進

区民アンケート調査では、スーパーマーケットに設置しているペットボトル破碎回収機を 22.1% が「利用している」「たまに利用している」と回答しており（図表 2-62）平成 26 年度アンケート調査と比較して 3.9 ポイント上昇している。ペットボトル破碎回収機の利用は一定程度定着したといえるが、「まったく知らなかった」という回答も 28.8% あった。

また、電池の販売店回収は 27.1% が、食品トレイの店頭回収は 18.4% が実施していると回答しているが、「どれも実施していない」という回答も 27.0% あった（図表 2-12）。このような一種の「無関心層」に、今後どのようにしてアプローチしていくかが課題である。

### 古紙の分別・リサイクル

組成分析調査によると、資源化可能な古紙類は燃やすごみの中の16.2%を占め、年間で6,348t がごみとして排出されていると推定される。中でも多いのが「紙製容器」(推定1,316t)、「紙製包装」(同、507t)、「雑がみ」(同、1,093t)といったいわゆる雑がみ類である(図表 6-4)。

雑がみについて区民アンケートで質問したところ、その種類について24.9%が「知らなかった」と回答しており(図表 2-51)、結果として雑がみを「集団回収に出していない」とする回答が26.5%に上っている(図表 2-54)。

また、古紙全体で見ても、古紙の分け方を「よくわかっている」とする回答は、「年齢」は低いほど、職業別では「会社員・公務員」、居住年数が短いほど、世帯人数では「単身者」、住居形態では「持家以外の集合住宅」、町会への加入は「していない」層が、低くなっている。

こうした層に向け、雑がみを中心とする分け方・出し方の認知をいかに高めていくかが課題である。

### プラスチック製容器包装の分別・リサイクル

区民アンケート調査によると、プラスチック製容器包装を「汚れを落として出す」とする回答が66.6%となっており、プラスチック製容器包装の分別排出は一定程度定着しているものと考えられる(図表 2-57)。

他方、「きれいなものも汚れたものもごみに出す」とする回答も15.3%あった。組成分析調査に基づくプラスチック製容器包装の排出構造分析でも、ごみに出されるものが2,200tと推定され、平成30年度のプラスチック製容器包装分別収集量(2,056t)とほぼ拮抗している(図表 6-5)。

アンケートでは、プラスチック製容器包装の分け方が「よく分からない」「まったく分からない」とする回答は合計で5.2%(図表 2-33)、出し方が「分からない」とする回答は4.2%(図表 2-42)にとどまっていることから、プラスチック製容器包装の分別排出が徹底されないのは、「雑がみ」のように認知されていないためではなく、出し方の「面倒さ」が一因と考えられる。

したがって、分別等の一手間がなぜ必要なのか、前項で述べたプラスチックごみの排出抑制の取り組みの意義とあわせて区民に分りやすく伝えていく必要がある。その際、地球規模の環境負荷削減という大局的な観点から訴えるだけでなく、区民の身近な環境行動に結びつきやすい具体的なアドバイス等を両輪として示し、一人ひとりの実践をいかに促進できるかが課題である。

### 区民への情報発信について

区民アンケート調査によると、ごみの分け方・出し方の情報源として最も多いのは、「資源とごみの出し方・分け方リーフレット」であり、67.4%が何らかの形で利用している(図表 2-48)。同様の情報は、区ホームページや中野区ごみ分別アプリからも得られるが、そ

れぞれ 20.7%、7.9%が何らかの形で利用していると回答している。

前項までの課題、例えば生ごみの削減や雑がみ・プラスチック製容器包装の分別徹底など、多様な情報を区民に発信するには、引き続き「資源とごみの出し方・分け方リーフレット」を中心的な媒体としつつ、情報を要望する区民、または知らない区民に着実に届けていくことが必要である。

「資源とごみの出し方・分け方リーフレット」の利用率が低いのは、年齢別では 20 代（利用率 50.0%）30 代（利用率 58.3%）、世帯人数別では単身者（利用率 54.4%）である（図表 2-50）。他方、ごみ分別アプリの利用率は、20 代（利用率 15.9%）30 代（利用率 15.5%）が他の年代と比較して高くなっている。例えば、ごみ分別アプリの通知機能を用いて「フードドライブ」や「雑がみの分け方」の案内をするなど、情報が行き届きにくい層に対するアプローチ方法についてさらなる検討が必要である。

なお、今回の区民アンケート調査では、ごみ関連用語のうち「3R」の関心度・認知度が 20 代で突出して高く（図表 2-20）環境教育の充実等が及ぼす影響側面について改めて認識を促される結果となった。情報発信先の一つとして学校等における環境学習の場をさらに効果的に活用するなど、子ども達の関心を育てる取り組みを拡大し、次代を担う世代への意識啓発を行っていく必要がある。

## (2) 事業系ごみの課題

### 事業系有料ごみ処理券の適正貼付

今回の事業所アンケート調査は、区に事業系ごみの集積所収集の届け出を行っている事業所を対象としているが、区の収集にごみを出す際、事業系有料ごみ処理券を「常に貼付している」という回答は 70.6%にとどまり、「時々貼付している」は 12.6%、「貼付していない」は 10.5%であった（図表 3-9）。

びん・缶・ペットボトルといった資源物についてはさらに貼付率は低く、「常に貼付している」24.1%に対し、「貼付していない」は 44.4%である（図表 3-11）。

貼付しない理由のひとつとして、特に小規模事業所ではごみや資源の排出量そのものが少量であることが考えられるが、比較のごみ量が多い飲食店でもごみを出す際に「貼付していない」とする回答が 14.8%ある（図表 3-10）。

これらを踏まえ、事業系ごみの自己処理原則に基づき、引き続き現場できめ細かな排出指導を行うなど、事業系有料ごみ処理券の貼付を促進する必要がある。

### 廃棄物処理業者への委託の促進について

組成分析調査、排出原単位調査に基づく排出構造分析によると、区収集ごみに排出される事業系ごみは区収集ごみ量の 27.9%、年間 15,166t が排出されていると推定される（図表 6-2）。

事業所アンケート調査によるごみ排出量の分布を見ると、燃やすごみの適当たり排出量は「1～5 kg」が最も多く 26.2%であり、88.8%の事業所が、適当たり排出量 50 kg未滿の



範囲にある(図表 3-14)。

区では小規模事業所が区収集にごみを排出できる条件を、

- ・ 常時使用する従業者数の数が 20 人以下の事業者
- ・ 1 日の平均ごみ排出量が 50 kg未満の事業者

のいずれかとしている。日平均排出量 50 kg未満という条件は、週当たりに換算すると 350 kgとなるが、事業所アンケート調査からは、この枠いっぱいにごみを排出する事業所は極めて少数と推察される。廃棄物処理業者への委託を促進する観点から、区収集に排出できる条件の見直しも検討課題となるものと考えられる。

#### 事業系ごみの削減

事業所アンケート調査によると、燃やすごみの週当たり排出量分布を見ると、業種では「飲食店」が、建物形態では「一社占有」の事業所の排出量が多い(図表 3-16)。また、従業者数が多くなると、当然ごみ排出量は多くなる。比較的排出量の多い事業所を中心に、ごみ減量の方法を情報発信したり、事業所に直接指導したりするなど、引き続きごみ減量促進の取り組みが必要である。

なお、事業系ごみの減量の余地があるかどうかという質問に対し、30.5%の事業所が「減らせると思う」と回答している(図表 3-24)。

#### 資源のリサイクルルートづくり

事業所アンケート調査によると、リサイクルルートがあればリサイクルできる資源としては、20%を越える事業所が段ボール、雑誌、新聞、ペットボトルを挙げている(図表 3-26)。また、事業系ごみ減量のため必要な支援として、37.8%の事業所が「少量でも回収可能なリサイクルルートの確立」を挙げている(図表 3-37)。

ただし、昨今では中国の古紙や廃プラスチックの輸入規制強化の影響で、再生資源市場が非常に不安定な状況となっており、これまで民間ルートで引き取られていた事業系段ボール等が「ごみ化」することまで懸念されている。

こうした状況を鑑みて、古紙を始めとする事業系資源の安定的なリサイクルルートづくりについては、他区や都とも連携を取りながら検討していく必要があるものと考えられる。

また、食品廃棄物リサイクルの民間ルート活用条件については、飲食店においては「現在の処理方法と同額」が 37.5%、次いで「少量でも参加可能」28.1%、「希望の頻度で回収」18.8%などとなっている(図表 3-31)。これらはすぐに実現できる条件ではないため、前項や述べたような事業系有料ごみ処理券の貼付指導や、廃棄物処理業者への委託促進方策とあわせ、食品廃棄物の減量・リサイクル促進策を検討していく必要がある。

---

令和元年度 中野区ごみ排出実態調査 報告書

発行 令和2(2020)年3月  
中野区

編集 中野区環境部ごみゼロ推進課  
〒165-0024 中野区松が丘一丁目6番3号 リサイクル展示室内  
電話 03-3228-5563

---